

Portable Grand™

DGX-505

DGX-305

取扱説明書



SmartMedia™



安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの (PA-5D) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

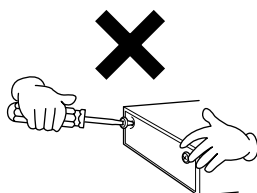
禁止

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

感電や火災、または故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

必ず実行

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

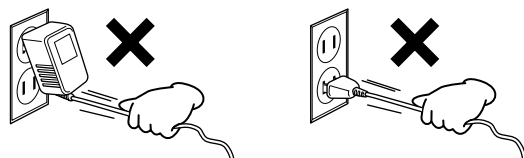
注意

電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

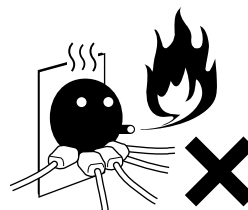
必ず実行

感電や火災、故障の原因になることがあります。



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



乾電池



乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。

必ず実行

発熱、火災、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

禁止



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

禁止



長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。

必ず実行

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。

禁止

設置



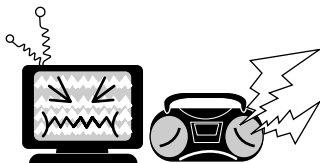
直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

禁止



不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。

禁止



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

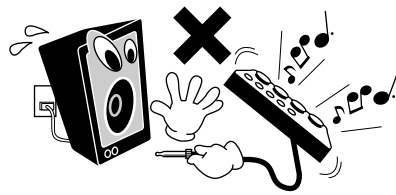
指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。
入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

パネル設定など一部のデータ (49 ページ) は、保存しないで電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータは内部のフラッシュメモリーに保存 (49 ページ) してください。また、保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、スマートメディア (別売) に保存してください (75 ページ)。

スマートメディアのバックアップ



必ず実行

保存したスマートメディアの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のスマートメディアにバックアップとして保存されることをおすすめします。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態 (電源スイッチが「切 (STANDBY)」の状態) でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本文中のイラストはことわりのない限り、DGX-505 を使用しています。DGX-305 とは鍵盤数が異なりますので、ご注意ください。
(DGX-505 : 88 鍵、DGX-305 : 76 鍵)

- ・ 本製品には、株式会社リコーの Bitmap Font が使われています。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会
「音のエチケット」キャン
ペーンのシンボルマークで
す。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

著作権について

内蔵ソングの3曲については権利者から適正な許諾を得て使用しています。

曲名 : Don't Know Why
作詞作曲者名 : Jesse Harris
Copyright © 2002 Sony/ATV Songs LLC and Bearly Songs
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music
Square West, Nashville, TN 37203
International Copyright Secured All Rights Reserved

曲名 : Fly Me To The Moon (In Other Words)
作詞作曲者名 : Bart Howard
TRO - © Copyright 1954 (Renewed) Hampshire House Publishing
Corp., New York, NY
International Copyright Secured
All Rights Reserved Including Public Performance For Profit
Used by Permission

曲名 : My Favorite Things
from THE SOUND OF MUSIC
作詞者名 : Oscar Hammerstein II
作曲者名 : Richard Rodgers
Copyright © 1959 by Richard Rodgers and Oscar Hammerstein II
Copyright Renewed
WILLIAMSON MUSIC owner of publication and allied rights
throughout the world
International Copyright Secured All Rights Reserved

ご注意：これらの曲の権利者の許諾なく、複製したり、公の場で演奏したり、インターネットで配信したり、放送することは、法律で禁じられています。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または付属しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

パネルに印刷されているロゴ



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。

「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



XGライト

「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



XF

「スタンダードMIDIファイル」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺機器に対応させ、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のMIDIファイルフォーマットです。



スタイルファイル

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。



スマートメディア™

データを保存しておくためのカード型メディアで、株式会社東芝の登録商標です。カードスロットを搭載した電子楽器にセットすると、その楽器で作成したMIDIデータなどを保存したり、保存したデータを楽器本体へ読み込むことができます。



USB

USBとは、Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)の略で、コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。また、コンピューターの電源を入れたまま周辺機器との接続ができます。

ごあいさつ

このたびはヤマハ DGX-505/305をお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。

DGX-505/305のさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品(お確かめください)

DGX-505/305本体には、以下のものが付属しています。ご確認ください。

- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 和文シート
- ・ アクセサリー CD-ROM
- ・ キーボードスタンド(DGX-505のみ)
- ・ 電源アダプター PA-5D
- ・ 譜面立て
- ・ 保証書
- ・ フットスイッチ FC5(DGX-505のみ)

●付属のCD-ROMについて

この楽器に付属しているCD-ROMには、コンピューターとこの楽器を接続して使う場合に必要な以下のソフトウェアが含まれています。『これらのソフトウェアはWindowsのみに対応しています。』

- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Musicsoft Downloader(ミュージックソフト ダウンローダー)

USB-MIDI ドライバーをインストールすると、コンピューターと電子楽器を接続して情報をやりとりできます。Musicsoft Downloaderをインストールすると、インターネットでダウンロードしたソングデータや、このCD-ROMの中にあるMIDIソングデータを、この楽器本体のフラッシュメモリーや、カードスロットに挿入したスマートメディア(別売)に転送できます。詳しくは『アクセサリー CD-ROM インストールガイド』(84ページ) およびそれぞれのソフトウェアに付属の電子マニュアルをご覧ください。



- ・ 付属のCD-ROMは、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。聴覚障害になったり、CDプレーヤーやスピーカーが破損したりするおそれがあります。

~DGX-505/305のおすすめ機能~

■パフォーマンスアシスタント ▶ 16ページ

この機能をオンにして、ソングを鳴らします。そして鍵盤を弾くと…？ どの鍵盤を弾いても外れた音が鳴りません！ 両手をじゃんけんのパーの形にして右手と左手で交互に鍵盤をおさえても、なんだかオリジナルの曲を演奏しているように聞こえます。気をつけることといえば、ソングのリズムに合わせて弾くことだけ。両手を使って、ピアニスト気分演奏しましょう。



指一本でOK!

両手の演奏はちょっと…という方もご安心。なんとこの楽器には、指一本でメロディが弾ける心強い機能が搭載されています。好きな鍵盤をポンポンと指で押さえるだけで、ソングのメロディが弾けます。

■いろいろな楽器音で弾く ▶ 23ページ

この楽器では、鍵盤を弾いたときに鳴る音を、バイオリン、フルート、ハーブなど、さまざまな楽器の音に変えられます。ピアノのために作られた曲をバイオリンの音で演奏すると、また違った味を楽しめるように、楽器を変えることで一つの曲からさまざまな表情を引き出せます。



■楽しいレッスン機能 ▶ 39ページ

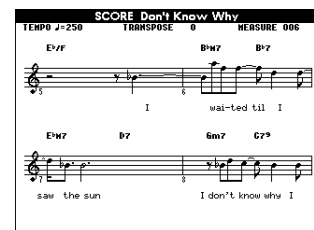
簡単に弾き映えのするソングや、華やかなピアノ曲など、この楽器には聞いて楽しく、弾いても楽しめるいろいろなジャンルのソングが内蔵されています。片手練習から始めることはもちろん、レッスン中は鍵盤を一つ一つ確かめるようにゆっくり弾いても大丈夫。ソングのほうがあなたの演奏テンポに合わせてくれます。インターネットからダウンロードしたソングもレッスンに使えるので、弾きたかった曲にチャレンジ。レッスン後は演奏を採点するGRADE表示で、上達ぶりを確かめちゃいましょう！



■譜面表示でラクラク演奏 ▶ 37ページ

選んだソングを再生すると、その譜面を表示します。曲の進行に合わせて譜面の表示も進むので、譜面を見ながらスムーズに演奏できます。譜面には歌詞やコード*も表示されます。

* ソングデータに歌詞やコード情報が含まれていない場合は、譜面を表示させても歌詞やコードは表示されません。



もくじ

著作権について	6
パネルに印刷されているロゴ	6
付属品(お確かめください)	7
~DGX-505/305のおすすめ機能~	8
演奏の準備	10
電源の準備	10
スマートメディア™(メモリーカード)の取り扱いについて	11
ヘッドフォン/外部出力端子について	12
フットスイッチの接続(SUSTAIN端子)	12
コンピューターとの接続(USB端子)	12
電源を入れる	13
各部の名称	14
フロントパネル	14
リアパネル	15
クイックガイド	
ピアニスト気分を満喫しよう!	16
コードー 両手で華やかに弾いてみよう	16
メロディー 指一本でメロディを弾こう	18
ソングのテンポを変えたい場合は	21
デモソングで試してみよう	21
表示言語(Language)を切り替える	22
いろいろな楽器音で弾いてみよう	23
楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう	23
2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう	24
右手と左手で違う楽器音(ボイス)を弾く	25
グランドピアノの音で弾いてみよう	27
ピッチベンドを使ってみよう	27
鍵盤を押さえる強弱で音量を変える	27
面白い音を鳴らそう	28
ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう	28
おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう	28
スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう	29
スタイルを鳴らして自分も演奏しよう	29
ハーモニー音を加える	31
スタイルのいろいろなスタート方法とストップ方法	33
ソングの使い方	35
ソングを選んで聞いてみよう	35
ソングの種類	36
ソングの譜面を表示させてみよう	37
歌詞を表示させてみよう	38
曲を選んでレッスンしてみよう	39
レッスン1:正しい音を弾く	39
レッスン2:タイミングを合わせて正しい音を弾く	41
レッスン3:ソングに合わせて正しい音とタイミングで弾く	42
くり返し練習しよう	42
ソングの雰囲気を変えてみよう	43
イージーソングアレンジャー機能を使う	43
自分の演奏を録音しよう	45
トラックの構成	45
録音の手順	46
ユーザーソングの消去(ソングクリア)	48
ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア)	48
バックアップと初期化	49
バックアップ	49
初期化	49
基本操作と画面表示	50
基本操作	50
画面について	52
MAIN画面の表示について	53

リファレンス	
演奏するときの便利な機能	54
リバーブ効果をかける	54
コーラス効果をかける	55
メトロノームを鳴らす	56
鍵盤を弾く強弱で音量を変える	57
ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS)	57
音色を微調整する	58
ハーモニー音量を変える	58
パネルサステイン	58
スタイル(自動伴奏)に関する機能	59
スプリットポイントの設定	59
スタイルのリズムだけを鳴らす	59
リズムなしでコード音を鳴らす	60
スタイル音量の設定	60
スタイル番号136について	60
伴奏コードの押さえ方	61
コードディクショナリーでコードを調べる	63
ソングの再生に関する設定	65
ソング音量の設定	65
ソングの一部をくり返して聞く	65
ソングの一部をミュート(消音)する	65
ソングのキーを変える	66
ソングを早送り、巻き戻し、一時停止するには	66
メロディ音色を変える	67
メディアセレクトを切り替える	67
好みのパネル設定を記憶させよう	68
レジストレーションメモリーに記録する	68
機能設定(FUNCTION画面)	70
各設定への移動方法	70
スマートメディアをお使いになりたい方へ	73
スマートメディアをセットする	73
メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替える	74
スマートメディアのフォーマット	74
データをセーブする	75
ユーザーソングをSMF変換してセーブ	76
保存したデータをロードする	77
スマートメディア内のデータを削除する	77
スマートメディアにセーブ(保存)したソングを再生する	78
イージーソングアレンジャーの設定をスマートメディアに保存する	78
コンピューターと接続してお使いになりたい方へ	79
MIDIとは	79
コンピューターとの接続	80
MIDI設定	80
コンピューターと接続する際のMIDI設定(PCモード)	81
パソコンからのソングファイルの転送	81
アクセサリ CD-ROMインストールガイド	84
CD-ROMの内容	84
ソフトウェアの動作環境	85
ソフトウェアのインストール	85
資料	
故障かな?と思ったら	88
メッセージ一覧	91
キーボードスタンドの組み立て方(DGX-505のみ)	93
仕様一覧	95
楽器リスト	96
ドラムキットリスト	100
スタイルリスト	102
ソングリスト	103
エフェクトタイプリスト	104
MIDIインプリメンテーション・チャート	105
MIDIデータフォーマット	106
さくいん	107
保証とアフターサービス	109



演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

この楽器は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

■家庭用コンセントから電源をとるときは

- 1 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている)ことを確認してください。



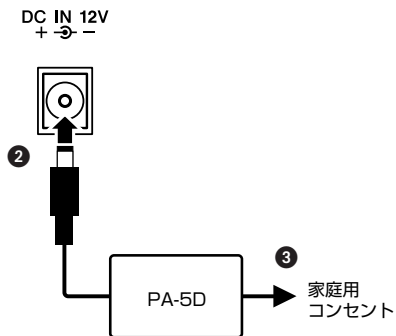
- ・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプターPA-5Dをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。

- 3 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



- ・長時間使用しないときや落電のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。

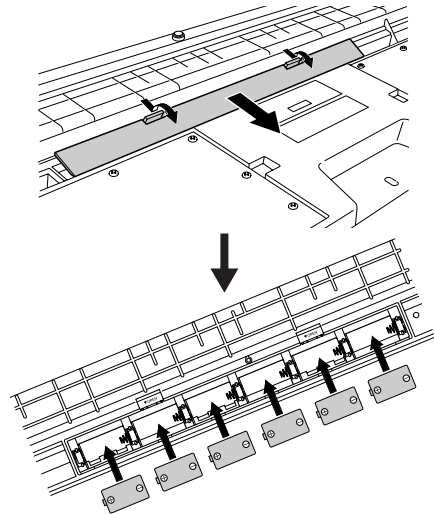


■乾電池を使うときは

- 1 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池プタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。乾電池はマンガン電池かアルカリ電池を使用してください。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池プタを閉めます。

NOTE

- ・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、画面上段のタイトル右部に“LOW BATTERY!!”と点滅表示されます。この表示がされたら、必要なデータを保存(49、75ページ)したあとで、以下のことに注意して、ただちに乾電池を交換してください。必要に応じてバックアップ(49ページ)やユーザーデータファイルセーブ(75ページ)を行なってください。



- ・乾電池はマンガン電池かアルカリ電池を使用してください。それ以外の電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。スマートメディアやフラッシュメモリーへのデータ転送中に電池残量が急激に減ると、転送中のデータだけでなく、転送先にあったデータの読み出しができなくなるおそれがあります。
- ・乾電池はすべて+/−の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ・乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ・長時間使用しない場合や、乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- ・スマートメディアやフラッシュメモリーにデータを転送する場合は、電源アダプターをご使用ください。乾電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。スマートメディアやフラッシュメモリーへのデータ転送中に電池残量が急激に減ると、転送中のデータだけでなく、転送先にあったデータが失われますので、ご注意ください。



- ・スタンドにキーボードをのせたままの状態、電池のふたを開けないでください。乾電池が落ちてくるおそれがあり、危険です。電池のふたを開けるときは、必ずキーボードを裏返しにした状態で開けてください。

スマートメディア™*(メモリーカード)の取り扱いについて

* スマートメディアは株式会社東芝の商標です。

この楽器のフロントパネルにはスマートメディア用のカードスロット(挿入口)が装備されています。カードスロットにスマートメディアを挿入すると、本体で作ったデータをスマートメディアに保存したり、スマートメディア内のデータを本体に読み込んだりできます。スマートメディアをご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

■使用できるスマートメディアの種類

- ・ 電源電圧が3.3V(3V)のスマートメディアが使用できます。5Vのスマートメディアは使用できません。
- ・ メモリー容量が8MB/16MB/32MB/64MB/128MBの5種類のスマートメディアがご使用になれます。32MBを超えるスマートメディアについては、SSFDC フォーラムの規格に準拠したものであれば、ご使用いただけます。

NOTE

- ・ SSFDCとはSolid State Floppy Disk Card(スマートメディアの別称)の略です。またSSFDCフォーラムとはスマートメディアの使用を促進することを目的として作られた任意団体です。

■スマートメディアのフォーマット

- ・ 新しいスマートメディアや他の機器で使っていたスマートメディアは、そのままでは使えない場合があります。この機器のカードスロットに入れてもスマートメディアが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は74ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとスマートメディア内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

NOTE

- ・ この機器でフォーマットしたスマートメディアは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

■スマートメディアの挿入/取り出し

●スマートメディアの挿入

- ・ スマートメディアの端子部(金色)を上向きにして、カードスロットにしっかりとていねいに奥まで差し込みます。
- ・ スマートメディアの向き(上下、前後)を間違えないようご注意ください。
- ・ カードスロットにゴミや異物が入らないようご注意ください。誤動作や故障の原因となります。

●スマートメディアの取り出し

あらかじめ楽器本体がスマートメディアにアクセス中*でないことを確認した上で、カードを取り出して(引き抜いて)ください。アクセス中は、アクセス中であることを示すメッセージが楽器本体のLCDに表示されます。

* アクセス中：セーブやロード、フォーマット、デリート、メイクディレクターなどの作業中を指します。また、電源が入っている状態でスマートメディアを挿入したときも、楽器本体がメディアの種類を確認するために自動的にアクセス中になります。



- ・ アクセス中にスマートメディアを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。スマートメディアがこわれたり、楽器本体/スマートメディアのデータがこわれたりするおそれがあります。

■スマートメディアについてのご注意

●スマートメディアの取り扱いと保管

- ・ 静電気によってスマートメディアのデータが失われる場合があります。スマートメディアに触れるときは、あらかじめ身近な金属(アルミサッシや金属のドアノブなど)に触れて静電気を取り除いてください。
- ・ 長時間使用しないときは、スマートメディアを挿入口から取り出して、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ 落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- ・ スマートメディアの端子部(金色)に直接触れたり金属を当てたりしないでください。
- ・ 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・ スマートメディアにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

●誤消去防止

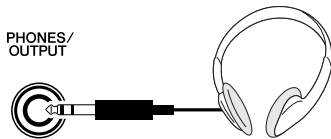
- ・ スマートメディアには、誤ってデータを消してしまわないように銀色のライトプロテクトシールが付属しています。大切なデータが入っているスマートメディアは、スマートメディアのパッケージに入っているライトプロテクトシールを指定の場所(○マークの中)に貼って、書き込みができないようにしてください。逆に、セーブする場合などは、ご使用前にスマートメディアのライトプロテクトシールがはがされていることをご確認ください。
- ・ 一度はがしたシールは、再使用しないでください。

●データのバックアップ

- ・ スマートメディアの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のスマートメディアに保存しておかれることをおすすめします。

以下の接続は必要に応じて、電源を入れる前に行ないます。

ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的に DGX-505/305 のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT 端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、DGX-505/305 の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

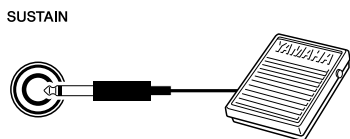


・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



・DGX-505/305 を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

フットスイッチの接続 (SUSTAIN端子)

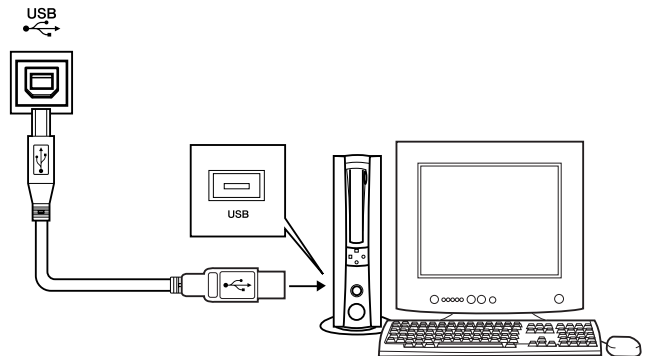


フットスイッチ (FC5 または FC4) をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。DGX-505 には FC5 が付属しています。DGX-305 のお客様は、必要に応じて別途お買い求めください。

NOTE

- ・フットスイッチを使用するときは、SUSTAIN 端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

コンピューターとの接続(USB端子)



この楽器の USB 端子を使うと、お使いのコンピューターとこの楽器のあいだで演奏情報やソングファイルのやりとりができます (80 ページ)。そのためには以下の操作が必要です。

- ・この楽器の USB 端子とコンピューターの USB 端子を、USB ケーブルで接続する
- ・コンピューターに「USB-MIDI ドライバー」をインストールする

「USB-MIDI ドライバー」のインストール方法は 85 ページをご参照ください。

またコンピューター上のソングファイルを、この楽器のフラッシュメモリーやスマートメディア (別売) へ転送するときは、「Musicsoft Downloader」をご使用ください (87 ページ)。なお、「USB-MIDI ドライバー」および「Musicsoft Downloader」は付属の CD-ROM に入っています。

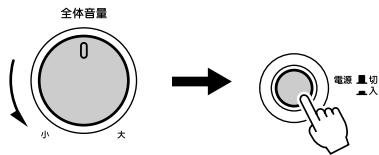
NOTE

- ・USB ケーブルは楽器店、電気店などでお買い求めください。

電源を入れる

[全体音量](MASTER VOLUME)を左に回し、音量を最小にしておいてから、[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れます。

もう一度押すと電源が切れます。



この楽器では電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータ(49ページ)があれば、そのデータを読み込みます。電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータがなければ各バックアップ項目は初期値になります。

スマートメディアを挿入して電源を入れたとき、楽器のメディアセレクトがスマートメディアに設定されていた場合は、スマートメディアが使用可能な状態になります。

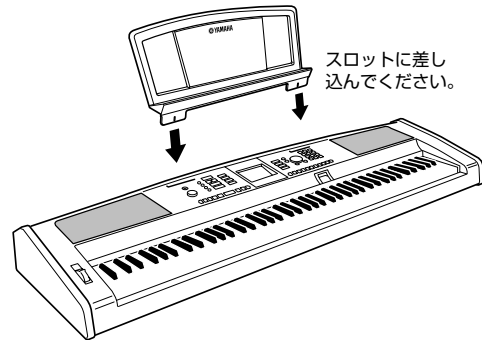


- ・[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチが切れている状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



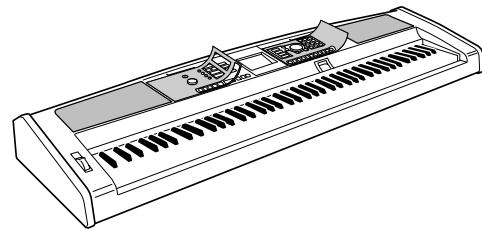
- ・書き込み中やスマートメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。本体内やスマートメディア内のデータが失われるおそれがあります。

●譜面立ての取り付け方



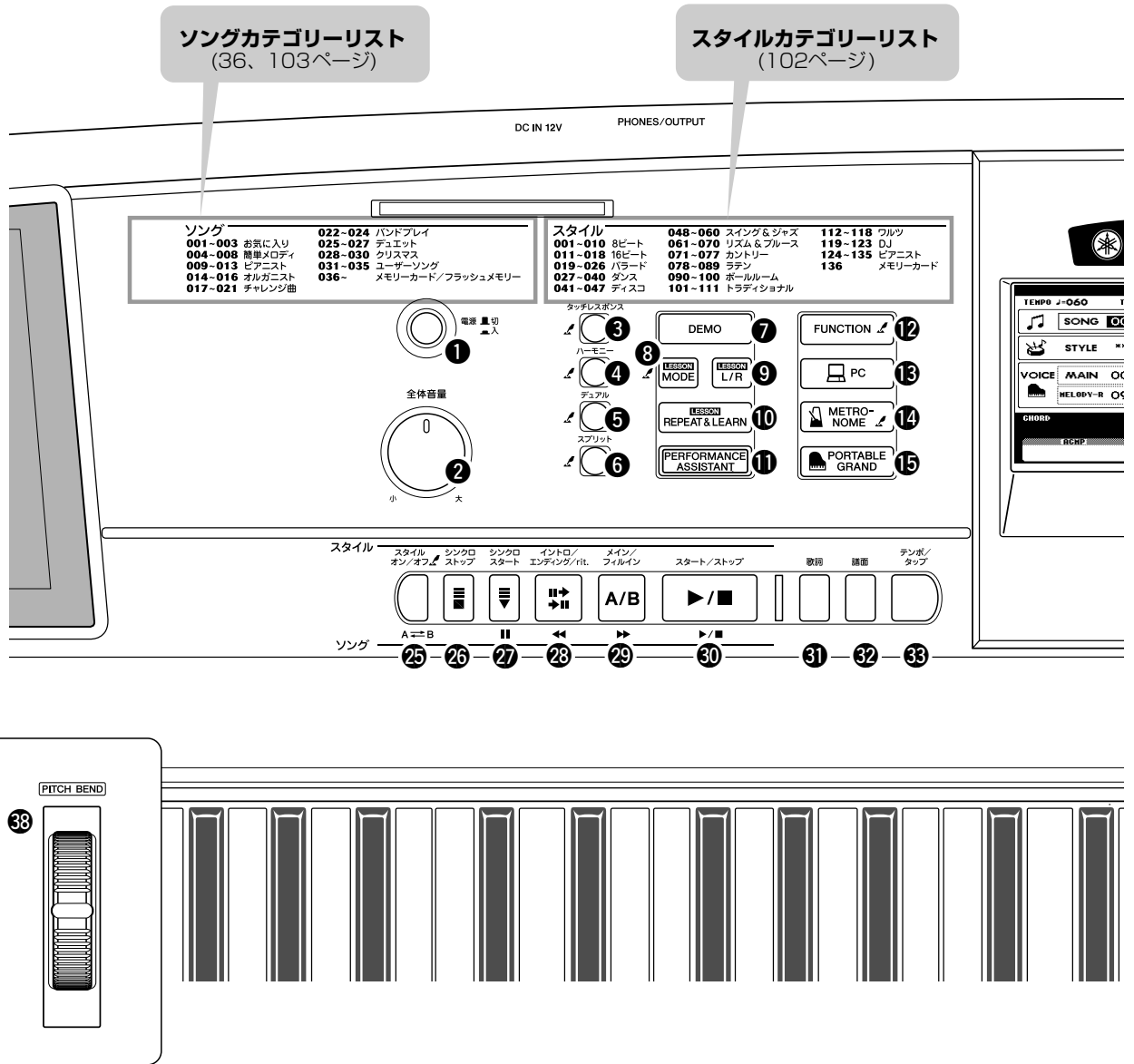
●和文シート

付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



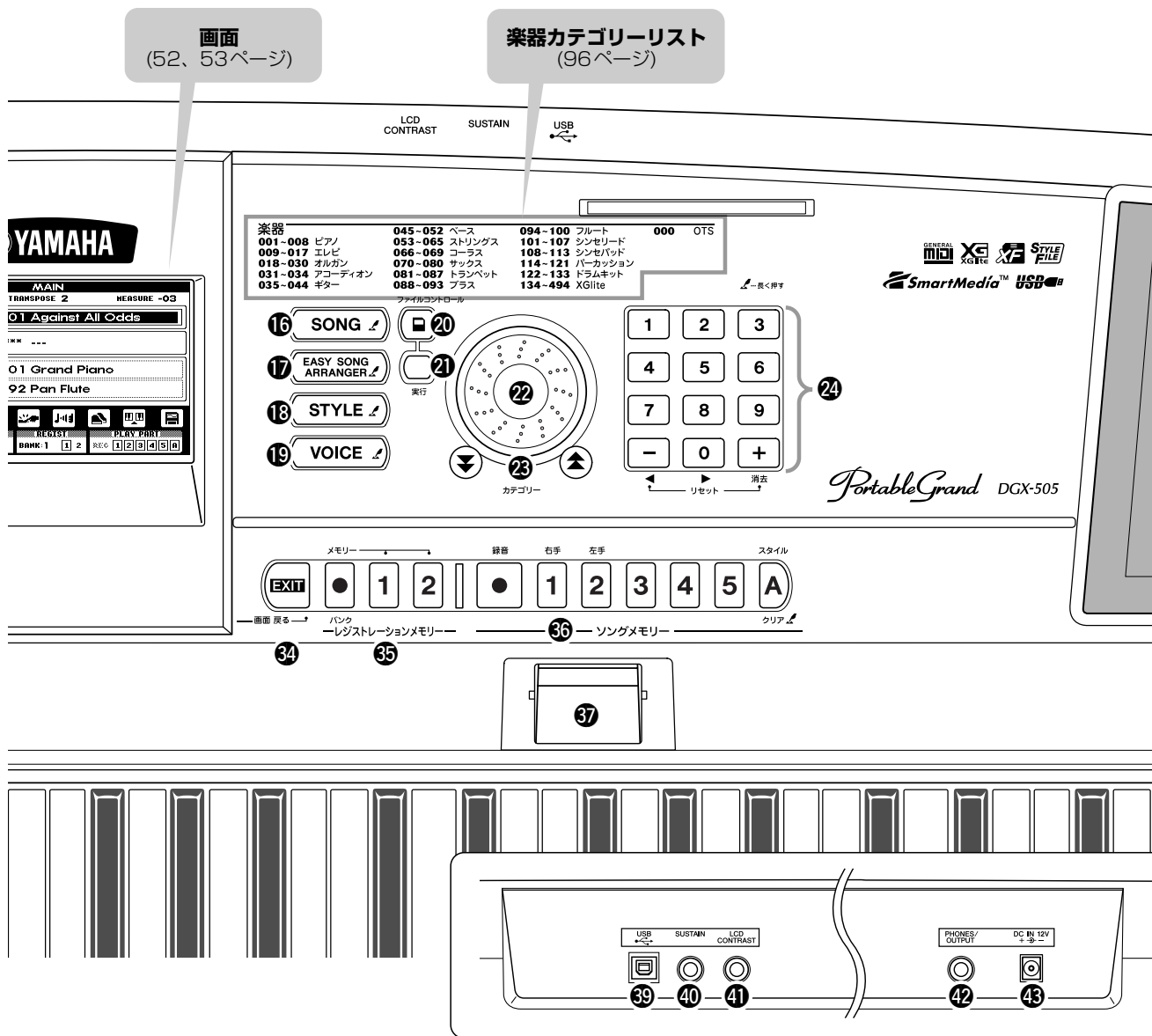


各部の名称



■ フロントパネル

- 1 [電源 切/入] (STANDBY/ON)スイッチ 13ページ
- 2 [全体音量] (MASTER VOLUME) コントロール 13、17ページ
- 3 [タッチレスポンス] (TOUCH) ボタン 57ページ
- 4 [ハーモニー] (HARMONY) ボタン 31ページ
- 5 [デュアル] (DUAL) ボタン 24ページ
- 6 [スプリット] (SPLIT) ボタン 25ページ
- 7 [DEMO] ボタン 21ページ
- 8 [LESSON MODE] ボタン 40ページ
- 9 [LESSON L/R] ボタン 39ページ
- 10 [LESSON REPEAT & LEARN] ボタン 42ページ
- 11 [PERFORMANCE ASSISTANT] ボタン 16ページ
- 12 [FUNCTION] ボタン 52、70ページ
- 13 [PC] ボタン 81ページ
- 14 [METRONOME] ボタン 56ページ
- 15 [PORTABLE GRAND] ボタン 27ページ
- 16 [SONG] ボタン 35ページ
- 17 [EASY SONG ARRANGER] ボタン 43ページ
- 18 [STYLE] ボタン 29ページ
- 19 [VOICE] ボタン 23ページ
- 20 [ファイルコントロール] (FILE CONTROL) ボタン 74ページ
- 21 [実行] (EXECUTE) ボタン 74ページ
- 22 ダイアル 51、70ページ
- 23 カテゴリボタン [▲]、[▼] 51、70ページ
- 24 [0] ~ [9] ボタン、[+] ボタン、[-] ボタン 51、70ページ
- 25 [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF)/ [A ⇄ B] (ABリピート) ボタン 29、65ページ
- 26 [シンクロストップ] (SYNC STOP) ボタン 33ページ
- 27 [シンクロスタート] (SYNC START)/ [II] (一時停止) ボタン 30、66ページ



■ リアパネル

- | | | | |
|---|-------------|--------------------------|----------|
| 28 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/
ENDING/rit.)/[◀◀](巻戻し) ボタン..... | 30、66ページ | 39 USB端子 | 12、80ページ |
| 29 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)/
[▶▶](早送り) ボタン..... | 31、66ページ | 40 SUSTAIN端子 | 12ページ |
| 30 [スタート/ストップ](START/STOP)/
[▶/■] ボタン..... | 29、35、51ページ | 41 LCD CONTRASTツマミ | 53ページ |
| 31 [歌詞](LYRICS) ボタン | 38ページ | 42 PHONES/OUTPUT端子 | 12ページ |
| 32 [譜面](SCORE) ボタン | 37ページ | 43 DC IN 12V端子 | 10ページ |
| 33 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタン | 21ページ | | |
| 34 [画面 戻る](EXIT) ボタン | 52ページ | | |
| 35 レジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY)
[●](メモリー/バンク)、[1]、[2] ボタン..... | 68ページ | | |
| 36 ソングメモリー (SONG MEMORY)
[録音](REC)、[1]~[5]、[A] ボタン..... | 46ページ | | |
| 37 カードスロット..... | 11、73ページ | | |
| 38 [ピッチベンド](PITCH BEND) ホイール | 27ページ | | |



ピアニスト気分を満喫しよう!

この楽器にはパフォーマンスアシスタントという機能が内蔵されています。ソングを鳴らしながらこの機能を使えば、どんな風に弾いても外れた音が出ません。でたらめに弾いても、きれいな和音やフレーズのような音が鳴ります。同じ鍵盤を指一本でポンポン…と連続して鳴らすだけで、メロディを弾くこともできます。ピアノが弾けなくても、譜面が読めなくても大丈夫。さあ、やってみましょう!

パフォーマンスアシスタント機能にはコードとメロディの2種類のタイプがあり、どちらかを選んで使います。

- コード(CHORD).....両手で弾きたいときに選びます。どんな風に弾いても調和のとれた音が鳴ります。
- メロディ(MELODY).....指一本でメロディを弾きたいときに選びます。

最初はコード、次にメロディに挑戦してみましょう。パフォーマンスアシスタントのタネあかしは、20ページにあります。演奏を楽しんだあと、ご覧ください。

コード — 両手で華やかに弾いてみよう

パフォーマンスアシスタント機能の「コードタイプ」を使うには、必ず「コード情報」が含まれたソングを鳴らす必要があります。20ページをご覧ください。

1 ^{ソング} [SONG] ボタンを押します

SONG欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイヤル**などを使って、別のソングを選択できる状態にあります。

NOTE
・コードの詳細は64ページにあります。

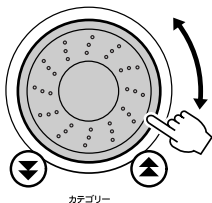


SONG欄が反転表示されます。表示されているのは、現在選ばれているソングの番号とソング名です

2 ソングを選びましょう

画面の反転表示の欄を見ながら**ダイヤル**をまわし、好きなソングを選びます。ここでは「026 Twinkle Star」を選んでみましょう。

NOTE
・アクセサリ CD-ROMの中
のMIDIソングを楽器に転送すると、パフォーマンスアシスタント機能が使えます。(20、82ページ)



ここに表示されたソングを鳴らすことができます

3 ^{パフォーマンスアシスタント} [PERFORMANCE ASSISTANT] ボタンを押します

PERFORMANCE ASSISTANT画面が表示されます。画面の中には、パフォーマンスアシスタント機能が作動しているかどうかを表示するオン/オフ(ON/OFF)表示や、コードタイプとメロディタイプのどちらが選ばれているのかを表示するアイコンなどがあります。[PERFORMANCE ASSISTANT] ボタンを押すことでオン/オフ(ON/OFF)が切り替わり、アイコン表示も変わります。また[+]、[-] ボタンを押すことでタイプが切り替わり、アイコン表示も変わります。

パフォーマンスアシスタント機能のメニュー

- DEMO
- LESSON MODE
- LESSON L/R
- LESSON REPEAT & LEARN
- PERFORMANCE ASSISTANT

PERFORMANCE ASSISTANT

CHORD TIMING

SONG 026 Twinkle Star

ON/OFF **ON**

TYPE **CHORD** (MELODY)

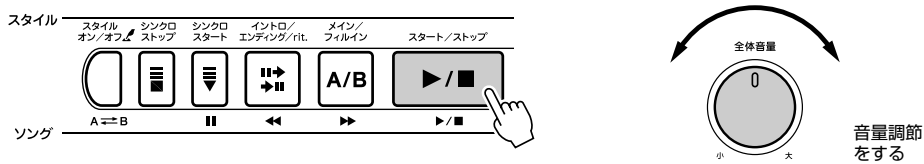
ソングのコード情報に反応して、インディケータが点滅します

オン/オフ (ON/OFF) 表示
ON/OFF
パフォーマンスアシスタント機能がオンのときは、オン (ON) が表示されます。[PERFORMANCE ASSISTANT] ボタンを押すたびに、オン/オフ (ON/OFF) が切り替わります。パフォーマンスアシスタント機能を使うときは、必ずオン (ON) を表示させてください

選択されているタイプを表示
TYPE
CHORD (+) MELODY (-)
[-] ボタンを押すと CHORD (コード) タイプ、[+] ボタンを押すと MELODY (メロディ) タイプが選択され、ツマミの方向も切り替わります

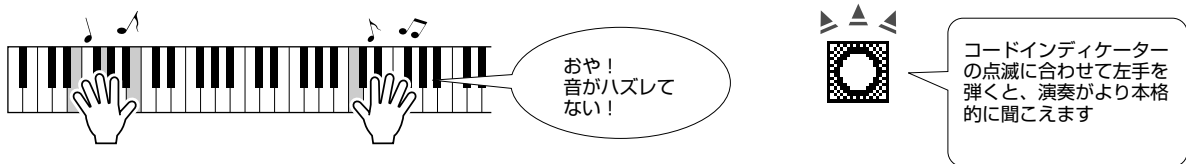
4 [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押します

ソングの再生が始まります。
音量は [全体音量] (MASTER VOLUME) で調整します。



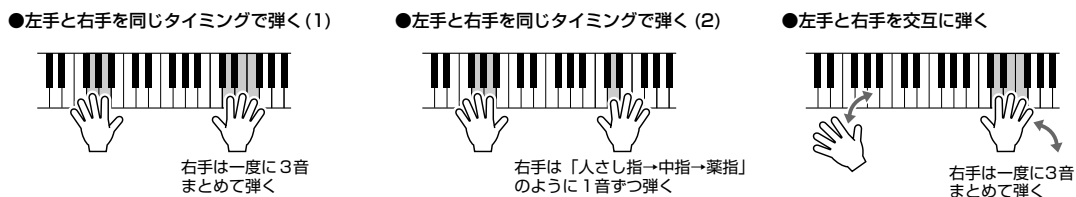
5 鍵盤を弾いてみましょう

まずは、ソングのリズムを感じてください。両手をじゃんけんのパーの形にして、ソングのリズムに合わせて、そのまま交互に鍵盤を押さえて音を鳴らしてください。押さえる鍵盤はどこでもかまいません。



どうでしょう？どこを弾いても外れた音が鳴りませんね。
これが『パフォーマンスアシスタント機能のコードタイプ』です！

次は、以下の3通りの弾き方を試してみてください。弾き方がちがうと鳴る音も変わります。



慣れてきたら、左手は和音、右手は単音で弾くなど、いろいろな弾き方で楽しみましょう！

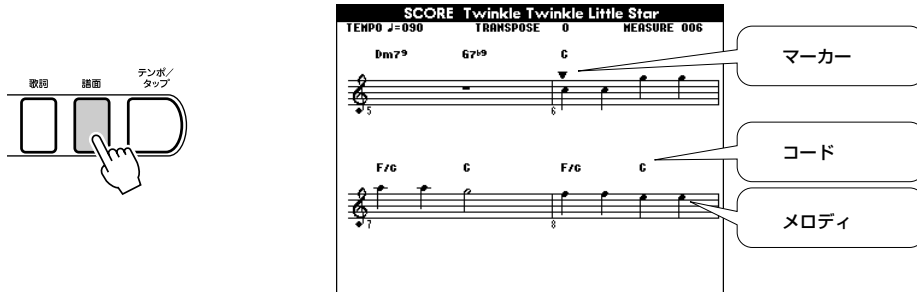
ソングを最後まで再生すると、ソングは自動的にストップします。
また曲の途中で [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すと、ソングはストップします。

メロディタイプのときは譜面を活用しよう

正確なリズムでメロディを弾きたいときや、アドリブ演奏を楽しみたい場合は、譜面を表示させましょう。

《譜面の出し方》

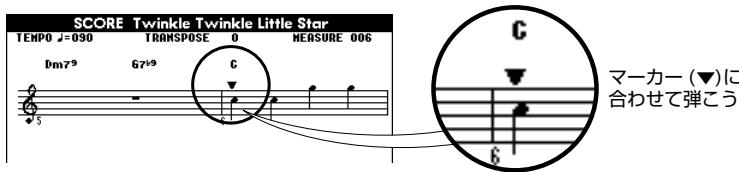
18ページの手順1～3まで行なったあと、[SCORE] (譜面) ボタンを押します。メロディ譜が表示されます。



■譜面が役立つのはこんなとき

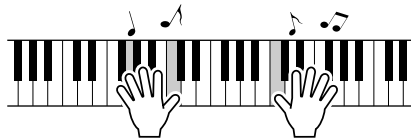
●正確なリズムでメロディを弾きたい

リズムのわからないメロディを弾くときは、譜面を見て弾きましょう。ソングの進行に合わせてマーカー (▼) がメロディ譜の上部を移動します。マーカー (▼) が音符の真上にくるたびに鍵盤をおさえると、原曲どおりのリズムでメロディが弾けます。



●ジャズっぽいアドリブ演奏を楽しむ

この楽器では、パフォーマンスアシスタントのメロディタイプを選択しているときだけ、ソングのメロディのない間奏部分で鍵盤を弾くと、ジャズっぽく*聞こえるようになっています。たとえばソング番号001の「Don't Know Why」は、48～55小節のあいだ、メロディがありません。譜面を表示させておき、間奏部分に入ったらアドリブで自由に演奏しましょう。



*ジャズっぽく弾くコツ

弾く鍵盤はどこでもかまいません。最初は右手の親指→人差し指→中指の順番に鍵盤を1音ずつ押さえます。次は黒鍵も含めた音階(ド、レ、ミ…)を、抑揚をつけながら弾きます。慣れたら左手の演奏も入れてみましょう。左手は右手演奏に「合いの手」を入れるように、和音(ソド、ミシ、レラなど)を弾くのがコツです。

曲の途中でも[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングはストップします。

NOTE

・ **ジャズっぽいノリとは？**
スイングした、遊び心のあるリズムのことです。音符で説明しましょう。

単調なリズム：

♪♪♪♪♪
(タ、タ、タ、タ、タ、タ)

ジャズっぽいリズム：

♪♪♪♪♪
(タタタ、タタタ、タタタ)

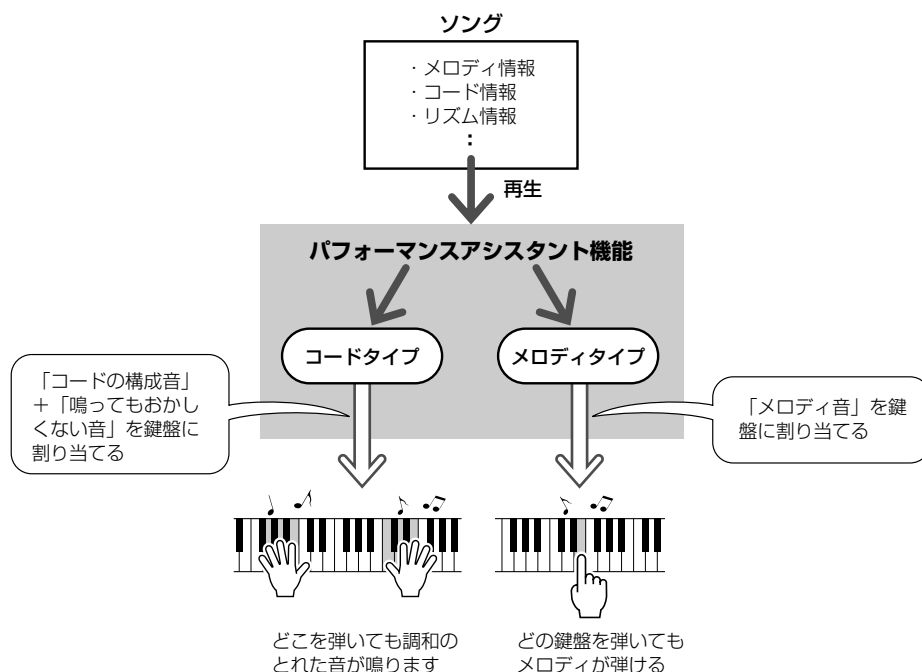
カタカナ部分を口ずさんでみるとリズムのちがいがよくわかります。

このノリを感じながら、自由に弾いてみましょう！

～パフォーマンスアシスタントの🎵🎹🎵～

なぜでたらめに弾いてもちゃんとした音が鳴るの？

コードタイプの場合、ソングの中に含まれた「コード情報」をパフォーマンスアシスタント機能が読み取って、「そのときに鳴ってもおかしくない音」だけを鍵盤に割り当てるからです。メロディタイプの場合は、ソングの中に含まれた「メロディ情報」を読み取って、押さえられた鍵盤に割り当てるので、どこを弾いてもメロディが再現されるのです。またコードタイプの場合、コードが変われば鍵盤に割り当てられる音も変わりますから、同じ鍵盤を弾いていても、曲の進行に合わせて自動的に音の高さが変わっていきます。



●パフォーマンスアシスタント機能を使えるソング

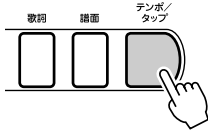
コードタイプを選んだ場合は「コード情報」が含まれたソングでなければパフォーマンスアシスタント機能は使えません。メロディタイプを選んだ場合は、「メロディ情報」が含まれたソングでなければ使えません。必要な情報が含まれているかどうかを見分けるには、使いたいソングを選択したあと、**[譜面](SCORE)** ボタンを押します。**[譜面](SCORE)** ボタンを押して、コード(19ページ)が表示されれば、コードタイプが使えます。メロディ(19ページ)が表示されれば、メロディタイプが使えます。

●内蔵曲以外のソングで機能を試したい

内蔵ソング30曲に加えて、付属のアクセサリー CD-ROMの中にある MIDIソング70曲も楽器に転送するとパフォーマンスアシスタント機能が使えます。アクセサリー CD-ROMに入っている MIDIソングのリストは103ページにあります。インターネットからダウンロードしたソングも、コード情報やメロディ情報を含んでいれば、それぞれのタイプで使うことができます。使いたいソングファイルをコンピューターからこの楽器のスマートメディア(別売)やフラッシュメモリーに転送します。楽器への転送方法は82ページをご覧ください。

ソングのテンポを変えたい場合は

パフォーマンスアシスタント機能を使っている場合などに、ソングのテンポが速すぎる(遅すぎる)と感じたら、ソングのテンポを変えてみましょう。**[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)** ボタンを押します。テンポ画面が表示されるので**ダイヤル** や**[+]**、**[-]**ボタン、または数字の**[0]~[9]**ボタンでテンポ(♩=032~280)を変更します。



また、4拍子のソングなら4回、3拍子なら3回、**[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)** ボタンを押してテンポを設定することもできます。ゆっくり押しとテンポはゆっくりに、素早く押しとテンポは速くなります。ソング再生中は、2回押しとテンポが変わります。



設定前のテンポに戻したいときは**[+]**、**[-]**ボタンを同時に押します。
設定が終わったら、**[画面 戻る](EXIT)** ボタンを2回押し、MAIN画面に戻ります。

デモソングで試してみよう デモ DEMO

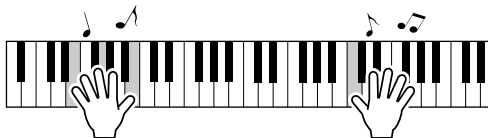
デモソングでもパフォーマンスアシスタント機能のコードタイプが使えます(メロディタイプは使えません)。デモ画面を日本語で表示させるために、22ページの手順にしたがって、表示言語を英語から日本語に切り替えておきましょう。

1 デモ [DEMO]ボタンを押します

この楽器の機能を紹介するデモ画面が表示され、デモソングが始まります。
この楽器に内蔵された豊かな音色をお聞きいただけます。

2 鍵盤を弾いてみましょう！

デモソングが始まってしばらくすると、以下の画面が表示されます。
パフォーマンスアシスタント機能がオンになった合図なので、演奏を始めましょう。



パフォーマンスアシスタント機能って？



まず、弾いてみてください！！

再生中のミュージックデータに合わせてアドリブ演奏ができるパフォーマンスアシスタント機能を搭載。
リズムに合わせて、とにかく鍵盤を弾いてみてください。

しばらくすると、画面に表示が出て、パフォーマンスアシスタント機能が自動的にオフになります。

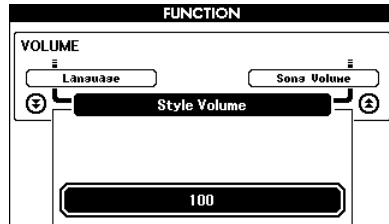
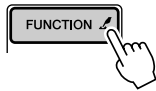
デモソングは再生が終わると、また最初からスタートします。

デモソングを終了する場合は、**[スタート/ストップ](START/STOP)** ボタンを押します。

表示言語 (Language) を切り替える

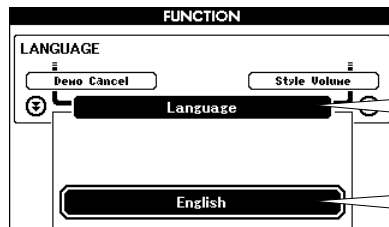
表示言語を日本語に切り替えておくと、歌詞表示、ファイル名、デモ画面およびメッセージ(一部)が日本語表示になります。次の手順に従って操作し、日本語に切り替えておきましょう(それ以外の部分は日本語に切り替えても英語表示のままです)。

1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押して、FUNCTION画面を表示させます



2 カテゴリーボタンを何度か押して、言語切り替え (Language) 項目を表示させます

Language項目の下に、現在選ばれている表示言語が反転表示されます。反転表示された欄は、[+]、[-]ボタンを使って別の表示言語を選べる状態にあります。



Languageという項目を表示させます

現在選ばれている表示言語です

3 [-] ボタンを押します

表示言語の設定が、English(英語)からJapanese(日本語)に切り替わります。
[+]ボタンを押すと英語、[-]ボタンを押すと日本語表示になります。
歌詞表示、ファイル名、デモ画面およびメッセージ(一部)が日本語表示になります。
それ以外の部分は、日本語表示に切り替えても英語表示のままです。

4 ファンクション [FUNCTION] ボタンを1秒以上押します

表示言語の設定がフラッシュメモリーに記憶されます。電源を切ってもこの設定は保存されます。

5 [画面 戻る](EXIT) ボタンを押してMAIN画面に戻ります



いろいろな楽器音で弾いてみよう

この楽器ではピアノやオルガンはもちろん、ギター、ベース、ストリングス、サクソフーン、トランペット、ドラムやパーカッション、効果音など、さまざまな楽器音(ボイス)を使って演奏することができます。

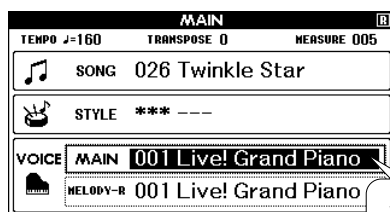
楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう メイン MAIN

鍵盤を押したときに鳴る基本の楽器音を選びます。ここで選ぶ楽器音のことをDGX-505/305ではメインボイスと呼びます。

1 ボイス [VOICE] ボタンを押します

MAIN画面のVOICE-MAIN欄が反転表示になります。

反転表示された欄は、**ダイヤル**などを使って、別の楽器音を選択できる状態にあります。



VOICE-MAIN欄が反転表示します。表示されているのは、現在選ばれている楽器音の番号と楽器名です

NOTE

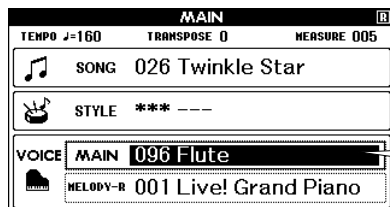
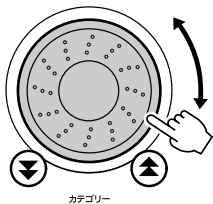
・[VOICE] ボタンを1秒以上押すと楽器リストが表示されます。この楽器リストからメインボイスを選ぶこともできます。

2 鳴らしたい楽器音を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、**ダイヤル**をまわしてみてください。

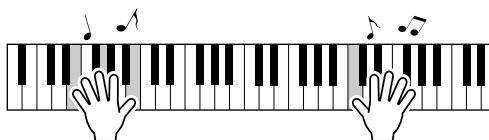
番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音がメインボイスになります。

ここでは「096 Flute(フルート)」を選んでみましょう。



ここに096 Fluteを表示させます

3 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。

2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう デュアル DUAL

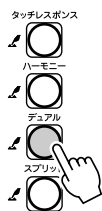
鍵盤を弾いたときに、メインボイスに加えてもう1つ別の楽器音を重ねて鳴らすことができます。DGX-505/305では、メインボイスに加えて鳴らすこの楽器音をデュアルボイスと呼びます。

1 [デュアル](DUAL) ボタンを押します

[デュアル](DUAL) ボタンでデュアルボイスのオン/オフを切り替えます。オンにすると画面にデュアルボイスアイコンが表示されます。鍵盤を弾くと、現在選択されているデュアルボイスが鳴ります。

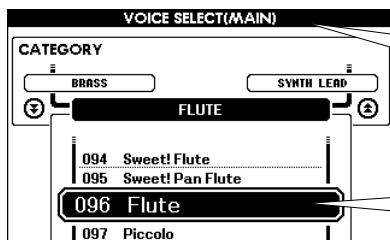
NOTE

・ソングレッスン(39ページ)中はデュアルボイスは使えません。



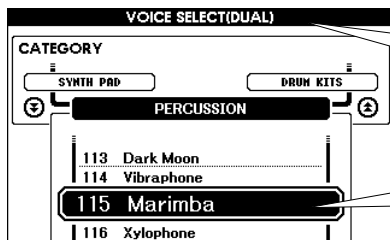
2 ^{ボイス} [VOICE] ボタンを1秒以上押します

下図のような楽器リストが表示されるまで、[VOICE] ボタンを押したままにします。



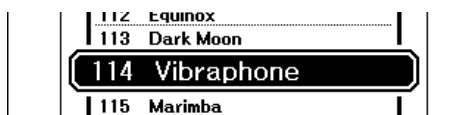
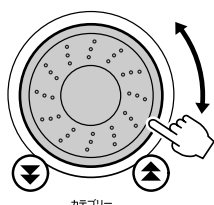
3 ^{ボイス} もう一度 [VOICE] ボタンを押します

デュアルボイスを選ぶ画面が表示されます。

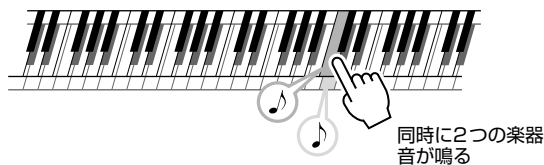


4 重ねたい楽器音(デュアルボイス)を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、ダイヤルをまわしてみてください。番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音がデュアルボイスになります。ここでは「114 Vibraphone(ビブラフォン)」を選んでみましょう。



5 鍵盤を弾いてみましょう



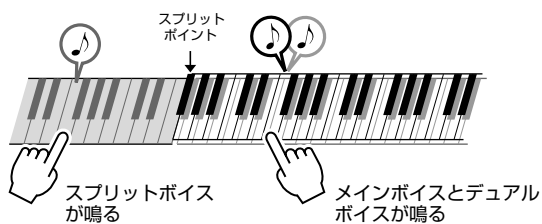
いろいろな音を変えて楽しみましょう。

[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻ります。

右手と左手で違う楽器音(ボイス)を弾く スプリット SPLIT

鍵盤のスプリットポイントを境に、右側の鍵盤と左側の鍵盤で別の楽器音を鳴らします。

右側の鍵盤で鳴る楽器音をメインボイスとデュアルボイスといい、左側の鍵盤で鳴る楽器音をDGX-505/305ではスプリットボイスと呼びます。スプリットポイントの設定は変更できます(59ページ)。



1 [スプリット](SPLIT)ボタンを押します

[スプリット](SPLIT)ボタンでスプリットボイスのオン/オフを切り替えます。オンにすると画面にスプリットボイスアイコンが表示されます。スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、現在選択されているスプリットボイスが鳴ります。

NOTE

・ソングレッスン(39ページ)中はスプリットポイントは使えません。

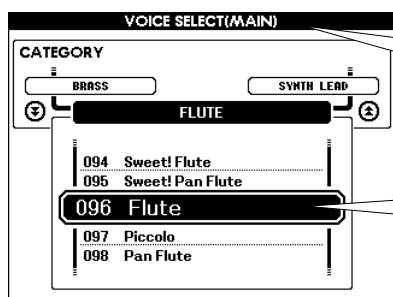


2 ボイス [VOICE]ボタンを1秒以上押します

下図のような楽器リストが表示されるまで、[VOICE]ボタンを押したままにします。

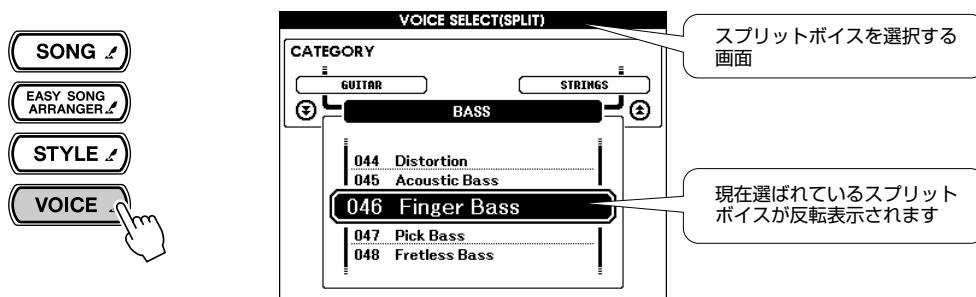


1秒以上押す



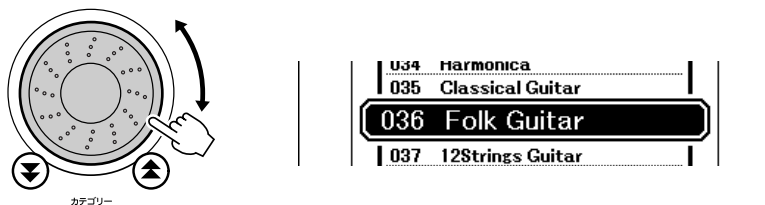
3 ^{ボイス} [VOICE] ボタンを2度押します

スプリットボイスを選ぶ画面が表示されます。
反転表示された欄は、**ダイヤル**などを使って別の楽器音を選択できる状態にあります。

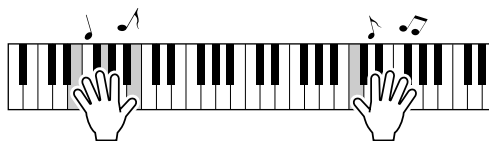


4 左側の鍵盤で鳴らしたい音(スプリットボイス)を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、**ダイヤル**をまわしてみてください。
番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音が左側の鍵盤の音になります。ここでは「036 Folk Guitar(フォークギター)」を選んでみましょう。



5 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。

[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻ります。

グランドピアノの音で弾いてみよう グランドピアノ PORTABLE GRAND

「とにかくピアノの音で弾きたい」というときに便利なボタンです。

グランドピアノ [PORTABLE GRAND] ボタンを押します

楽器音が001 グランドピアノの音色になります。



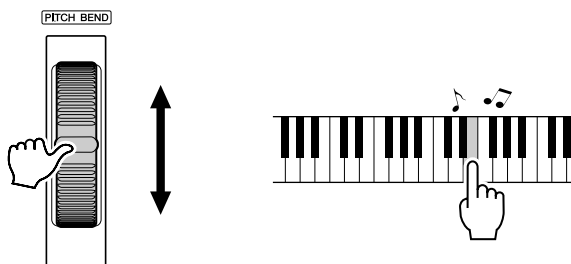
NOTE

- ・ [PORTABLE GRAND] ボタンを押すと、タッチレスポンス以外はすべてオフになります。デュアルやスプリットもオフになるので、どの鍵盤を弾いてもピアノの音になります。

ピッチベンドを使ってみよう ピッチベンド PITCH BEND

ピッチベンドは鍵盤で弾いた音の音程を滑らかに変化(アップ、またはダウン)させる機能です。

押鍵中に [ピッチベンド] (PITCH BEND) ホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。鍵盤の楽器音をたとえば「043 Overdriven(オーバードライブ ギター)」というギターの音色に変えて(23ページ参照)この機能を使うと、とても弦楽器らしい演奏になります。



鍵盤を押さえる強弱で音量を変える タッチレスポンス TOUCH

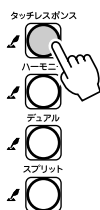
「タッチレスポンス」という機能です。鍵盤を強く弾いたときと弱く弾いたときとで、音量に差ができるので、ピアノのように微妙なタッチニュアンスを鍵盤で表現することができます。タッチレスポンスをオフにすると、鍵盤を弾く強さに関係なく、一定音量で演奏できます。

[タッチレスポンス] (TOUCH) ボタンを押します

[タッチレスポンス] (TOUCH) ボタンでタッチレスポンスのオン/オフを切り替えます。通常はオンになっています。オンにすると画面にタッチレスポンスアイコンが表示されます。

NOTE

- ・ タッチ感度を3段階で設定できます。(57ページ)





面白い音を鳴らそう

この楽器には、ドラムキット(打楽器音)や、パーティや余興で使えるユニークな効果音が満載されています。笑い声、小川のせせらぎ、ジェット機の轟音、お化け屋敷のような不気味な扉のきしみ音…。楽しい効果音を使って、パーティを盛り上げましょう！

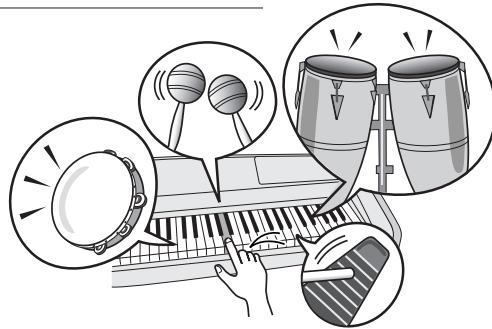
ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう

ドラムキットとはさまざまな打楽器音の集合体です。メインボイスにバイオリンなど通常の楽器音を選択した場合は、各鍵盤はバイオリンの音しか鳴りませんが、メインボイスにドラムキットを選ぶと、各鍵盤を押したときにそれぞれ異なった打楽器の音が鳴ります。

◆ドラムキットを選ぶ手順⇒(23ページ手順1、2参照)

- 1 MAIN画面で[VOICE]ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「122 Standard Kit 1」を選びます
- 3 打楽器音を鳴らしましょう

黒鍵も含めて順に弾いていくと、トライアングルやマラカス、ボンゴやドラムなど、さまざまな打楽器の音が鳴ります。ドラムキット(楽器番号122~133)の詳細については100ページの「ドラムキットリスト」をご覧ください。

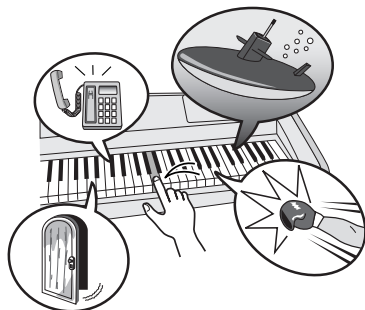


おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう

効果音(楽器番号132、133)はドラムキットの一部です。楽器音に132や133を選ぶと、各鍵盤を押したとき、さまざまな効果音が鳴ります。

◆おもしろい効果音を選ぶ手順⇒(23ページ手順1、2参照)

- 1 MAIN画面で[VOICE]ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「133 SFX Kit 2」を選びます
- 3 効果音を鳴らしましょう



黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみてください。海底を潜行する潜水艦の音、電話の呼び出し音、扉のきしむ音など、さまざまな音が鳴ります。「132 SFX Kit 1」を選ぶと、雷雨や水のせせらぎ、嵐、人の笑い声、犬の鳴き声などが楽しめます。(効果音が割り当てられていないので、鳴らない鍵盤もあります。)
SFXキット(楽器番号132、133)の詳細については101ページの「ドラムキットリスト」のSFXキット1、2の欄をご覧ください。





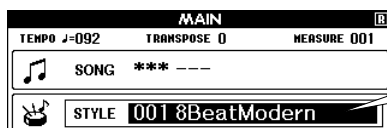
スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう

この楽器には、左手でコードを押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らす、自動伴奏機能があります。
リズムや拍子、アレンジが異なるスタイルが135種類も用意されています。(102ページのスタイルリストをご覧ください)。
ここでは、この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

スタイルを鳴らして自分も演奏しよう スタイル STYLE

1 スタイル [STYLE]ボタンを押します

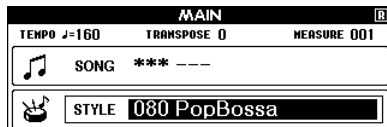
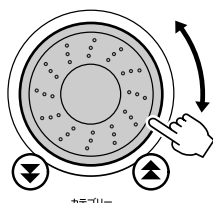
STYLE欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイヤル**を使って別のスタイルが選べる状態にあります。



STYLE欄には、選ばれているスタイルの番号と名前が表示されます

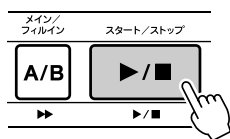
2 使いたいスタイルを選びます

ダイヤルを回して好きなスタイルを選びます。
ここでは「080 PopBossa」を選んでみましょう。



3 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

選ばれているスタイルのリズムだけがスタートします。



スタイルのリズムがスタート!

NOTE

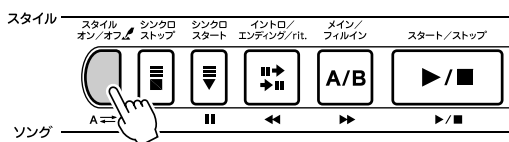
・112番のスタイルと、124～135番(ピアニストカテゴリー)のスタイルは、リズムパートを含まないのでリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオン(30ページ)にした状態で33ページのスタート操作を行なうと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

4 もう一度 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

スタイルのリズムがストップします。

5 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押します

スタイルがオン(30ページ)になります。ACMPが表示されていることを確認してください。



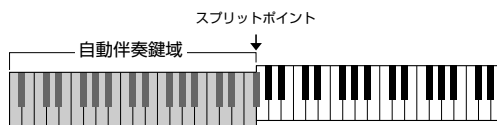
スタイルがオンになると、ACMPが表示されます

NOTE

・ACMPが表示されていない場合は、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押して、オンにしてください。[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押すたびに、スタイルのオン/オフが切り替わります。

●スタイルがオンになると？

スプリットポイントより左側が、コードを押さえるための鍵域になります。この状態の領域を「自動伴奏鍵域」と呼びます。



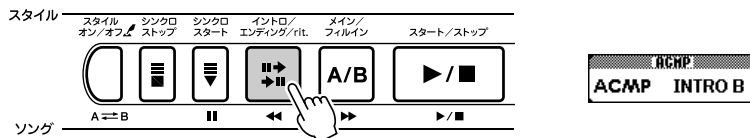
この状態で[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとスタイルのリズムだけがスタートします。さらに自動伴奏鍵域でコードを押さえると、リズムだけでなく、コード音やベース音などすべてを含んだスタイルがスタートします。
また、33ページにあるように、さまざまな方法でスタイルをスタートさせることができます。

NOTE

・自動伴奏鍵域は、スプリットポイントの設定を変える(59ページ)ことで変更できます。

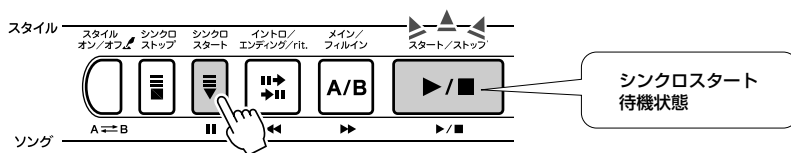
6 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押します

画面に“INTRO A” (またはINTRO B)と表示されます。
伴奏がスタートしたらイントロを再生し、そのあとメインパターンA(またはB)を再生するという設定です。



7 [シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押します

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンが点滅します。(シンクロスタート待機状態)

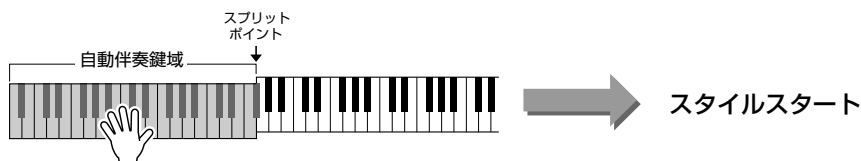


●シンクロスタート待機状態とは？

自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートする状態のことです。シンクロスタート待機状態で、[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。

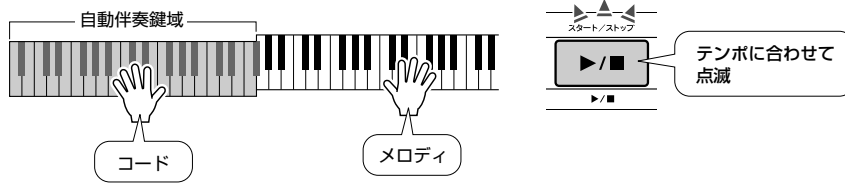
8 自動伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします

コードを知らない？大丈夫です！この楽器は、鍵盤を1つ押さえただけで「コードが押さえられた」と認識してくれます。詳しいコードの押さえ方は、61ページをご覧ください。
また、コード名を入力すると、どの鍵盤を押さえればよいかを教えてくれる「コードディクショナリー」(63ページ)という機能もあります。



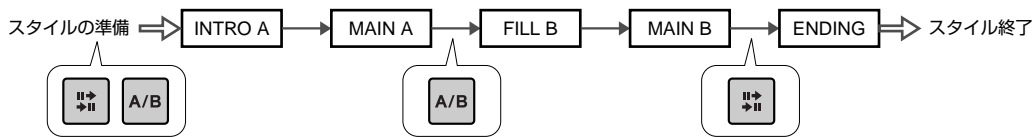
9 スタイルに合わせて弾いてみましょう

左手(自動伴奏鍵域)でコードを押さえ、右手でメロディを弾きましょう。
 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンがテンポに合わせて点滅します(1 拍目：赤、他の拍：青)。



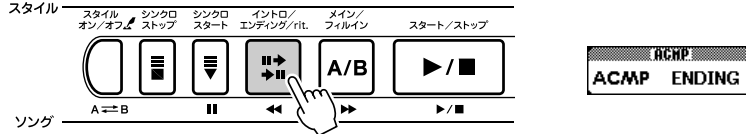
また、スタイルのメインパターンにはAとBの2つのパターンがあります。
 曲中で[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すと、フィルインが鳴った後、もう一方のメインパターンに切り替わります。

●ボタンを押して設定するスタイルパターンの1例



10 [イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押してスタイルを終了

曲のエンディングにふさわしいフレーズのあと、スタイルが停止します。

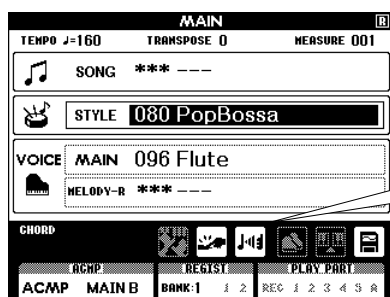


ハーモニー音を加える ハーモニー HARMONY

演奏音(メインボイス)にハーモニー音を加えることができます。
 [ハーモニー](HARMONY) ボタンを押してオンにすると、そのとき選ばれているメインボイスに最適なハーモニータイプが自動的に選択されます。ハーモニータイプは26種類あります。メインボイスに関係なくハーモニータイプを選びたいときは、以下の手順で選択してください。ハーモニーのタイプにより、効果の内容や動作条件が異なります。詳しくは、104ページのハーモニータイプリストをご覧ください。

1 [ハーモニー](HARMONY) ボタンを押します

[ハーモニー](HARMONY) ボタンでハーモニーのオン/オフを切り替えます。
 オンにすると、画面にハーモニーアイコンが表示されます。



NOTE

・ソングレッスン中は、ハーモニーのオン/オフはできません。

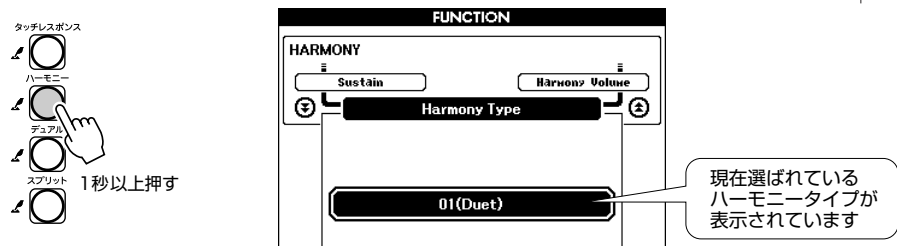
2 [ハーモニー] (HARMONY) ボタンを1秒以上押します

FUNCTION画面が表示されます。

Harmony Typeという項目と、現在選ばれているハーモニータイプの名称が表示されています。ハーモニータイプは、**ダイヤル**を使って別のハーモニータイプを選べる状態にあります。

NOTE

- ・ [FUNCTION] ボタンを押してから、Harmony Type項目に移動することもできます。(70ページ)

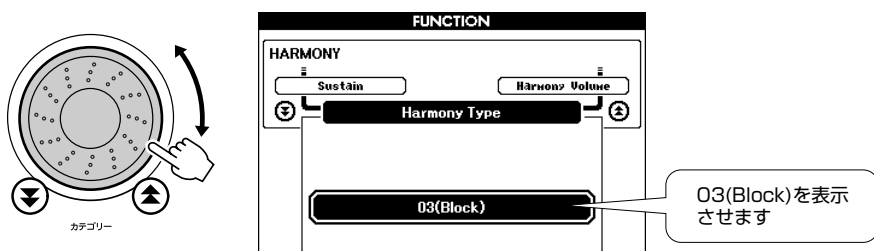


3 ハーモニータイプを選びます

ダイヤルを回してハーモニータイプ(01~26)を選択します。ここでは「03(Block)」を選択してみましょう。

NOTE

- ・ ハーモニータイプ01~05は、スタイルがオンの状態(30ページ)で、スタイルを鳴らしているときだけ機能します。自動伴奏鍵域で弾いたコードに従って、右手で弾いた鍵盤の音にハーモニー音が追加されます。
- ・ ハーモニータイプ06~26は、スタイルをオンにしなくても、ハーモニー音を加えることができます。手順4のあと、104ページのハーモニータイプリストで動作条件を確認してから、鍵盤を弾いてください。



4 [画面 戻る] (EXIT) ボタンを押します

MAIN画面が表示されます。

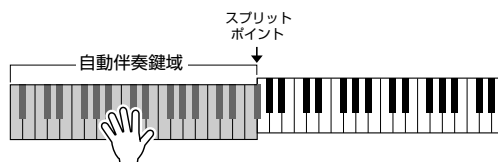
5 29ページの手順1、2、3、5を行ないます

スタイルがオンになります。ACMP ONが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、[スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを押して、オンにしてください。



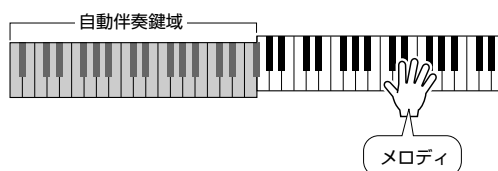
6 自動伴奏鍵域でコードを弾きます

スタイルがスタートします。



7 鍵盤を弾いてみましょう

右手でメロディを弾くと、ハーモニー音が加わります。



NOTE

- ・ ハーモニー機能を使うときは、音程のある楽器音を選んでください。ドラムキットや効果音が選ばれていると、ハーモニー効果がほとんどありません。

スタイルのいろいろなスタート方法とストップ方法

■スタイルのスタート方法

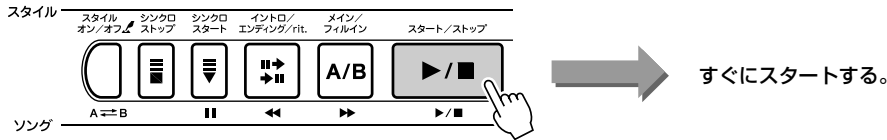
スタイルのスタート方法には、次の4種類があります。

いずれの場合も、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してスタイルをオンにしたあとに、操作します。

どのスタート方法でも、スタート前に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押してスタイルのパターンにイントロを指定しておく、メインパターンに入る前にイントロを再生します。

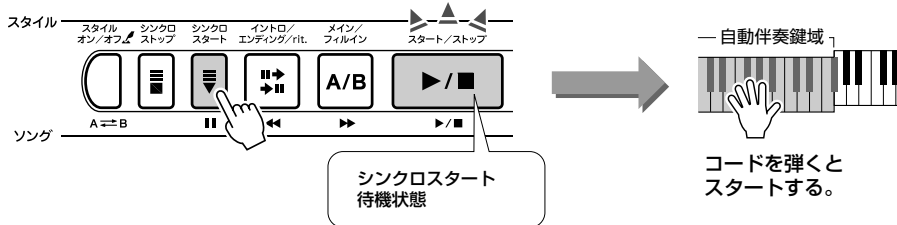
●すぐにスタート

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとすぐにスタイルがスタートし、選ばれているスタイルのリズムだけが鳴ります。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。



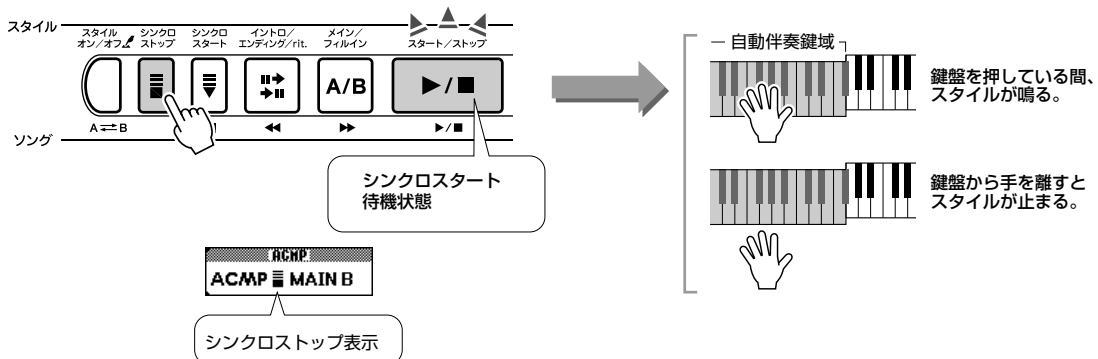
●コードを弾くとスタート

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンが点滅します。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートします。



●コードを弾くとスタート、手を離すとストップ

[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押します。シンクロスタート待機状態になり、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンが点滅します。スタートの動作はシンクロスタートと同様です。自動伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします。ただし、自動伴奏鍵域から手を離すとスタイルが止まり、シンクロスタート待機状態になります。つまり、自動伴奏鍵域で弾いている間だけスタイルが鳴ります。これをシンクロストップ機能と呼びます。



シンクロストップ機能を解除する場合は、[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押します。

●自分でカウントを出してスタート

4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。

ボタンを押したタイミングをテンポとして、スタイルがスタートします。



■スタイルのストップ方法

スタイルのストップ方法には、次の3種類があります。

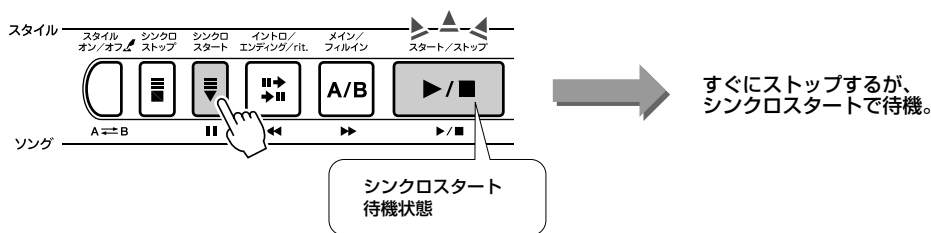
●すぐにストップ

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、すぐにスタイルがストップします。



●すぐにストップしてシンクロスタート待機

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとすぐにスタイルがストップし、シンクロスタート待機状態(ビート表示が点滅)になります。



●エンディングを鳴らしてストップ

[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、エンディングを鳴らしたあとでストップします。



また、エンディング再生中に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、エンディングにリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

■鍵盤の楽器音を変えるには

スタイル再生中、鍵盤を弾いて鳴る音は、メイン/デュアル/スプリットボイスに設定されている楽器音です。

楽器音を鳴らしたい音に変えましょう。

(→23ページをご覧ください。)



ソングの使い方

この楽器に内蔵されているソング30曲は、聞いて楽しむだけでなく、ほかの機能と組み合わせることで使えます。39ページで紹介するレッスン機能と合わせて使うと、譜面を表示させながら、曲の弾き方をマスターすることも可能です。また内蔵ソングのほかに、自分の演奏を録音したユーザーソングや、インターネットからダウンロードしたソングファイルなども、本体の機能と組み合わせることで使えます。

「SONG(ソング)」とは? メロディ+スタイル(自動伴奏)の組み合わせでできた曲データのことです。

ソングを選んで聞いてみよう

コンピューターから転送した外部ソングファイル(036～)を聞きたいときは、メディアセレクト(67ページ)で、聞きたい外部ソングファイルが入っているメディアを選んでから、以下の操作を行なってください。

1 ^{ソング} [SONG] ボタンを押します

SONG欄が反転表示されます。
反転表示された欄は、**ダイヤル**を使って別のソングを選ぶことができる状態にあります。



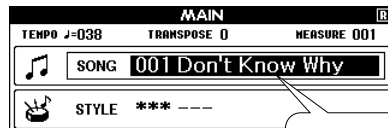
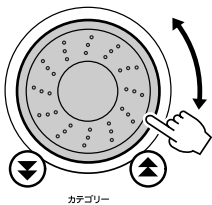
SONG欄が反転表示されます。
表示されているのは、現在選ばれているソング番号とソング名です

NOTE

- ・[SONG]ボタンを1秒以上押し続けてソングリストを表示させ、そのリストから選ぶこともできます。

2 好きなソングを選びます

36ページのプリセットソングのカテゴリーリストを参考に、ソングを選びます。
ダイヤルを回して、SONG欄に好きなソングを表示させます。



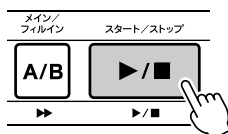
ここに表示させたソングを鳴らすことができます

NOTE

- ・ダイヤル以外にも、[+]、[-]ボタンで選択したり、数字ボタン[0]～[9]で直接入力して選ぶこともできます。

3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングの再生が始まります。
もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



ソングスタート!

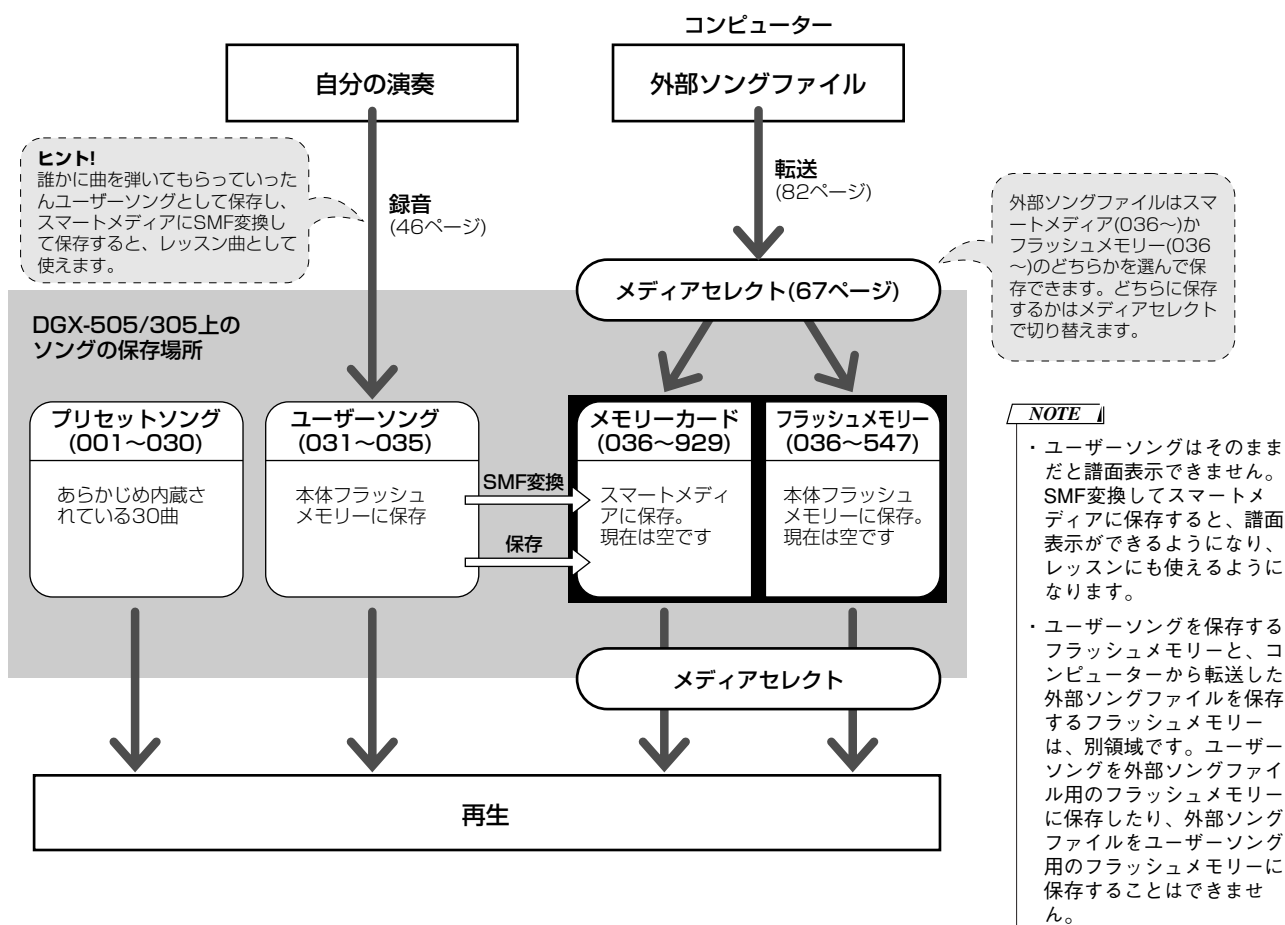
ソングの種類

DGX-505/305で扱えるソングは以下の3種類です。

- **プリセットソング**(あらかじめ本体に内蔵されているソング30曲) ソング番号 001~030
- **ユーザーソング**(自分の演奏を録音したもの)..... ソング番号 031~035
- **外部ソングファイル***(コンピューターから本体へ転送した曲データ) ソング番号 036~

* アクセサリー CD-ROMには70曲のMIDIソングが入っています。楽器への転送方法は82ページをご覧ください。

ソングの種類によって、保存できるソング番号は異なります。外部ソングファイルは、メディアを変えて保存することもできます。下の表はプリセットソング、ユーザーソング、外部ソングファイルのDGX-505/305上で保存→再生までの流れを表にまとめたものです。



●プリセットソングのカテゴリー

プリセットソング30曲は、レッスンソングとして選びやすくするため、8つのカテゴリーに分かれています。レッスンソングを選ぶときは、この表を参考にして選んでください。

カテゴリー名	ソング番号	こんな方におすすめ
お気に入り	001~003	ポップス曲。ポップスを弾いてみたい方に
簡単メロディ	004~008	右手のメロディ曲。はじめての方のレッスンに最適
ピアニスト	009~013	民謡をピアノアレンジした曲。クラシックな曲を弾きたい方に
オルガニスト	014~016	オルガン曲。敬虔な雰囲気の曲を弾きたい方に
チャレンジ曲	017~021	華やかな曲。片手レッスンからステップアップしましょう
バンドプレイ	022~024	スローなバラード曲。バンドの中のキーボーディストの役割を味わいたい人に
デュエット	025~027	2つの右手メロディで構成された曲。連弾したい方に
クリスマス	028~030	弾き映えのするクリスマス曲。レパートリーを増やしたい方に

ソングの譜面を表示させてみよう スコア SCORE

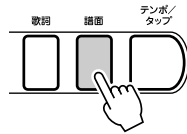
この楽器には、譜面を表示する機能もあります。
 本体のソング001～030で、譜面が表示されます。スマートメディアやフラッシュメモリーのソングでも譜面が表示されます。
 また自分の演奏を録音したユーザーソング(031～035)は、そのままでは譜面表示されませんが、スタンダードMIDIファイル形式に変換してスマートメディアに保存すると譜面表示ができるようになります。

1 好きなソングを選びます

前ページの手順1から手順2までを行ないます。

2 [譜面](SCORE) ボタンを押すと譜面が1段表示されます

譜面表示には1段譜表示と2段譜表示の2タイプがあり、[譜面](SCORE) ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



1 段譜表示

2 段譜表示

NOTE

- ・ソングデータにコード情報、歌詞情報が含まれて1段譜表示させている場合は、コード、歌詞も表示します。
- ・歌詞が多い場合は、1小節につき、2段の歌詞が表示されます。
- ・歌詞表示が多い場合は、一部省略されることがあります。
- ・細かい休符などで見づらい場合は、クオンタイズ(72ページ)すると見やすくなります。

NOTE

- ・2段譜表示させた場合は、歌詞は表示できません。

3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します

ソングがスタートします。ソングの進行に合わせて譜面上部をマーカーが移動します。

歌詞を表示させてみよう

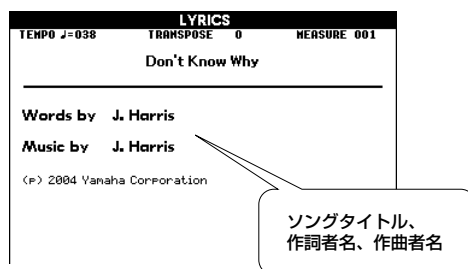
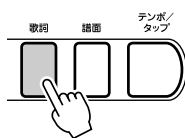
ソングに歌詞情報が含まれている場合、歌詞を表示させることができます。
歌詞情報が含まれていなければ、[歌詞](LYRICS) ボタンを押しても歌詞は表示されません。

1 ソングを選びます

前ページの手順1から手順2までを行ないます。
ソングは001~003の中から選んでみましょう。

2 [歌詞](LYRICS) ボタンを押します

選んだソングのタイトル、作詞者名、作曲者名などが表示されます。



NOTE

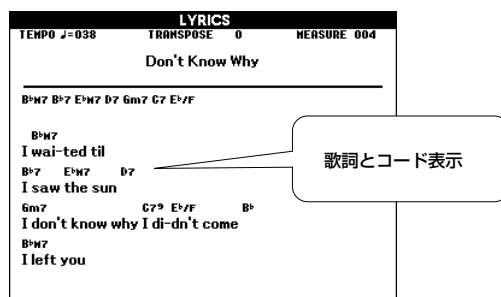
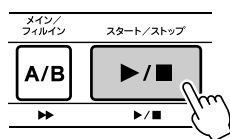
・インターネットからダウンロード(81ページ)したソングファイルや市販のソングファイルでも、XFフォーマット(6ページ)のような『歌詞情報を含んだスタンダードMIDIファイル』であれば、歌詞表示ができます。ただし一部のソングファイルでは、歌詞表示ができないものもあります。

NOTE

・歌詞が文字化けする場合は、表示言語を切り替えてください。(22ページ)

3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します

ソングが再生し、画面に歌詞とコードが表示されます。
ソングの進行に合わせて歌詞表示が反転します。



■歌詞表示できるプリセットソング

ソング番号	ソング名
001	Don't Know Why (Jesse Harris)
002	My Favorite Things [from THE SOUND OF MUSIC] (Oscar Hammerstein II/ Richard Rodgers)
003	Fly Me To The Moon (In Other Words) (Bart Howard)

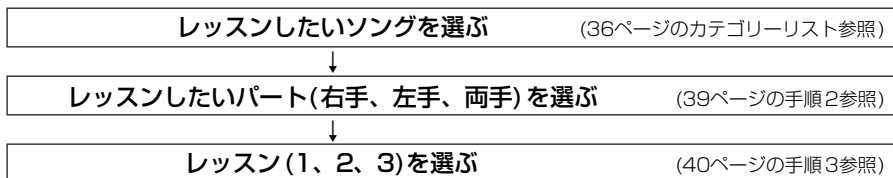


曲を選んでレッスンしてみよう

Yamaha Education Suite 4

好きなソングを選んで、右手、左手、両手の3段階のレッスンができます。
インターネットからスマートメディアやフラッシュメモリーにダウンロードしたソングデータもSMFフォーマット0であれば、レッスンに使えます(81~83ページ参照)。レッスン中は、ゆっくり弾いても、弾く音を間違えても大丈夫。弾く人のテンポに合わせてソングがペースダウンしてくれるので、自分のペースでゆったり練習できます。
さあ、やってみましょう!

レッスン手順は次のとおり!



NOTE

・レッスン中は[譜面](SCORE)ボタン、[歌詞](LYRICS)ボタンは無効となります。

- レッスン1.....(正しい音を弾くレッスン)：正しい音を弾くまで、ソングは進まず待ってくれます。
- レッスン2.....(タイミングを合わせて正しい音を弾くレッスン)：弾く人のペースに合わせてソングのペースが変化します。音を弾き間違えたときはソングのテンポがゆっくりになります。マイペースで練習したい人におすすめです。
- レッスン3.....(ソングに合わせて正しい音を正しいタイミングで弾くレッスン)：仕上げの練習に。

レッスンに使えるのはSMFフォーマット0(76ページ参照)のソングだけです。インターネットからダウンロードした曲をレッスンに使うときは、どのチャンネルを右手/左手パートで再生させるのか指定してください(83ページ)。

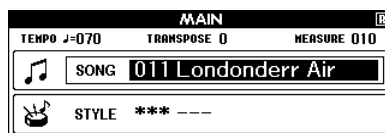
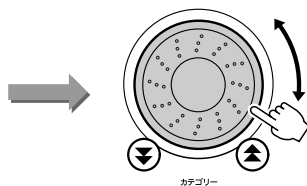
レッスン1：正しい音を弾く ウェイティング Waiting

1 レッスンしたいソングを選びます

MAIN画面で[SONG]ボタンを押し、SONG欄を反転表示させます。ダイヤルを回してここにレッスンしたいソングを表示させます。ソングは36ページのリストにあるようにさまざまなタイプがあります。ここでは「011 Londonderry Air (ロンドンデリーの歌)」を選んでみましょう。

NOTE

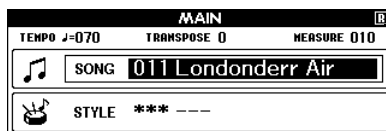
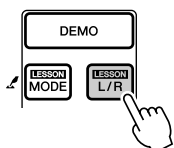
・ソング番号004~008の「簡単メロディ」カテゴリのソングは、右手レッスン用です。左手、両手レッスンはできません。



通常、MAIN画面の右上には「R」(右手)が表示されています。右手パートをレッスンしたいときは、[LESSON MODE]ボタンを押すだけでレッスンが始まります。

2 レッスンしたいパート(右手、左手、両手)を選びます

[LESSON L/R] ボタンを押してパートを選びます。
[LESSON L/R] ボタンを押すたびに、レッスンパートは右手→左手→両手→右手…の順番で切り替わります。選択されたパート名は画面右上に表示されます。

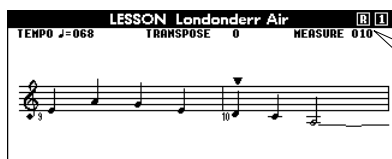
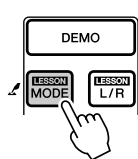


右手レッスンをしたいときはR、左手レッスンをしたいときはL、両手レッスンをしたいときはLRを表示させます。

3 レッスンモード [LESSON MODE] ボタンを押してレッスン1を始めましょう

[LESSON MODE] ボタンを押してレッスン1 を選びます。

[LESSON MODE] ボタンを押すたびにレッスンモードは「レッスン1」→「レッスン2」→「レッスン3」→「オフ」→「レッスン1」…の順番で切り替わります。選択されたレッスンモードは「1」→「2」→「3」→「オフ」→「1」…の順番で切り替わり、画面右上に表示されます。



表示の見方

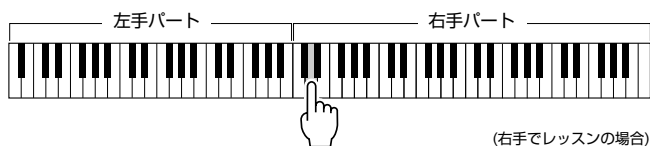
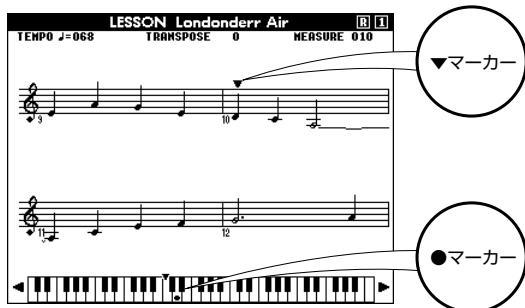
	右手	左手	両手
レッスン1	R1	L1	LR1
レッスン2	R2	L2	LR2
レッスン3	R3	L3	LR3

NOTE

- ・レッスンモードを切り替えると、各レッスンの説明を数秒間表示したあとレッスンが始まります。
- ・レッスンの説明画面表示が終わったあと、まだ譜面表示の準備ができていない場合は、準備中のメッセージが出ます。

レッスン1 を選ぶとソングが自動的にスタートします。

譜面のマーカー (▼) の真下にある音符を弾いてください。鍵盤上のマーカー ● はその音符の位置を示しています。正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤と音符位置にそれぞれのマーカーが移動します。伴奏は、正しい鍵盤を押さえるまで待ってくれます。



(右手でレッスンの場合)

●画面の鍵盤を左右に動かす

[+]、[-] ボタンを押すと、隠れていた鍵盤 (■) 部分が表示されます。



画面に表示されている鍵盤は61鍵です。DGX-505は88鍵、DGX-305は76鍵あるので、ソングによっては非常に高い音、低い音が画面の鍵盤に表示されることがあります。その場合、画面の鍵盤の左右に領域オーバー表示が出るので、[+]、[-] ボタンを押して、鍵盤を左右に動かしてください。隠れていた鍵盤部分とマーカー (●) 位置が表示されます。また、実際の鍵盤領域から外れた音には、レッスン機能は使えません。

■評価をみてみましょう.....



ソングを最後まで再生してレッスンを終了すると、その演奏が4段階(OK, Good, Very Good, Excellent)で評価され、画面に表示されます。Excellent! が最もよい評価です。

評価の表示後、ソングが最初から自動的にスタートし、再びレッスンが始まります。ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

NOTE

・評価はオフにすることもできます。→FUNCTION画面のGrade項目。(72ページ)

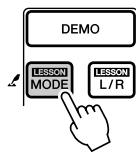
レッスン1ができるようになったら、次はレッスン2に進みましょう！

レッスン2：タイミングを合わせて正しい音を弾く エアテンポ Your Tempo

1 ソングとレッスンパートを選びます⇒(39ページの手順1、2)

2 レッスンモード [LESSON MODE] ボタンを2回押してレッスン2を始めましょう

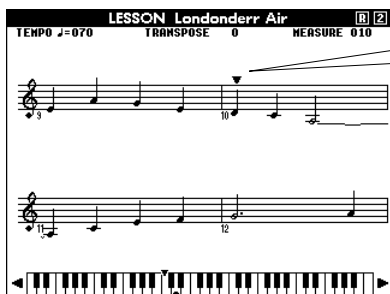
[LESSON MODE](レッスンモード) ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3と切り替わります。



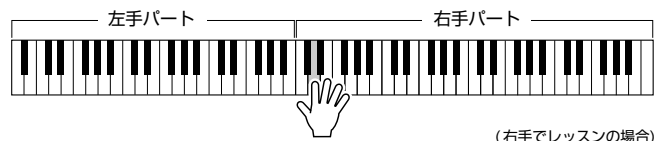
画面右上にレッスンパートとレッスン2のアイコンが表示されます。この画面では、右手のレッスン2を意味する「R2」が表示されています

レッスン2を選ぶとソングが自動的にスタートします。

▼マーカーが画面に表示され、ソングに合わせて移動するので、それに合わせて弾いてみましょう。ソングのテンポが下がっても、正しい音を正しいタイミングで弾くと、徐々に本来のテンポに戻っていきます。



▼マーカーの移動に合わせて弾きましょう



(右手でレッスンの場合)

ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。
[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

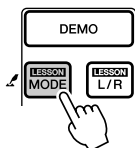
レッスン2ができるようになったら、次はレッスン3に進みましょう！

レッスン3：ソングに合わせて正しい音とタイミングで弾く マイナスイワン Minus One

1 ソングとレッスンパートを選びます⇒(39ページの手順1、2)

2 レッスンモード [LESSON MODE] ボタンを3回押してレッスン3を始めましょう

[LESSON MODE] (レッスンモード) ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3と切り替わります。

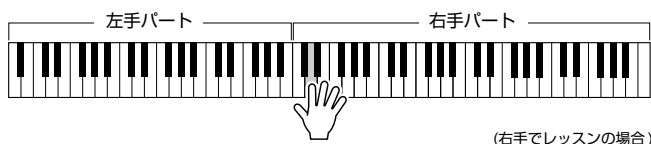
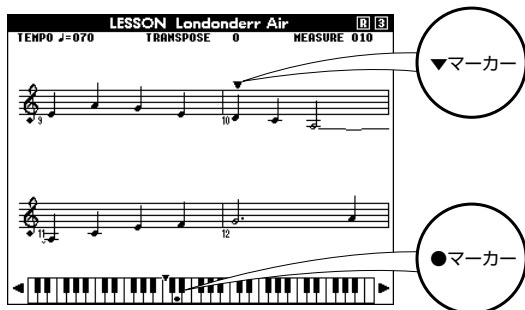


画面右上にレッスンパートとレッスン3のアイコンが表示されます。この画面では、右手のレッスン3を意味する「R3」が表示されています

レッスン3を選ぶとソングが自動的にスタートします。

カラオケのように、あなたの弾くパートだけが鳴らずにソングが進みます。ソングをよく聞いて演奏しましょう。

画面には弾く音の音符と鍵盤位置がマーカーで表示されます。



(右手でレッスンの場合)

ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。

[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

くり返し練習しよう リピート&ラーン Repeat & Learn

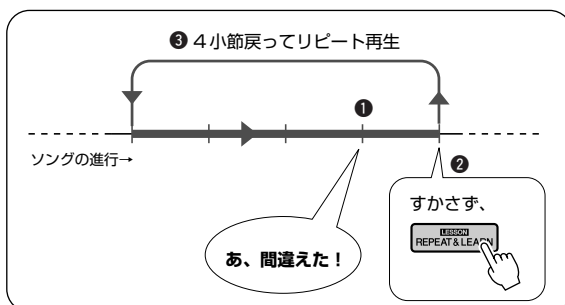
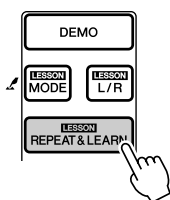
レッスン中に間違ったところを少し手前から弾きなおしたい、苦手なところをくり返して練習したい。こんなときは [LESSON REPEAT & LEARN] ボタンを使いましょう。

レッスンリピート&ラーン レッスン中に [LESSON REPEAT & LEARN] ボタンを押します

ソングが押した時点から4小節前まで戻り、1小節カウントしたあと再生されます。押した時点までくると、また4小節前まで戻ってくり返し再生するので、「あっ、間違えた」というときにポンと押せば、間違えた部分も含んで何度でも練習できます。

NOTE

・リピート再生中に[0]~[9]の数字ボタンを押すと、くり返す小節数を変えることができます。





ソングの雰囲気を変えてみよう

この楽器には、好きなスタイル（自動伴奏）でソングを鳴らすことができる「イージーソングアレンジャー」という機能があります。この機能を使えば、本来バラード調のソングをボサノバ調で鳴らしたり、ヒップホップ調で鳴らしたりできます。ソングはメロディとスタイル(自動伴奏)の組み合わせでできているので、スタイル部分を変えることによって、まったく異なる雰囲気にアレンジできます。また、ソングのメロディの楽器音や、鍵盤の楽器音を変えることもできるので、ソングのイメージを変えて楽しんでみましょう。

イージーソングアレンジャー機能を使う

1 [EASY SONG ARRANGER] ボタンを押します

イージー ソング アレンジャー

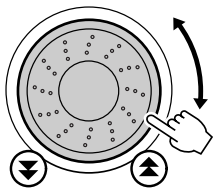
EASY SONG ARRANGER MAIN画面のSONG(ソング)欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイヤル**を使って別のソングを選べる状態にあります。



SONG欄には現在選ばれているソング番号とソング名が表示されています

2 ソングを選びます

ダイヤルを回して好きなソングを選びます。ここでは「004 Down By The River (ダウン・バイ・ザ・リバーサイド)」を選んでみましょう。



カテゴリ

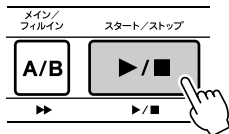


NOTE

- ・ユーザーソング(031～035)ではイージーソングアレンジャーは使用できませんが、スタンダードMIDIファイルに変換してスマートメディアへ保存(76ページ)することで、使用できるようになります。

3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとソングが始まります。ソングを鳴らしたまま次の手順に進んでください。



ソングスタート!

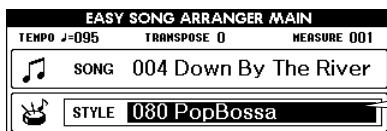
NOTE

- ・ソング番号022～024の曲は、イージーソングアレンジャーを使っているとき、メロディが入っているトラックが自動的にミュート(消音)されるため、メロディが鳴りません。メロディを鳴らすためには、[ソングメモリー](SONG MEMORY)の[3]～[5] ボタンを押してください。

4 [EASY SONG ARRANGER] ボタンを押します

イージー ソング アレンジャー

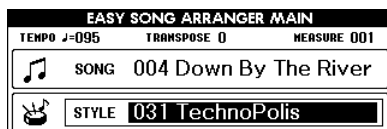
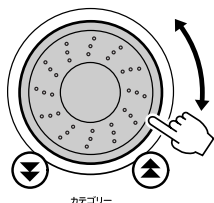
EASY SONG ARRANGER MAIN画面のSTYLE(スタイル)欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイヤル**を使って別のスタイルを選べる状態にあります。



STYLE欄には現在選ばれているスタイル番号とスタイル名が表示されています

5 スタイルを選びます

ダイヤルを回してどんどんスタイルを変えてみてください。ソングのスタイルだけが次々に切り替わっていくのがわかります。好きなスタイルを選んだら、ソングを鳴らしたまま次の手順に進んでください(手順の途中でソングが終わってしまった場合は、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと再びソングが始まります)。



NOTE

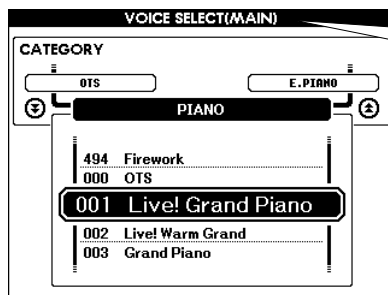
- ・ イージーソングアレンジャーでのコード指定にはソングデータが用いられるので、自動伴奏鍵盤を弾いてもコードは指定できません。[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンも機能しません。
- ・ ソングとスタイル(自動伴奏)の拍子が異なる場合は、ソングの拍子で再生されます。

6 [VOICE] ボタンを1秒以上押します

メインボイスを選択するVOICE SELECT (MAIN)画面が表示されるまで押したままにします。



1秒以上押す



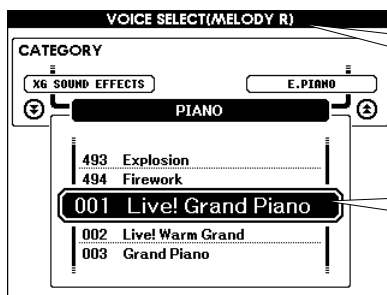
[VOICE]ボタンを押すたびに、デュアルボイス、スプリットボイス、メロディR、メロディLを選択する画面に切り替えられます

7 [VOICE] ボタンを3回押します

メロディ Rを選択するVOICE SELECT(MELODY R)画面が表示されます。



3回押す



VOICE SELECT(MELODY R)画面

現在選ばれているメロディ音色が表示されています

[VOICE] ボタンを押すたびに画面タイトルが、VOICE SELECT(MAIN)のカッコの部分だけ、MAIN→DUAL→SPLIT→MELODY R→MELODY L→MAIN…の順番に切り替わります。MAIN、DUAL、SPLIT画面では鍵盤の楽器音、MELODY R、MELODY L画面ではソングのメロディ音色を選択できます。

8 ボイスを選びます

ダイヤルを回してみましょう。同じソングの、メロディの楽器音だけが次々に切り替わるのがわかります(手順の途中でソングが終わってしまった場合は、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと再びソングが始まります)。

イージーソングアレンジャーの設定はスマートメディアに保存することができます。保存する場合は78ページの手順を行なってください。

NOTE

- ・ MELODY R (メロディ R) と MELODY L (メロディ L) のちがいは？
ソングは「メロディ」と自動伴奏の組み合わせでできています。通常、メロディというと右手で弾くパートと思われるかもしれませんが、この楽器でいう「メロディ」は両手パートあり、右手パートと左手パートに分かれています。メロディ Rは右手で弾くメロディパート、メロディ Lは左手で弾くメロディパートのことです。



自分の演奏を録音しよう

自分の演奏を録音して、ユーザーソングとして031～035のソング番号に、5曲まで保存することができます。保存した曲は再生できます。自分で弾いた演奏をいったんユーザーソングに記憶させてから、スタンダードMIDIファイルに変換してスマートメディアに保存(76ページ)すると、譜面表示もできます。思いついて弾いた素敵なメロディも、この手順で保存しておけばいつでも譜面が確認できるので安心です。パフォーマンスアシスタント機能を使って演奏した音も録音できます。

録音できるデータ

メロディ演奏5トラックとスタイル(コード演奏)1トラックの、合計6トラックに録音できます。

録音はトラックごとに行ないます。

- メロディトラック[1]～[5]メロディ演奏を録音します。
- スタイルトラック[A]コード演奏を録音します。

NOTE

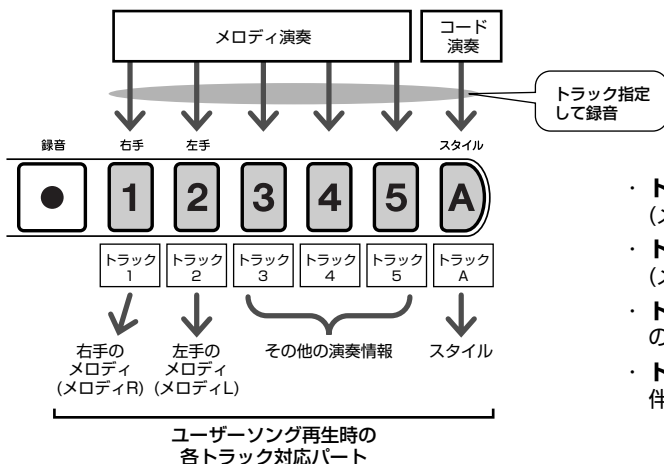
- ・ユーザーソングは5曲までしか記憶できません。5曲録音した状態で6曲目を録音したい場合は、消去してもいい曲の番号(031～035)を選んでそこに録音するか、ユーザーソングをスマートメディアに保存して、空いた番号に録音するなどしてください。
- ・録音容量：メロディトラックだけに録音した場合、約10,000の音符数が録音できます。スタイルトラックだけに録音した場合、約5,500のコード数が録音できます。
- ・ユーザーソングのままでは譜面表示はできません。スタンダードMIDIファイルに変換してスマートメディアに保存(76ページ)すると譜面表示できます。

●メロディトラック[1]～[5]に録音できるデータ	●スタイルトラック[A]に録音できるデータ
<ul style="list-style-type: none"> ・ノート オン/オフ(鍵盤を押す/離す) ・ベロシティ(鍵盤を弾く強さ) ・楽器番号 ・リバーブタイプ* ・コーラスタイプ* ・ハーモニー音 ・サステイン オン/オフ ・テンポ*/拍子* (スタイルトラックが録音されていない場合のみ有効) ・パフォーマンスアシスタント オン/オフ ・ピッチベンド ・ピッチベンドレンジ ・デュアル オン/オフ ・パネルサステイン オン/オフ ・メイン/デュアルボイスの音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・コード変更、コードを弾くタイミング ・スタイルパターンの変更 ・スタイル番号* ・リバーブタイプ* ・コーラスタイプ* ・テンポ ・拍子* ・スタイル音量*

*印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

トラックの構成

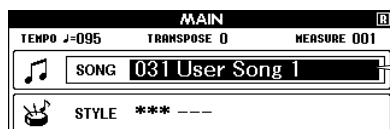
自分の演奏を録音するには、[ソングメモリー](SONG MEMORY)の[1]～[5]、[A]ボタンを押して、演奏を入れるトラックを指定します。トラックとは、音の情報を入れる場所です。ユーザーソングは以下の6つのトラックから構成されており、どのトラックに録音したかによって、再生されるパートが決まっています。



- ・ **トラック[1]**に入れた演奏は、右手メロディ(メロディR)として再生されます。
- ・ **トラック[2]**に入れた演奏は、左手メロディ(メロディL)として再生されます。
- ・ **トラック[3]～[5]**に入れた演奏は、その他の演奏情報として再生されます。
- ・ **トラック[A]**に入れた演奏は、スタイル(自動伴奏)として再生されます。

録音の手順

- 1 MAIN画面で[SONG]ボタンを押し、ダイヤルを回して録音を入れたいユーザーソング番号(031~035)をSONG欄に表示させます



ダイヤルを回して、ここに031~035の番号のうち、どれか1つを表示させます

- 2 画面のトラック表示を確認し、録音するトラックを選びます

◆メロディトラック1つと伴奏トラックを同時に録音する場合

[録音](REC) ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]を押します。

続けて[録音](REC) ボタンを押したまま、[A] ボタンを押します。

選ばれたトラックが表示されます。



●トラックを選ぶときの注意点

以下のように、再生するときのことを考えて選びます。

- ・録音したメロディを、右手レッスンに使いたい場合
トラック[1]に録音してください。トラック[2]に入れると左手パート(メロディL)に表示され、右手レッスンができなくなります。
- ・ユーザーソングを1段譜で譜面表示させたい場合
メロディはトラック[1]に入れてください。1段譜の譜面は右手パート(メロディR)しか表示できないので、トラック[2]に入れる则表示されなくなります。

* ユーザーソングは、そのままではレッスンや譜面表示はできません。SMF変換してスマートメディアに保存してください。レッスンや譜面表示ができるようになります。

◆メロディトラックを録音する場合

[録音](REC) ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]を押します。

選ばれたトラックが反転されます。



- ・すでに録音されているトラックへ録音すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。

NOTE

- ・録音にスタイルトラック[A]を選ぶと、自動的にスタイルはオンになります。
- ・録音スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。
- ・スプリット音色を使って録音する場合、スプリットポイントよりも低い音は録音されません。

NOTE

- ・スタイルがオンで、スタイルトラック[A]がまだ録音されていない場合は、メロディトラックを選ぶと、スタイルトラック[A]も自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディだけを録音したい場合は、スタイルトラック[A]を消灯させます。
- ・選択したトラックへの録音をキャンセルする場合は、そのトラックボタンをもう一度押します。スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。

3 鍵盤を弾くと録音がスタートします

また、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押しても録音がスタートします。

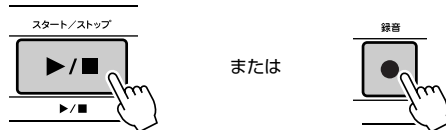
録音中は、画面に現在の小節番号が表示されます。



NOTE

・録音中にメモリ一杯になった場合は、メッセージを表示し録音が終了します。ソングクリアまたはトラッククリア(48ページ)により空きメモリを増やしたあとで、録音をやり直してください。

4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンまたは [録音](REC) ボタンを押して録音を終了します



スタイルトラック録音中に、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングにふさわしいフレーズを演奏して録音が終了します。録音を終了すると、画面の小節番号は「001」に戻り、録音したトラックの表示は四角く囲まれます。

●他のトラックを録音する場合

手順2~4をくり返し、他のトラックを録音しましょう。

ソングメモリー (SONG MEMORY) [1]~[5]、[A] ボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック表示は消灯)、他のトラックを録音することもできます。

●録音をやり直すには

やり直したいトラックを録音トラックとして選びます。

録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)します。

5 録音が終わったら

◆ユーザーソングを再生させる場合

通常のソング再生と同じ手順です。(35ページ)

- 1 MAIN画面で[SONG] ボタンを押します。
- 2 反転表示されたSONG欄に、**ダイヤル**を使って、聞きたいユーザーソング(031~035)の番号とソング名を表示させます。
- 3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します。

◆ユーザーソングをスマートメディアに保存する場合⇒75ページへ

◆ユーザーソングをSMF変換してスマートメディアに保存する場合⇒76ページへ

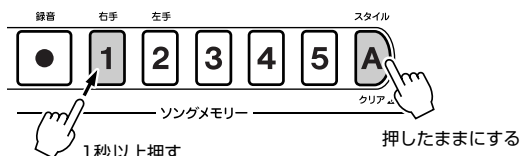
ユーザーソングの消去(ソングクリア)

録音済みのユーザーソングを1曲すべて(全トラック)をクリアします。

- 1 MAIN画面で、消去したいユーザーソング番号(031~035)を選びます

- 2 ソングメモリー (SONG MEMORY) [A] ボタンを押しながら、ソングメモリー (SONG MEMORY) [1] ボタンを1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。



- 3 [+] ボタンを押します

クリア確認の画面が表示されます。

消去をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。

- 4 消去するときは、もう一度 [+] ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、ソングが消去されます。

NOTE

・ユーザーソング1曲中の特定のトラックだけを消去したいときは、トラッククリアを行いません。

NOTE

・ソングクリアを実行するときは [+] ボタン、ソングクリアをキャンセルするときは [-] ボタンを押します。

ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア)

録音済みのユーザーソングの1つのトラックを選んで、そのトラックのデータだけを消去します。

- 1 MAIN画面で、消去したいユーザーソング番号(031~035)を選びます

- 2 消去したいトラック番号のソングメモリー (SONG MEMORY) ボタン ([1]~[5]、[A]) を1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。



- 3 [+] ボタンを押します

クリア確認の画面が表示されます。

消去をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。

- 4 消去するときは、もう一度 [+] ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、指定したトラックのデータが消去されます。

NOTE

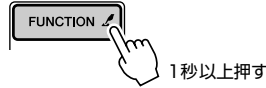
・トラッククリアを実行するときは [+] ボタン、トラッククリアをキャンセルするときは [-] ボタンを押します。



バックアップと初期化

バックアップ

DGX-505/305の一部の内部データは、設定を保存せずに電源を切るとそれぞれの初期値に戻ります。設定内容を保存したい場合は、[FUNCTION] ボタンを1秒以上押してください。



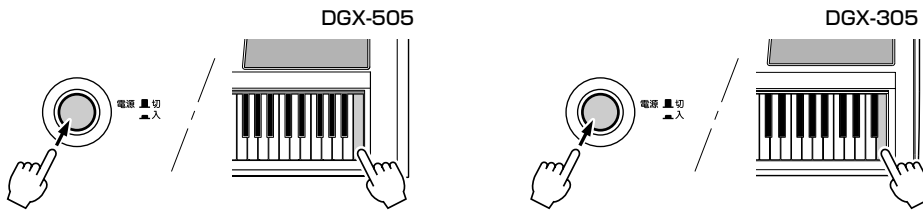
- バックアップされる内容
 - ・ユーザーソング
 - ・スタイルファイル
 - ・タッチレスポンス オン/オフ(ON/OFF)
 - ・レジストレーションメモリー
 - ・FUNCTION画面内の各設定 :チューニング、スプリットポイント、タッチ感度、スタイル音量、ソング音量、メトロノーム音量、採点、デモキャンセル、言語切り替え、メディアセレクト、パネルサステイン

初期化

この楽器のフラッシュメモリーにあるソングデータやバックアップデータを消去し、設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

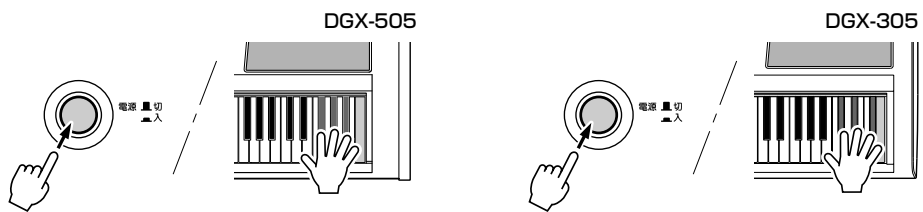
■バックアップクリア

本体のフラッシュメモリーにバックアップしたバックアップデータ(パネルセッティング、レジストレーションメモリー(68ページ)、ユーザーソング(46ページ)、スタイルファイル(60ページ))をクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去され、楽器は初期設定値に戻ります。



■フラッシュクリア

コンピューターから本体フラッシュメモリーに転送したソングデータをクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押しながら[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去されます。



・フラッシュクリアすると、購入した有料のソングデータも消去されます。消去したくないデータは、必要に応じてコンピューターにセーブしましょう。



基本操作と画面表示

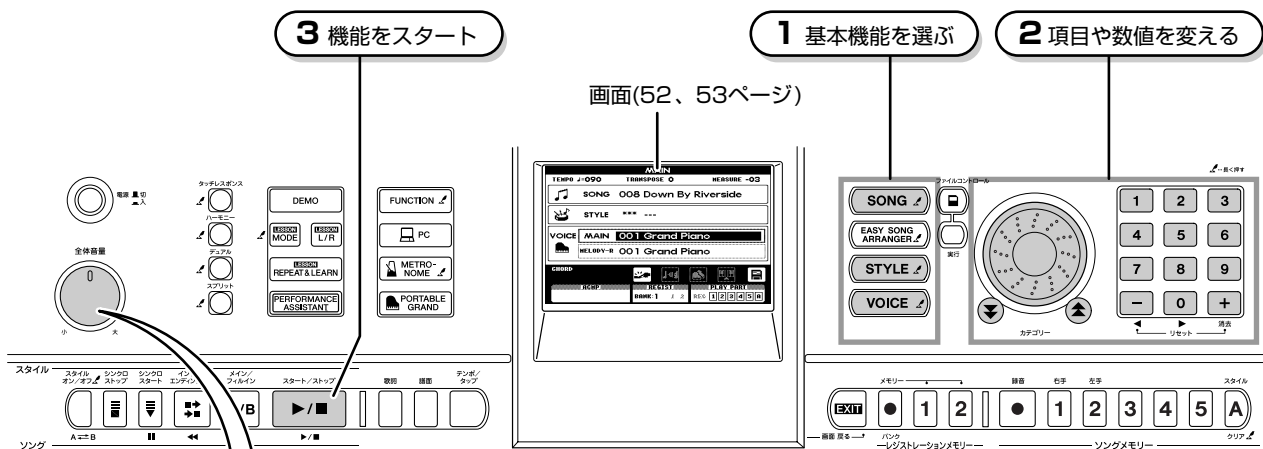
基本操作

DGX-505/305では以下の操作が基本になります。

1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

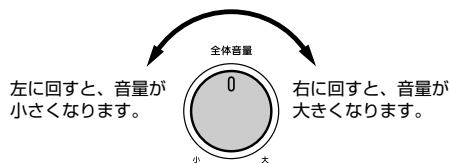
2 ダイヤルなどを使って項目や数値を変える

3 機能をスタートする



● 音量の設定

スピーカーの音量、および PHONES 端子に接続したヘッドフォンの音量を調節します。



1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

SONG

聞きたいソングやレッスンしたいソングを選べる状態になります。

EASY SONG ARRANGER

STYLE

スタイル(自動伴奏)を選べる状態になります。

VOICE

鍵盤で弾きたい音を選べる状態になります。

2 ダイアルなどを使って項目や数値を変える

基本の機能を選ぶと、画面中の、その機能に関連した欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイアル**や数字ボタン[0]～[9]などを使って変えることができます。

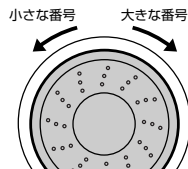


選ばれた欄が反転表示されます。
例：[SONG]ボタンを押したとき

■数値の変え方

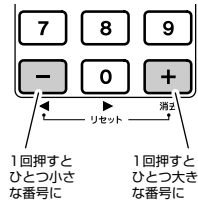
●ダイアル

右(時計回り)に回すとひとつ大きな番号に、左に回すとひとつ小さな番号になります。回し続けると連続して変わります。



●[+]、[-]ボタン

[+]ボタンを1回押すとひとつ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すとひとつ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。

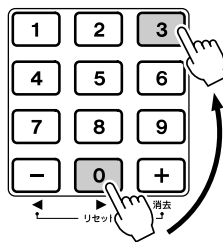


●数字ボタン[0]～[9]

ソングなどの番号や値を直接数値で設定します。100の位、もしくは100の位と10の位が0の場合は、「0」の入力を省略できます。

例)ソング番号003を選ぶ場合、次のどの方法でも入力できます。

- ・ [0]→[0]→[3]と押す。
- ・ [0]→[3]を押す。
(しばらく待つと“003”と表示されます)
- ・ [3]を押す。
(しばらく待つと“003”と表示されます)



数字ボタンの [0]、[0]、[3] を押します。

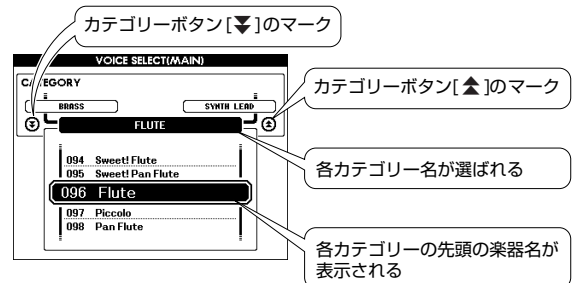
●カテゴリーボタン[▲]、[▼]
ソング、スタイル、ボイスの設定の際、ボタンを1回押すごとに各カテゴリーの先頭の番号が順番に選ばれます。



1回押すごとに各カテゴリーの先頭の番号に

カテゴリーボタン[▲]、[▼]は、たとえば以下のようなカテゴリー項目が表示された画面で使うと便利です。

例) VOICE SELECT画面

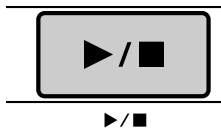


カテゴリーが表示されている画面では、最初にカテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してカテゴリーを選択します。そのあとで**ダイアル**や[+]、[-]ボタンを使って具体的な楽器を選べば、狙った範囲から手早く選択することができます。とくに数の多い楽器音を選ぶときは便利です。

この取扱説明書の操作手順では、画面の項目を選んだり、数値の変更をするのにもっとも簡単な方法として、**ダイアル**の使用を多くお勧めしています。**ダイアル**で変更できる項目は、ほとんどの場合、[+]、[-]ボタンや数字ボタン[0]～[9]でも変えられます。

3 機能をスタートする

スタート/ストップ



このボタンを[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンと呼びます。

[SONG]ボタンや[STYLE]ボタンを押したあとこのボタンを押すと、ソングやスタイル(リズム)がスタートします。

画面について

● 画面の呼び方

操作は画面を見ながら行ないます。画面の一番上には、その画面のタイトルが英語で表示されます。たとえば下の画面は一番上に「MAIN」と表示されているので、「MAIN画面」と呼びます。

● MAIN画面



MAIN画面を表示させる



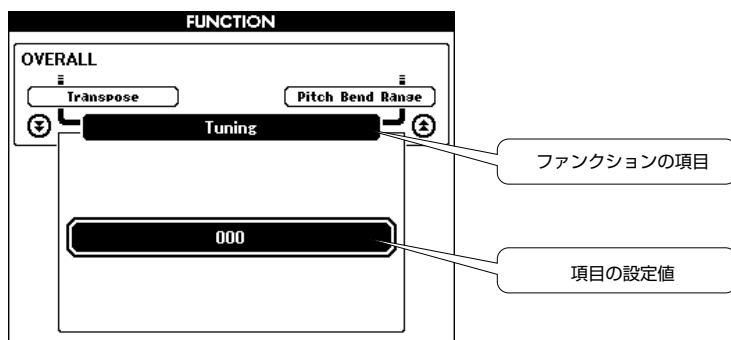
MAIN画面は操作の基本となる画面です。

一連の操作をはじめる前や終わった後は、画面の右斜め下にある[EXIT](画面 戻る)ボタンを押して、MAIN画面を表示させておきます。


● FUNCTION(ファンクション)画面 (70ページ)

FUNCTION画面は、44種類の項目に関する設定を変更する画面です。

[FUNCTION] ボタンを押すと表示されます。51ページで説明したカテゴリーボタン[▲]、[▼]を押すたびに、44種類の異なった項目に切り替わります。変更したい項目が表示されるまでボタンを何回か押し、そのあとダイヤルや[+]、[-]ボタン、数字ボタン[0]～[9]を使って、設定を変更します。



ボタンを「長く押す」マークについて

 が印刷されているボタンは、1秒以上押したままにすると、そのボタンの機能に関する設定画面にダイレクトに入ることができます。ボタンによっては、上のFUNCTION画面の関連した項目にダイレクトに入れるので、とても便利です。



MAIN画面の表示について

MAIN画面には、ソング、スタイル、楽器音など、基本的な設定状態が表示されます。

また、どの機能がオンになっているのかがアイコンなどで表示されますので、操作は画面を見ながら行ってください。

* 画面表示のコントラスト調整は、リアパネルの LCD CONTRAST ツマミで行ないます。

LCD CONTRAST



テンポ (TEMPO) J=090

トランスポーズ (TRANPOSE) 0

小節番号 (MEASURE) 003

ABリピート表示 (A=B) MEASURE 003

LOW BATTERY!! 表示(10ページ) この表示が出たら電池残量不足です。保存したいデータを保存したあと、ただちに乾電池を交換してください。

コード表示 (CHORD) Am7

ソング番号とソング名 (SONG) 026 Twinkle Star

スタイル番号とスタイル名 (STYLE) *** ---

楽器番号と楽器名 (VOICE) MAIN 001 Live! Grand Piano

MELODY-R 001 Live! Grand Piano

ACMP MAIN A

REGIST BANK:1 1 2

PLAY PART 1 2 3 4 5 A

パフォーマンスアシスタント (パフォーマンスアシスタント) オンで表示

タッチレスポンス (タッチレスポンス) オンで表示

ハーモニー (ハーモニー) オンで表示

デュアル (デュアル) オンで表示

スプリット (スプリット) オンで表示

ファイルコントロール (ファイルコントロール) スマートメディアへのアクセス可能時に表示

スタイル(自動伴奏)に関する表示(29ページ)

ACMP スタイルを選んだあと、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオンにすると、表示されます。表示中はスプリットポイントより左側の鍵盤がコードを認識できる状態になります。いろいろな方法(33ページ)でスタイルをスタートできます。

レジストレーションメモリーに関する表示(68ページ)

REGIST BANK:1 1 2

BANK:1 選択されているバンク番号が表示されます。

1 2 記録済みのメモリー番号が表示され、選択されると四角いワクで表示されます

ソングトラックに関する表示(45ページ)

PLAY PART 1 2 3 4 5 A

ユーザーソングの録音中に反転表示されます。

1 2 3 4 5 A ユーザーソングの録音時、選択されたトラック番号が反転表示されます。データのあるトラック番号が表示されます。データのあるトラック番号を選択すると、四角いワクが表示されます。ミュート(消音)されたトラック番号の四角いワクは表示されません。

いろいろな機能のオン/オフに関する表示

パフォーマンスアシスタント オンで表示
表示中はパフォーマンスアシスタント機能が使えます。

タッチレスポンス オンで表示
表示中は鍵盤を弾く強さで演奏音に強弱をつけられます。

ハーモニー オンで表示
表示中は、メインボイスにハーモニー音が加わります。

デュアル オンで表示
表示中は、メインボイスにもう1つ別の楽器音を重ねて鳴らせます。

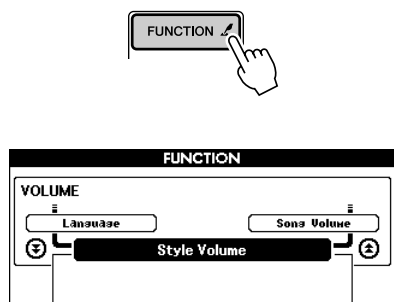
スプリット オンで表示
表示中は、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、右側とは別の音を鳴らせます。

ファイルコントロール スマートメディアへのアクセス可能時に表示
表示されていない場合はスマートメディアへのアクセスはできません。

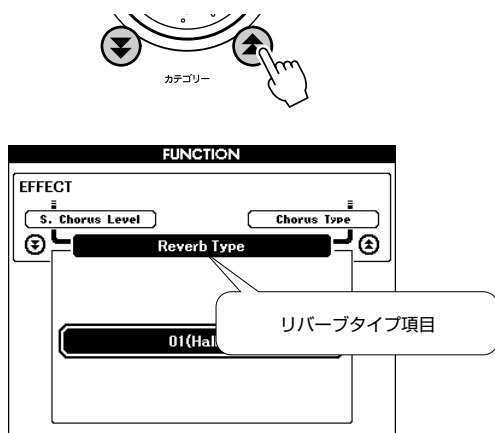
リバーブ効果をかける

演奏音に、コンサートホールで弾いたような残響音(リバーブ)を加えることができます。スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なリバーブタイプが自動的に選ばれます。自分でリバーブタイプを選びたい場合は、以下の方法で設定してください。リバーブタイプの説明については104ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

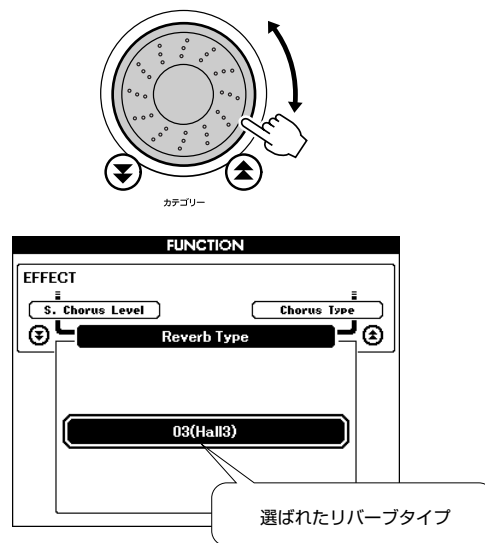
- 1** ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2** リバーブタイプ カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、Reverb Typeの項目を表示させます



- 3** リバーブタイプ ダイヤルを回して好きなリバーブタイプを選びます
鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



●リバーブセンドレベルの調整

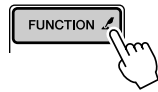
メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、リバーブのかかり具合を調整できます。手順2でカテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、ダイヤルを回して調整してください(詳細については70ページもご覧ください)。

- ・メインボイス (M. Reverb Level項目)
- ・デュアルボイス (D. Reverb Level項目)
- ・スプリットボイス (S. Reverb Level項目)

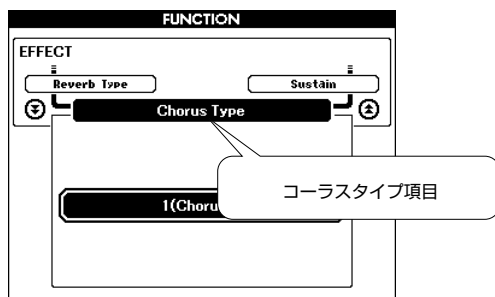
コーラス効果をかける

同時に複数のパートを演奏しているかのような厚みを音に加える機能です。スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なコーラスタイプが自動的に選ばれます。コーラスタイプを自分で選びたい場合は、以下の方法で設定してください。

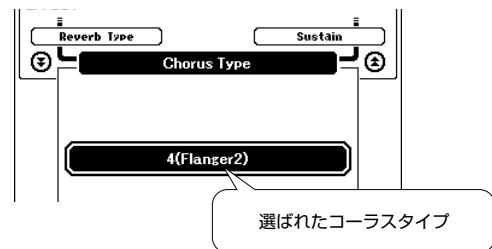
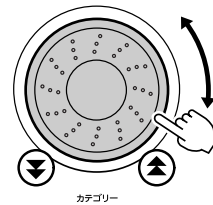
- 1** ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2** コーラスタイプ カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、Chorus Typeの項目を表示させます



- 3** ファンクション ダIALを回して好きなコーラスタイプを選びます
鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



●コーラスセンドレベルの調整

メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、コーラスのかかり具合を調整できます。手順2でカテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、**ダイヤル**を回して調整してください。(詳細については70ページもご覧ください)。

- ・メインボイス (M. Chorus Level項目)
- ・デュアルボイス (D. Chorus Level項目)
- ・スプリットボイス (S. Chorus Level項目)

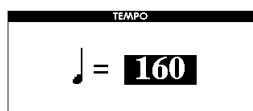
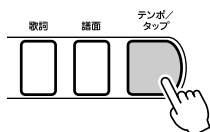
メトロノームを鳴らす

15拍子まで設定できるメトロノームです。1拍目に「チーン」と鳴り、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。選ばれているソングやスタイルのテンポと拍子でメトロノームの音が鳴りますが、テンポや拍子は自由に変更できます。

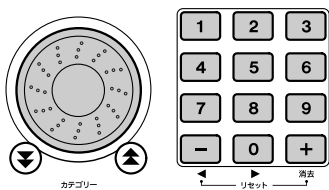
- 1** ^{メトロノーム} [METRONOME] ボタンを押すと、メトロノームがスタートします
もう一度[METRONOME] ボタンを押すと停止します。



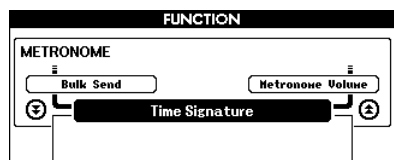
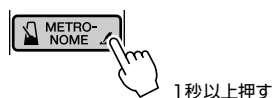
- 2** ^{テンポ} [テンポ/タップ] (TEMPO/TAP) ボタンを押して TEMPO画面を表示させます



- 3** ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、テンポ(♩ = 032~280)を設定します



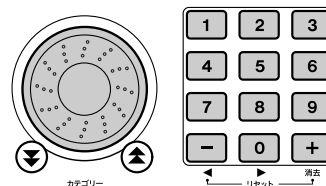
- 4** ^{メトロノーム} [METRONOME] ボタンを1秒以上押し、^{ファンクション} FUNCTION画面のTime Signatureの項目を表示させます



NOTE

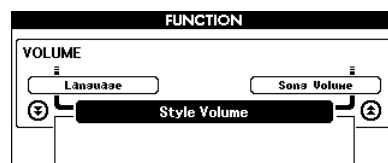
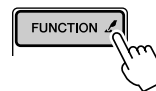
・ [FUNCTION] ボタンを押してから、カテゴリボタン[▲]、[▼]を何度か押してTime Signatureの項目に移動することもできます。(70ページ)

- 5** ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、拍子(00~15)を設定します

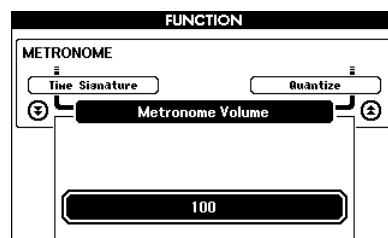


■メトロノーム音量の設定.....

- 6** ^{ファンクション} [FUNCTION] ボタンを押して ^{ファンクション} FUNCTION画面に入ります



- 7** カテゴリボタン[▲]、[▼]を何度か押して ^{メトロノームボリューム} Metronome Volumeの項目を表示させます



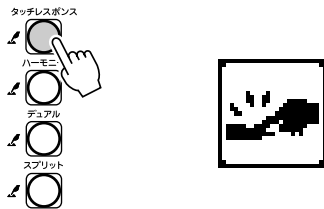
- 8** ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使ってメトロノーム音量を設定してください

鍵盤を弾く強弱で音量を変える

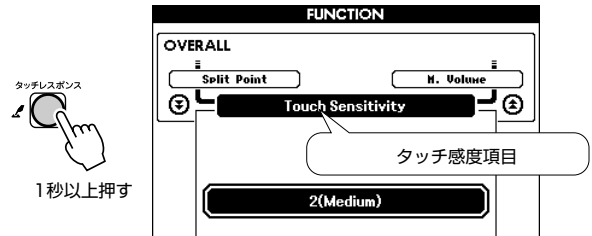
タッチレスポンスがオンの場合のタッチ感度(鍵盤を弾く強さによって音量が変化する割合)を、3段階(1~3)に設定することができます。

1 [タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを押して、タッチレスポンスをオンにします

タッチレスポンスがオンになったかどうかは、MAIN画面のアイコン表示で確認してください(27ページ、53ページ参照)。



2 [タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを1秒以上押し、FUNCTION画面のTouch Sensitivity(タッチ感度)の項目を表示させます



3 ダイアルを回してタッチ感度(1~3)を設定します。設定値が大きくなるほど、弾く強さによる演奏の強弱がつけやすくなります

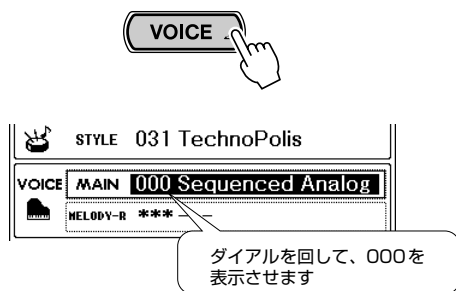
NOTE

- 工場出荷時、タッチ感度は「2」に設定されています。
- [FUNCTION]ボタンを押してから、Touch Sensitivityの項目に移動することもできます。(70ページ)

ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS)

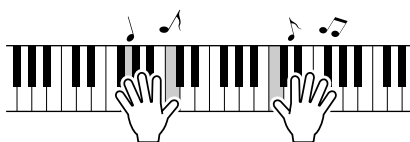
ソングやスタイルを鳴らしながら自分も鍵盤を弾いて演奏する場合、どの楽器音を選べば一番バランスのとれた演奏ができるのか。それを選択してくれるのがワンタッチセッティング(One Touch Setting)です。楽器音に000 OTSを選択すると、ソングやスタイルを選んだ際、そのソングやスタイルに最適な楽器音が自動的に選ばれます。

1 ボイスの楽器音に楽器番号000を選びます(→23ページ手順1~2)



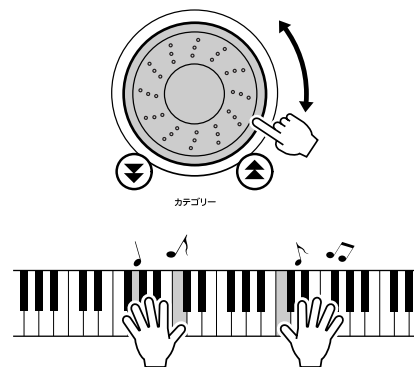
2 好きなソングを選んで再生させます(→35ページ手順1~3)

3 鍵盤を弾いて、どんな音色が覚えておきます



手順の途中でソング再生が終わった場合は、もう一度、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してソングを再生させてください。

4 ダイアルを回してソングを変えたら、再び鍵盤を弾いてみましょう



手順3で弾いたときの鍵盤の楽器音とはちがうことがわかります。000の楽器音の欄を見ながらソングを変えてみてください。ソングを変えるたびに、000の楽器音が最適なものにどんどん切り替わっていくのがわかります。

音色を微調整する

メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイスそれぞれに、リバーブのかかり具合や、音の間こえてくる方向などを設定できます。[FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面を表示させます。カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、ダイヤルを回して調整してください。

●メインボイスに関する各種設定 (71ページ)

- ・音量 (M. Volume項目)
- ・オクターブ (M. Octave項目)
- ・パン (M. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (M. Reverb Level項目)
- ・コーラスセンドレベル (M. Chorus Level項目)

●デュアルボイスに関する各種設定 (71ページ)

- ・音量 (D. Volume項目)
- ・オクターブ (D. Octave項目)
- ・パン (D. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (D. Reverb Level項目)
- ・コーラスセンドレベル (D. Chorus Level項目)

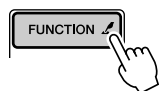
●スプリットボイスに関する各種設定 (71ページ)

- ・音量 (S. Volume項目)
- ・オクターブ (S. Octave項目)
- ・パン (S. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (S. Reverb Level項目)
- ・コーラスセンドレベル (S. Chorus Level項目)

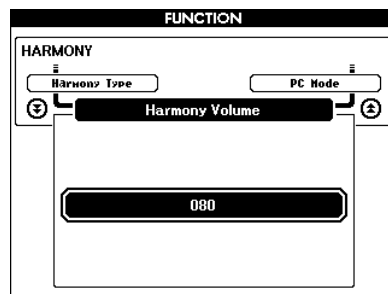
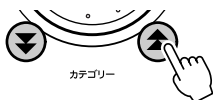
ハーモニー音量を変える

ハーモニータイプ01 (Duet)~05 (Octave)では、ハーモニー音量を調整できます。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 ハーモニーボリューム カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、Harmony Volumeの項目を表示させます



- 3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、ハーモニー音量(000~127)を設定します

パネルサステイン

鍵盤を弾いたときの音に余韻が残ります。

フットスイッチとは別に、常に音に効果をかけたいときに使います。

[FUNCTION] ボタンを押して、FUNCTION画面を表示させます。カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してSustain項目を表示させます。[+]、[-] ボタンを使って、オン/オフを選択します。オンにするとサステイン効果がかかります。

NOTE

- ・音色によっては、パネルサステインをオンにしても、余韻の長さあまり変化がない音もあります。

スタイル(自動伴奏)に関する機能

自動伴奏の基本的な操作については、クイックガイド『自動伴奏を鳴らしてみよう』(29ページ)で説明しました。

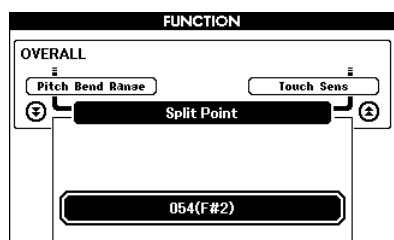
ここでは、スタイルのいろいろな鳴らし方やスタイル音量の調整方法、スタイルを鳴らすためのコードなどについて説明します。

スプリットポイントの設定

スプリットポイントは初期値では54(F#2)に設定されていますが、自由に変更することができます。

1 スタイル [STYLE] ボタンか イージー ソング アレンジャー [EASY SONG ARRANGER] ボタンを押します

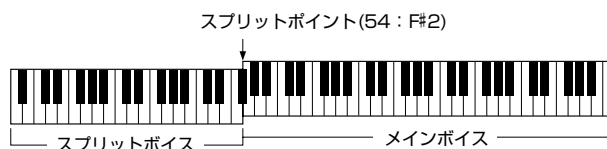
2 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを1秒以上押し、ファンクション FUNCTION画面の スプリットポイント Split Pointの項目を表示させます



NOTE

- ・[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを1秒以上押して、FUNCTION画面のスプリットポイント項目を表示できるのは、[STYLE] ボタンか[EASY SONG ARRANGER] ボタンが点灯しているときだけです。

3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、スプリットポイント000(C-2)~127(G8)を設定します



NOTE

- ・スプリットポイントを変更すると、自動伴奏のスプリットポイントも同時に変更されます。
- ・ソングレスン時のスプリットポイントは変更できません(固定)。
- ・スプリットポイントの鍵盤ではスプリットボイスが鳴ります。

NOTE

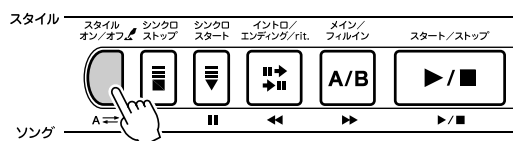
- ・[FUNCTION] ボタンを押してから、Split Pointの項目に移動することもできます。(70ページ)

スタイルのリズムだけを鳴らす

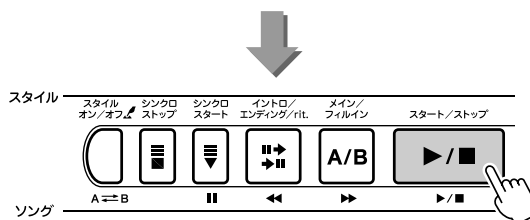
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンは、押すたびにスタイルのオン/オフが切り替わります。

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオフ(ACMP表示が消灯)にしてスタイルをスタートさせると、スタイルのリズムだけを鳴らすことができます。

[STYLE] ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。



ACMP 表示
が消灯



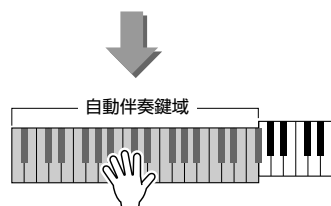
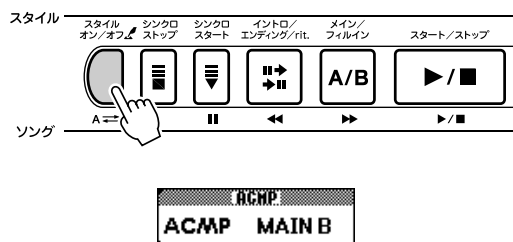
NOTE

- ・スタイル番号 112と124~135(ピアニスト)は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。

リズムなしでコード音を鳴らす

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して自動伴奏をオン(ACMP表示が点灯)にしたあと、左手(自動伴奏) 鍵盤を弾くと、リズムを再生させずにコード音を鳴らすことができます。これをストップアカンパニメント機能といいます。自動伴奏鍵盤で押された押鍵情報を DGX-505/305 がコードとして認識するため、スタイルを再生することなくハーモニー機能を使うこともできます。画面にはコードのルート/タイプが表示されます。

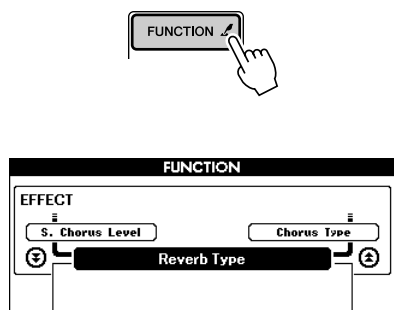
[STYLE] ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。



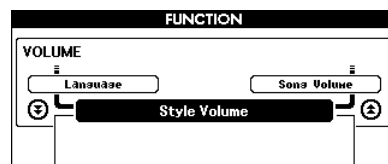
スタイル音量の設定

[STYLE] ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。

- 1 **[FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります**



- 2 **カテゴリボタン[▲]、[▼]でStyle Volumeの項目を表示させます**



- 3 **ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、スタイル音量(000~127)を設定します**

スタイル番号136について

パネル本体のスタイルリストにあるスタイル番号136は、外部のスタイルファイルを使うための番号です。外部スタイルファイルとは、インターネットなど外部で手に入れるスタイルファイルのことを指します。この楽器では、拡張子“.sty”のスタイルファイルを使うことができます。コンピューターなどでスマートメディアに外部のスタイルファイルを転送(82ページ)し、そのスマートメディアからこの楽器のスタイル番号136のメモリーにスタイルファイルをロード(77ページ)します。

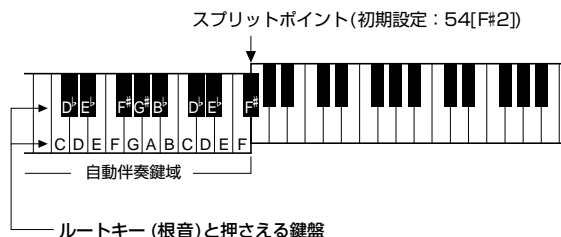
伴奏コードの押さえ方

- 簡単なコードの押さえ方
- 通常のコードの押さえ方

の2種類があります。

この楽器では、どちらの押さえ方でもコードを自動的に判断します。この機能を、マルチフィンギングといいます。

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して、スタイルをオン(29ページ)にしてください。スプリットポイント(初期設定：54[F#2])より左の鍵盤が**自動伴奏鍵域**になります。この範囲の鍵盤でコードを弾いてください。



■簡単なコードの押さえ方

自動伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

	・メジャー (M)コード ルートキー (根音)を押さえてください。
	・マイナー (m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。
	・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
	・マイナーセブンス (m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

■通常のコードの押さえ方

自動伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出しスタイルが演奏されます。

●C(ド)がルート音の場合の押さえ方

⊙で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

■通常の押さえ方で認識されるコード

この表はC(ド)がルート音の場合の表です。

コード	押鍵	コード(C)	画面表示
メジャー [M]	1 - 3 - 5	C	C
アッドナインス[(9)]	1 - 2 - 3 - 5	C ⁽⁹⁾	C9
シックス [6]	1 - (3) - 5 - 6	C ₆	C6
シックスナインス [6(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 6	C ₆ ⁽⁹⁾	C6 ⁹ *
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7 または 1 - (3) - 5 - 7	C _{M7}	CM7
メジャーセブンスナインス [M7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 7	C _{M7} ⁽⁹⁾	CM7 ⁹ *
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス [M7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - 7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - 7	C _{M7} ^(#11)	CM7#11 *
フラットファイブ [(b5)]	1 - 3 - b5	C ^(b5)	C ^{b5} *
メジャーセブンスフラットファイブ [M7b5]	1 - 3 - b5 - 7	C _{M7} ^(b5)	CM7 ^{b5} *
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5	C _{sus4}	Csus4
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5	C _{aug}	Caug
メジャーセブンスオーギュメント [M7aug]	1 - (3) - #5 - 7	C _{M7aug}	CM7aug *
マイナー [m]	1 - b3 - 5	C _m	Cm
マイナーアッドナインス [m(9)]	1 - 2 - b3 - 5	C _m ⁽⁹⁾	Cm9
マイナーシックス [m6]	1 - b3 - 5 - 6	C _{m6}	Cm6
マイナーセブンス [m7]	1 - b3 - (5) - b7	C _{m7}	Cm7
マイナーセブンスナインス [m7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - b7	C _{m7} ⁽⁹⁾	Cm7 ⁹
マイナーセブンスアッドイレブンス [m7(11)]	1 - (2) - b3 - 4 - 5 - (b7)	C _{m7} ⁽¹¹⁾	Cm7 ¹¹ *
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1 - b3 - (5) - 7	C _{mM7}	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインス [mM7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - 7	C _{mM7} ⁽⁹⁾	CmM7 ⁹ *
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7	C _{m7} ^(b5)	Cm7 ^{b5}
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ [mM7b5]	1 - b3 - b5 - 7	C _{mM7} ^(b5)	CmM7 ^{b5} *
ディミニッシュ [dim]	1 - b3 - b5	C _{dim}	Cdim
ディミニッシュセブンス [dim7]	1 - b3 - b5 - 6	C _{dim7}	Cdim7
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - b7 または 1 - (3) - 5 - b7	C ₇	C7
セブンスフラットナインス [7(b9)]	1 - b2 - 3 - (5) - b7	C ₇ ^(b9)	C7 ^{b9}
セブンスアッドフラットサードティーンズ [7(b13)]	1 - 3 - 5 - b6 - b7	C ₇ ^(b13)	C7 ^{b13}
セブンスナインス [7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - b7	C ₇ ⁽⁹⁾	C7 ⁹
セブンスアッドシャープイレブンス [7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - b7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - b7	C ₇ ^(#11)	C7#11
セブンスアッドサードティーンズ [7(13)]	1 - 3 - (5) - 6 - b7	C ₇ ⁽¹³⁾	C7 ¹³
セブンスシャープナインス [7(#9)]	1 - #2 - 3 - (5) - b7	C ₇ ^(#9)	C7#9
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7	C _{7b5}	C7 ^{b5} *
セブンスオーギュメント [7aug]	1 - 3 - #5 - b7	C _{7aug}	C7aug
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - (5) - b7	C _{7sus4}	C7sus4
サスツー [sus2]	1 - 2 - 5	C _{sus2}	Csus2 *

* DICTIONARY画面では表示されません。

NOTE

- ・カッコ()内の音符は省略しても構いません。
- ・完全5度の押鍵ではルート音と5度の音による伴奏が演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。
- ・オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
- ・コード押鍵はすべて基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7^{b5}、6、m6、sus4、aug、dim7、7^{b5}、6(9)、sus2

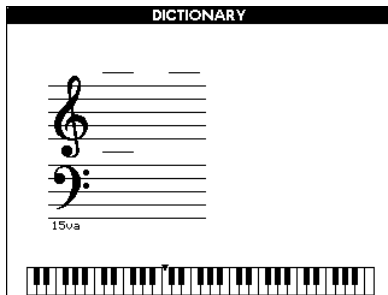
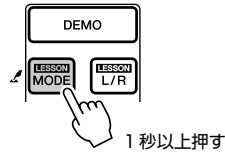
NOTE

- ・7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、伴奏が変化しないことがあります。
- ・鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

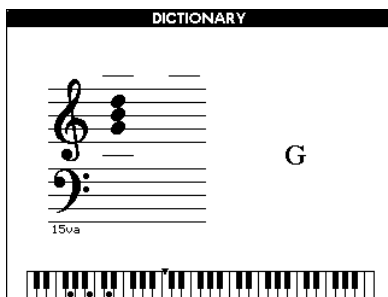
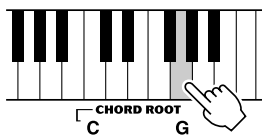
コードディクショナリーでコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コードディクショナリーで調べることができます。

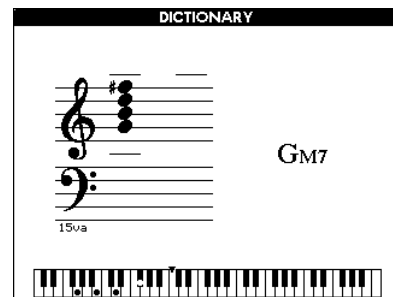
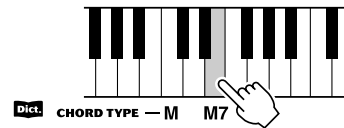
- 1** レッスンモード
[LESSON MODE] ボタンを1秒以上押します。
ディクショナリー
DICTIONARY画面が表示されます



- 2** たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の下に書かれた「CHORD ROOT」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音が画面に表示されます



- 3** 鍵盤の下に書かれた「CHORD TYPE」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押さえます(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、画面に楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます



[+]、[-]ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

NOTE

- メジャーコードについて
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。
例：Cの表記はCメジャーを意味します。
メジャーコードを調べる場合は、ルート音を押したあとに「M」を押してください。
- このページで説明したコードタイプは、スタイルを鳴らすときに左手で弾くコードのことです。パフォーマンスアシスタント機能のコードタイプとはちがいます。

- 4** 画面の表示にしたがって、自動伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が反転します

■コードについて

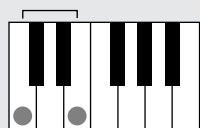
音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

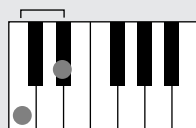


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

長3度.....半音4つの間隔

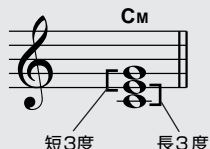


短3度 半音3つの間隔

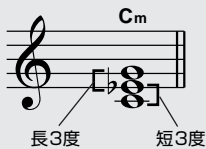


その組み合わせは次の4種類になります。

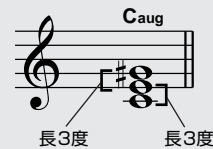
◆メジャーコード



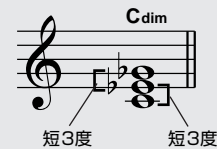
◆マイナーコード



◆オーギュメントコード



◆ディミニッシュコード



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

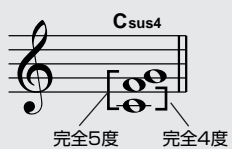
● 和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。

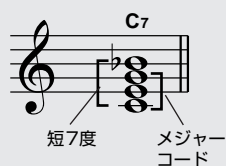


● 和音の種類(通常押さえ方で認識されるものの一部)

◆サスフォーコード



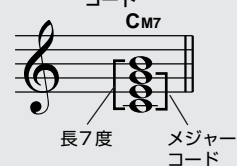
◆セブンスコード



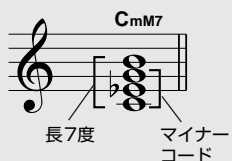
◆マイナーセブンスコード



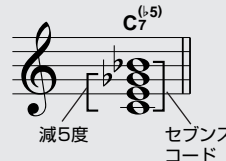
◆メジャーセブンスコード



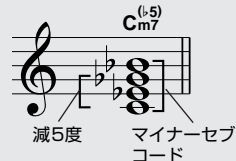
◆マイナーメジャーセブンスコード



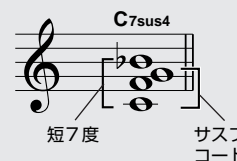
◆セブンスフラットファイブコード



◆マイナーセブンスフラットファイブコード



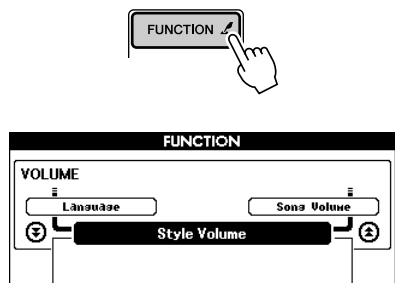
◆セブンスサスフォーコード



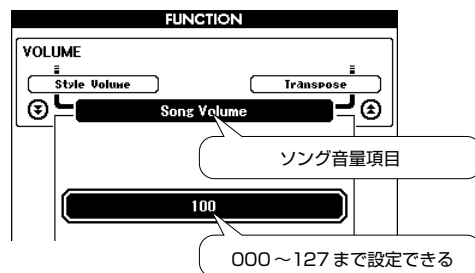
ソングの再生に関する設定

ソング音量の設定

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]でSong Volume(ソング音量)の項目を表示させます



- 3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使ってソング音量を設定します

NOTE

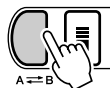
・ソング音量は、ソングが選ばれているときに設定できます。

ソングの一部をくり返して聞く

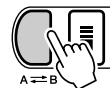
ソングのある特定の範囲(A点とB点)を指定して、くり返し再生することができます。



- 1 ソングを再生(35ページ)し、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいところで[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します



- 2 くり返し再生の終了位置(B点)にしたいところで、もう一度[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します



- 3 ソングはA-B間でくり返し再生されます
くり返し設定を取り消すには、くり返し再生中に[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します。

NOTE

- ・くり返しの設定は、小節単位で行ないます。
- ・MAIN画面の右上には、001などの小節番号が表示されます。現在どの小節を再生中かあらわしており、ソングの進行にしたがって小節番号も変わります。
- ・くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A⇌B](ABリピート)ボタンを押して設定します。

ソングの一部をミュート(消音)する

ソングは、演奏のパートや伴奏などに分かれた複数のトラックが同時に鳴っています。

それらの一部のトラックを鳴らさずに自分で弾いたり、特定のトラックだけを鳴らしたりすることができます

トラックのオン/オフは、ソングメモリー (SONG MEMORY)の[1]~[5]、[A]ボタンで行ないます。

オフにすると、そのトラックの演奏はミュート(消音)され、画面のトラック表示のワクが消灯します。

ソングのトラック構成については、45ページに詳しい説明があります。



消灯…データなし



点灯(ワクなし)…ミュート(消音)。データあり

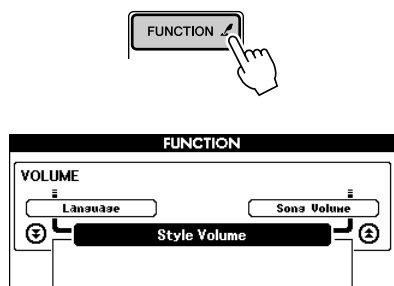
点灯(ワクあり)…再生される。データあり

ソングのキーを変える

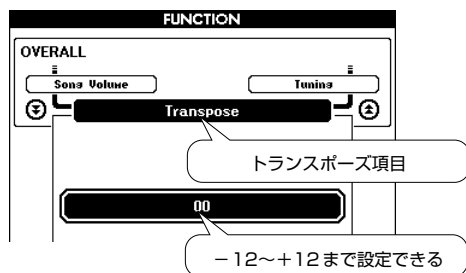
◆大きく音程を変える場合 (TRANSPOSE)

楽器全体の音の高さを、半音単位で、±1オクターブの範囲で変更できます。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してTransposeの項目を表示させます



- 3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使ってトランスポート量を変更します

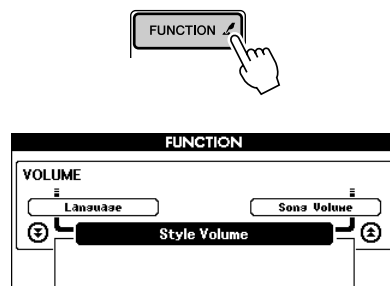
NOTE

・ドラムキットの音程は変えられません。

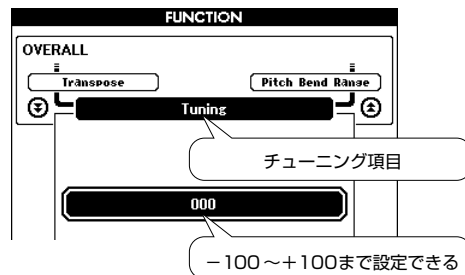
◆微妙な調整をする場合 (TUNING)

楽器全体のチューニング (音の高さの微調整) を、-100~+100 (単位: セント) の範囲で設定することができます。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してTuningの項目を表示させます



- 3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って音の高さを微調整します

NOTE

・ドラムキットの音程は変えられません。

ソングを早送り、巻き戻し、一時停止するには

CDプレーヤーやカセットデッキのように、早送り[▶▶]、巻き戻し[◀◀]、一時停止[||]ボタンでソングの再生をコントロールできます。



一時停止
ボタンを押すと、
ソングが一時停
止します

巻き戻し
ボタンを押すと、
ソングを巻き戻
しします

早送り
ボタンを押すと、
ソングを早送り
します

NOTE

・ A ⇄ B リピートが設定されている場合、早送りや巻き戻しはその設定範囲内でのみ可能です。

メロディ音色を変える

ソングのメロディ音色を、好みの楽器音に変えることができます。
メロディ音色は、右手演奏 (MELODY R)と左手演奏 (MELODY L) それぞれに設定できます。

NOTE

・ユーザーソングのメロディ音色は変えられません。

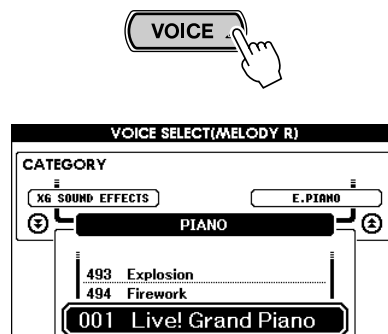
[SONG] ボタンを押してソングモードに入っておきます。

- 1 ^{ボイス} [VOICE] ボタンを1秒以上押して、楽器リストを表示させます



- 2 ^{ボイス} [VOICE] ボタンを何度か押して、楽器リストのタイトルに、VOICE SELECT (MELODY R) または VOICE SELECT (MELODY L) を表示させます
[VOICE] ボタンを押すたびに、楽器リストのタイトルは MAIN→DUAL→SPLIT→MELODY R→MELODY L→MAIN…の順番に切り替わります。

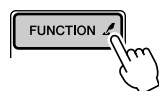
- 3 ダイヤルなどを使って楽器音を選びます



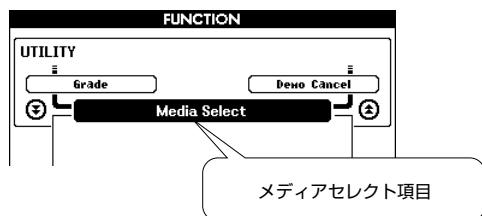
メディアセレクトを切り替える

DGX-505/305 には、外部ソングファイル (コンピューター上のソング) を転送したときの保存先として、2種類のメディア (036～ スマートメディア/フラッシュメモリー) が用意されています。メディアセレクトとは、どちらのメディアにデータを保存させるか選ぶ機能です。保存したソングを再生させるときは、再生させたいソングが保存されているメディアに切り替えます。36ページに外部ソングファイルが保存、再生されるまでのイラストがありますので、ご参照ください。

- 1 ^{ファンクション} [FUNCTION] ボタンを押して ^{ファンクション} FUNCTION 画面に入ります

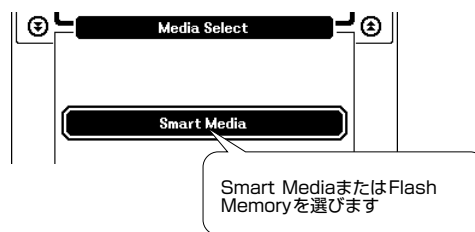


- 2 カテゴリーボタン [▲]、[▼] を押して、^{メディアセレクト} Media Select の項目を表示させます

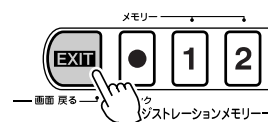


- 3 [+], [-] ボタンを使って、設定を Smart Media (スマートメディア) か Flash Memory (フラッシュメモリー) に切り替えます

スマートメディアにソングを保存したり、スマートメディア内のソングを再生するときには、[+] ボタンを押して設定を Smart Media に切り替えます。フラッシュメモリーにソングを保存したり、フラッシュメモリー内のソングを再生するときには、[-] ボタンを押して設定を Flash Memory に切り替えます。



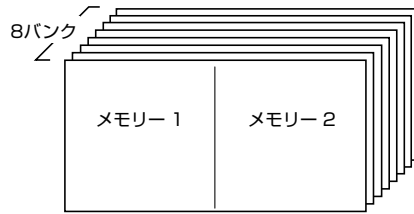
- 4 [画面戻る] (EXIT) ボタンを押して MAIN 画面に戻ります





好みのパネル設定を記憶させよう

この楽器には、楽器音やスタイルなど、パネル上での設定内容を16種類(8バンク×2)まで本体に記録させることができるREGISTRATION MEMORY(レジストレーションメモリー)という機能があります。記録したパネル設定は、いつでも呼び出すことができます。



16種類(8バンク×2)の
パネルを記録できる

レジストレーションメモリーに記録する

■レジストレーションメモリーに記録/ 呼び出しできる設定内容.....

- ・スタイル設定*スタイル番号、スタイル オン/オフ、スプリットポイント、スタイル設定(メインA/B)、スタイル音量、テンポ
- ・楽器音設定メインボイス設定(楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)、デュアルボイス設定(デュアル オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)、スプリットボイス設定(スプリット オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)
- ・エフェクト設定リバーブタイプ、コーラスタイプ、パネルサステイン オン/オフ
- ・ハーモニー設定ハーモニー オン/オフ、ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- ・その他トランスポーズ設定
ピッチバンドレンジ

*ソングを選んでいる状態では、スタイル設定は記録/呼び出しできません。

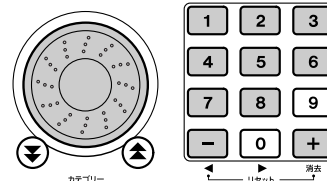
■レジストレーションメモリーへの記録.....

- 1 パネル設定(楽器音、スタイルなど本体パネル上で行う設定)を、記録させたい状態にします
- 2 [●](メモリー/バンク)ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



バンク番号

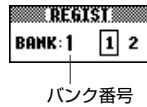
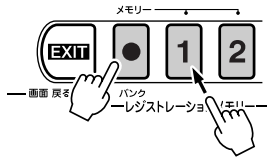
- 3 記録したいバンク(1~8)の番号をダイヤルや数字ボタン[1]~[8]を使って選択します



NOTE

- ・ソング再生中は、レジストレーションメモリーへの記録はできません。

4 [●](メモリー/バンク)ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーボタン([1]または[2])を押します。これで現在のパネル設定が本体に記録されました



NOTE

・記憶したレジストレーションメモリーはユーザーデータファイルとしてスマートメディアへ保存できます(75ページ)。

NOTE

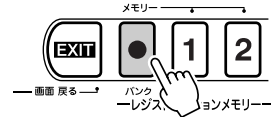
・すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。



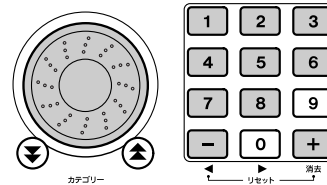
・書き込み中の表示をしているあいだは電源を切らないでください。データがこわれるおそれがあります。

■レジストレーションメモリーの呼び出し ..

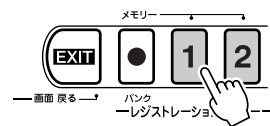
1 [●](メモリー/バンク)ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



2 呼び出したいバンク(1~8)の番号をダイヤルや数字ボタン[1]~[8]を使って選択します



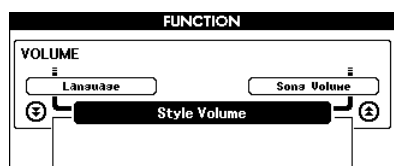
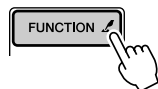
3 呼び出したい記録が入っているレジストレーションメモリーボタン([1]または[2])を押します。これで希望するパネル設定が呼び出されました



チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定 (FUNCTION画面) です。よく使う機能などはボタンを1秒以上押すことでダイレクトにその設定画面に移動できます。

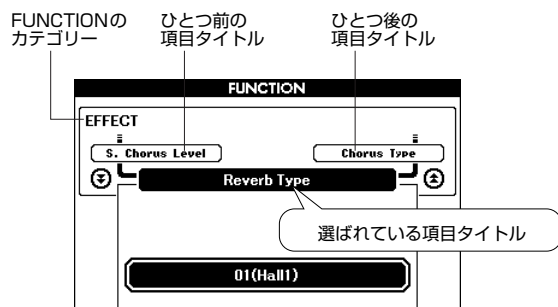
各設定への移動方法

- 1** ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



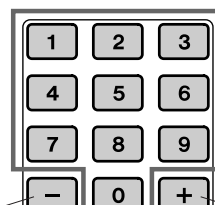
- 2** カテゴリーボタン[▲]、[▼]で目的の項目に移動します

371ページのFUNCTION画面リストをご覧ください。画面上部左側にはひとつ前の項目タイトルが、右側にはひとつ後の項目タイトルが表示されています。



- 3** ダイヤルや[+]、[-]ボタン、または数字ボタン[0]～[9]で、値を設定します

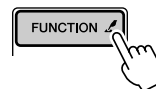
オン(ON)/オフ(OFF)の設定には、[+]ボタン(オン)/[-]ボタン(オフ)を使います。実行/キャンセルの設定には[+]ボタン(実行)/[-]ボタン(キャンセル)を使います。また、[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセットアップセンド、バルクセンドを除く)



- 直接値を設定
 - 値を-1
 - 設定オフ(OFF)
 - キャンセル
 - 値を+1
 - 設定オン(ON)
 - 実行
- 同時に押すと、初期設定値に戻る

- 4** ファンクション 必要に応じて[FUNCTION] ボタンを1秒以上押して、フラッシュメモリーへバックアップをします

FUNCTION画面での各設定は、設定した時点で記憶されます。しかし、電源を切るとその内容はすべて消えてしまいます。バックアップ操作を行なうと、次回電源を入れたときにフラッシュメモリー内のバックアップデータが読み込まれます。(49ページ)




1秒以上押す



- 書き込み中は電源を切らないでください。データがこわれるおそれがあります。

■ FUNCTION画面リスト

カテゴリー	設定	項目タイトル	設定値	内容
ボリューム (VOLUME)	スタイル音量	Style Volume	000~127	スタイルの再生音量を設定します。
	ソング音量	Song Volume	000~127	ソングの再生音量を設定します。
オーバーオール (OVERALL)	トランスポーズ	Transpose	-12~+12	音程を半音単位で設定します。
	チューニング	Tuning	-100~+100	楽器全体のチューニング (音の高さの微調整) を設定します。単位はセント。
	ピッチベンドレンジ	Pitch Bend Range	01~12	ピッチベンドの変化幅を半音単位で設定します。
	スプリットポイント	Split Point	000~127(C-2~G8)	スプリットボイスとメインボイスの境目を設定します。自動伴奏のスプリットポイントにもこの設定が当てられます。
	タッチ感度	Touch Sensitivity	1(Soft)、2(Medium)、3(Hard)	タッチレスポンスがオンの場合のタッチ感度を設定します。
メインボイス (MAIN VOICE)	音量	M. Volume	000~127	メインボイスの音量を設定します。
	オクターブ	M. Octave	-2~+2	メインボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	M. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	メインボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	M. Reverb Level	000~127	メインボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	M. Chorus Level	000~127	メインボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
デュアルボイス (DUAL VOICE)	音量	D. Volume	000~127	デュアルボイスの音量を設定します。
	オクターブ	D. Octave	-2~+2	デュアルボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	D. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	デュアルボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	D. Reverb Level	000~127	デュアルボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	D. Chorus Level	000~127	デュアルボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
スプリットボイス (SPLIT VOICE)	音量	S. Volume	000~127	スプリットボイスの音量を設定します。
	オクターブ	S. Octave	-2~+2	スプリットボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	S. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	スプリットボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	S. Reverb Level	000~127	スプリットボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	S. Chorus Level	000~127	スプリットボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
エフェクト (EFFECT)	リバーブタイプ	Reverb Type	01~10	リバーブタイプを選択します。10はリバーブオフ。エフェクトタイプリスト参照(104ページ)
	コーラスタイプ	Chorus Type	01~05	コーラスタイプを選択します。5はコーラスオフ。エフェクトタイプリスト参照(104ページ)
	パネルサステイン	Sustain	ON/OFF	MAIN/DUAL/SPLIT 音色に常にサステイン効果をかける(ON)か、かけない(OFF)かを設定します。(58ページ)
ハーモニー (HARMONY)	ハーモニータイプ	Harmony Type	01~26	ハーモニータイプを選択します。エフェクトタイプリスト参照(104ページ)
	ハーモニー音量	Harmony Volume	000~127	ハーモニータイプ1~5が選ばれているときの、ハーモニー音量を設定します。

カテゴリー	設定	項目タイトル	設定値	内容
PCモード(PC)	PCモード	PC Mode	PC1/PC2/OFF	コンピューターと接続する際のMIDI設定を、もっとも適したものにします(80ページ)。 PC1は外部シーケンサーなどを使用したり、LOCAL OFF/EXTERNAL CLOCK ONで使用する場合のモードです。 PC2は将来のコンピューター用アプリケーションのための拡張用です。 OFFでの設定はLOCAL ON、EXTERNAL CLOCK OFF、KEYBOARD OUT ON、STYLE OUT ON、SONG OUT ONになります。
MIDI (MIDI)	ローカル オン/オフ	Local	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。(80ページ)
	外部クロック	External Clock	ON/OFF	この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。(80ページ)
	キーボードアウト	Keyboard Out	ON/OFF	鍵盤の演奏情報をUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	スタイルアウト	Style Out	ON/OFF	スタイルの再生時にスタイルデータをUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	ソングアウト	Song Out	ON/OFF	ソングの再生時にソングデータをUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	イニシャルセットアップセンド	Initial Send	YES/NO	この楽器のパネル設定をコンピューターに送信します。[+]ボタンを押すと実行、[-]ボタンを押すとキャンセル。
	バルクセンド	Bulk Send	YES/NO	この楽器のユーザーソング、レジストデータをコンピューターに送信します。[+]ボタンを押すと実行、[-]ボタンを押すとキャンセル。
メトロノーム (METRONOME)	拍子	Time Signature	00~15	メトロノームの拍子を設定します。
	メトロノーム音量	Metronome Volume	000~127	メトロノームの音量を設定します。
スコア (SCORE)	クオンタイズ	Quantize		譜面に表示される音符のタイミングのずれを修正して、譜面を見やすくすることができます。ソングで使っている最小の音符を選びます。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているソングなら、♪(8分音符)に設定します。8分音符より細かい音符や休符は譜面に表示されなくなります。
レッスン (LESSON)	レッスントラックR	R-Part	GuideTrack 1~16	右手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。スマートメディアかフラッシュメモリー内のSMF変換されたソング(036~)にだけ機能します。
	レッスントラックL	L-Part	GuideTrack 1~16	左手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。スマートメディアかフラッシュメモリー内のSMF変換されたソング(036~)にだけ機能します。
	採点	Grade	ON/OFF	レッスン機能終了後に採点をする(ON)かしない(OFF)かを設定します。
ユーティリティ (UTILITY)	メディアセレクト	Media Select	Flash Memory/Smart Media	データの保存/読み出し先としてのメディアを選択します。メディアは、スマートメディアとフラッシュメモリーです。
	デモキャンセル	Demo Cancel	ON/OFF	オン(ON)にすると、[DEMO]ボタンを押してもデモソングがスタートしません。
言語 (LANGUAGE)	言語切り替え	Language	English/Japanese	デモ画面、メッセージ(一部)、歌詞表示およびファイル名の表示言語を設定します。それ以外の文字は常に英語表示されます。 Englishに設定した場合、ファイル名は欧文フォントで表示されるため、日本語(全角)で付けられたファイル名は文字化けします。また、歌詞表示はソングデータ中の言語設定に従いますが、言語設定がない場合はここでの設定に従って表示されます。

* [+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセットアップセンド、バルクセンドを除く)

スマートメディアをお使いになりたい方へ

スマートメディアとは、データを保存しておくためのカード型メディアです。

この楽器のカードスロットにスマートメディアをセットすると、この楽器で作成したMIDIデータを保存したり、保存したデータを楽器本体へロードする(読み込む)ことができます。インターネットでダウンロードしたソングデータを転送することもできます。転送したソングはクイックガイドで紹介したパフォーマンスアシスタント機能(16ページ)やレッスン機能(39ページ)が使えます。また、ユーザーソングも、スタンダードMIDIファイル形式で保存すると、これらの機能が使えるようになります。

ここではスマートメディアのセットからフォーマット(初期化)およびデータファイルのセーブ(保存)、ロード(読み込み)、デリート(消去)操作について説明します。

スマートメディアをお持ちでない場合は、別途お買い求めいただく必要があります。

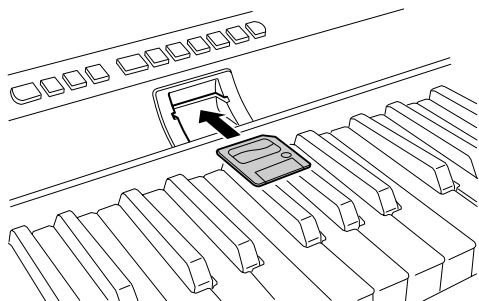
スマートメディアについては、11ページの「スマートメディア(メモリーカード)の取り扱い」を必ずお読みください。

スマートメディアをセットする

1 スマートメディア*を本体カードスロットに、正しい向きでセットしてください

スマートメディアの端子部(金色)を上向きにして、カードスロット(挿入口)にしっかりとていねいに奥まで差し込みます。スマートメディアの向き(上下、前後)を間違えないようご注意ください。

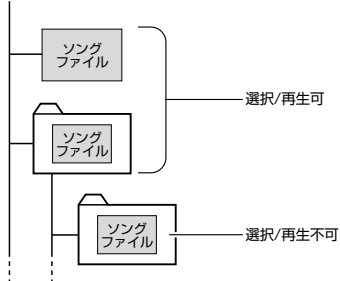
*この楽器で使用するメモリーカードはスマートメディア™(3.3V)です。



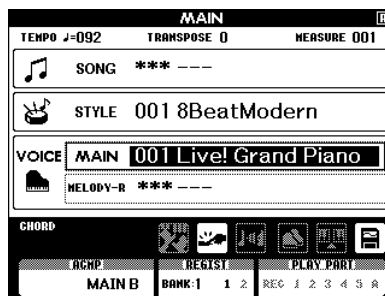
IMPORTANT

- ・コンピューターなどの機器からスマートメディアにコピーしたソングを再生したい場合、ルートまたはルート上のフォルダーに保存してください。ソングナンバー 036~929として選択/再生できます(36ページ)。ルート上のフォルダー内に作られたフォルダーに保存されたソングは、この楽器では選択/再生できませんのでご注意ください。

スマートメディア(ルート)



2 MAIN画面にファイルコントロールアイコンが表示されているか確認します



ファイルコントロールアイコン



スマートメディアが使える状態にあるとき表示されます

ファイルコントロールアイコンとは、スマートメディアが使える状態にあるとき、MAIN画面に表示されるアイコンです。この状態で[ファイルコントロール](FILE CONTROL)ボタンを押すと、スマートメディアの操作ができるFILE CONTROL(ファイルコントロール)画面に入ります。ただし、この段階ではまだ押さないでください。

NOTE

- ・FILE CONTROL画面が表示されているあいだは、鍵盤を弾いても音は鳴りません。またファイル操作に関するボタンしか使用できなくなります。

NOTE

- ・以下の場合、ファイルコントロール画面は表示されません。
 - ・スマートメディアが入っていない
 - ・FUNCTION画面のメディアセレクトがフラッシュメモリーに設定されている
 - ・スタイルやソングの再生中
 - ・レッスン中
 - ・スマートメディアの読み込み中

メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替える

スマートメディアに関する操作を行なうときは、必ずFUNCTION画面のメディアセレクト項目の設定をスマートメディアに切り替えます。67ページにメディアセレクトの操作手順が記載されていますので、参照のうえ、メディアセレクトをスマートメディアに切り替えてください。スマートメディアが正しく挿入されている状態で、メディアセレクト項目の設定がスマートメディアになっていると、MAIN画面にファイルコントロールアイコンが表示されます。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押してFUNCTION画面に入ります
- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、メディアセレクト Media Selectの項目を表示させます
- 3 [+] ボタンを押して、メディアセレクトをスマートメディアに切り替えます

スマートメディアのフォーマット

市販のスマートメディアを、この楽器で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)といいます。



・データが入っているスマートメディアをフォーマットすると、中に記録されていたデータはすべて失われてしまいます。大切なデータをフォーマットで消してしまわないようにご注意ください。

- 1 フォーマットするスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください
- 2 [ファイルコントロール] (FILE CONTROL) ボタンを押し、FILE CONTROL画面のFormatの項目を表示させます
フォーマットの実行を確認する画面が表示されます。
- 3 [実行] (EXECUTE) ボタンを押すと、フォーマットの実行を再確認する表示が表れます
キャンセルする場合は[-] ボタンを押します。
- 4 [実行] (EXECUTE) ボタンまたは[+] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます
- 5 フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます
[画面 戻る] (EXIT) ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。



・フォーマット実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりスマートメディアを抜いたりしないでください。

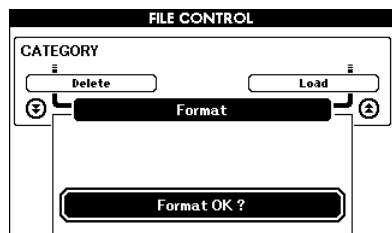
NOTE

・手順2でLoadの項目に入った場合は、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してFormatの項目を表示させてください。

ファイルコントロール



実行

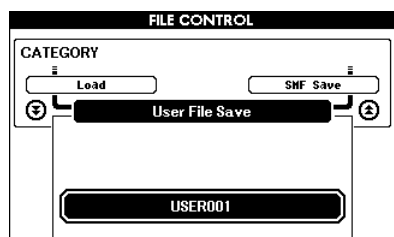


データをセーブする

ここでセーブするデータとは、ユーザーソング、スタイルファイル(スタイル番号136)、レジストレーションメモリーの3つです。これらをまとめて「ユーザーデータファイル」と呼びます。

ユーザーソングをセーブすると、スタイルファイル、レジストレーションメモリーもセーブされます。

- 1 フォーマット済みのスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください
- 2 [ファイルコントロール](FILECONTROL) ボタンを押します
- 3 ユーザーファイルセーブ カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してUser File Saveの項目を表示させます
セーブ操作によって作成されるファイルの名前が自動的に付けられます。



● **すでにあるファイルを書き替えるには**
すでにスマートメディアにあるユーザーデータファイルに上書きをする(書き替える)場合は、**ダイアル**や[+]、[-]ボタンでファイルを選び、手順6へ進みます。

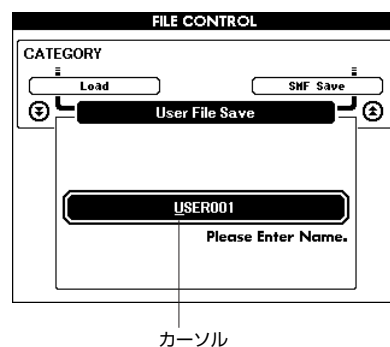
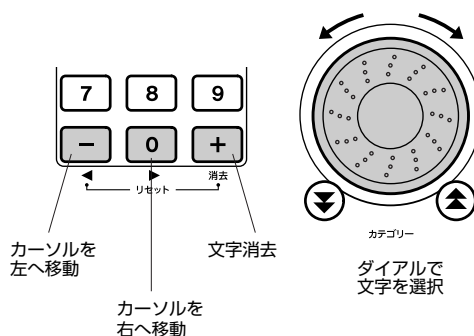
NOTE

- ・1枚のスマートメディアに保存できるユーザーファイルは最大で100曲です。
- ・スマートメディアにライトプロテクトがかかっている場合はメッセージが表示され、セーブ操作はできません。
- ・セーブするのに必要なメモリーの空き容量がスマートメディアにない場合はメッセージが表示され、セーブ操作はできません。不要なファイルを削除(77ページ)するなどして、セーブに必要な空き容量を確保してください。
- ・その他、メッセージが表示され、セーブ操作ができない場合は、『メッセージ一覧』(91ページ)をご覧ください。

- 4 [実行](EXECUTE) ボタンを押します。ファイル名の先頭文字の下にカーソルが表示されます

- 5 必要に応じて、ファイル名を変更します

- ・[-]ボタンでカーソルを左、[0]ボタンで右に移動します
- ・ダイアルで文字を選びます
- ・[+]ボタンでカーソル位置の文字を消去します



- 6 [実行](EXECUTE) ボタンを押します。
セーブの実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

- 7 [実行](EXECUTE) ボタンまたは[+] ボタンを押すとセーブが実行されます



- ・セーブ実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりスマートメディアを抜いたりしないでください。

- 8 セーブが完了すると、メッセージが表示されます
[画面 戻る](EXIT) ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

NOTE

- ・すでにあるファイル名を選んでいる場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は[実行](EXECUTE) ボタンまたは[+]ボタンを押します。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。
- ・スマートメディアの状態により、セーブにかかる時間が長くなる場合があります。

ユーザーソングをSMF変換してセーブ

ユーザーソング(ソング番号031~035)をSMF Format0形式に変換して、スマートメディアにセーブ(保存)します。

●SMF(スタンダードMIDIファイル)とは

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットといいます。SMF(スタンダードMIDIファイル)は代表的なシーケンスフォーマットの1つで、「FORMAT 0」と「FORMAT 1」があります。多くのMIDI機器が「SMF FORMAT 0」に対応しており、また市販のソングデータの多くが、「SMF FORMAT 0」で作られています。

1 フォーマット済みのスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください

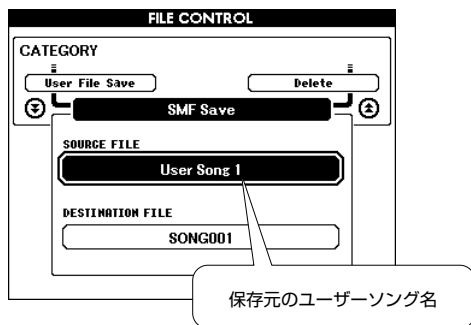
2 [ファイルコントロール](FILE CONTROL)ボタンを押します

NOTE

- ・1枚のスマートメディアに保存できるソングは最大で894曲です。
- ・ユーザーソング(031~035)にデータがない場合、この操作はできません。

3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してSMF Saveの項目を表示させます

SOURCE FILEの欄が反転し、ユーザーソング名が表示されています。



4 保存元のユーザーソングを選びます

[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、先頭のユーザーソングが表示されます。

5 [実行](EXECUTE)ボタンを押します

DESTINATION FILEの欄が反転し、SMF変換後に保存されるファイル名(自動設定)が表示されています。

●すでにあるファイルを書き替えるには

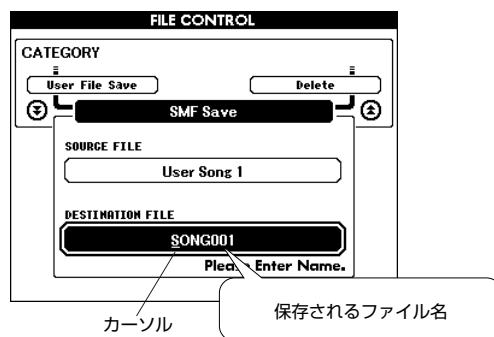
すでにスマートメディアにあるソングファイルに上書きをする(書き替える)場合は、ダイアルや[+]、[-]ボタンでファイルを選び、手順8へ進みます。

6 [実行](EXECUTE)ボタンを押します

ファイル名の先頭文字の下にカーソルが表示されます。

7 必要に応じて、ファイル名を変更します

(変更方法は、『データをセーブする』75ページの手順5を参照)



8 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。

セーブ実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

9 [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すとセーブが実行されます



- ・セーブ実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりスマートメディアを抜いたりしないでください。

10 セーブが完了すると、メッセージが表示されます

[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

NOTE

- ・すでにあるファイル名を選んでいる場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は[実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押します。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。
- ・スマートメディアの状態により、セーブにかかる時間が長くなる場合があります。

保存したデータをロードする

スマートメディアにセーブしたユーザーデータファイルまたはスタイルファイルを、本体メモリーにロード(読み込み)します。

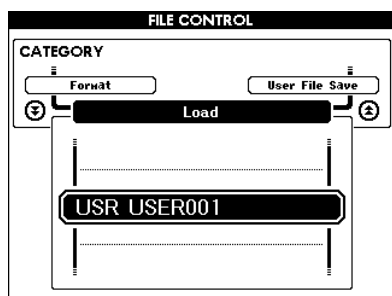


・ユーザーデータファイルをロードすると、31～35のユーザーソング、スタイルファイル(スタイル番号136)、レジストレーションメモリーはすべて上書きされて消えてしまいます。スタイルファイルだけをロードした場合は、スタイルファイルだけ上書きされます。大切なデータはロード前にスマートメディアにセーブしておきましょう。

1 ロードするファイルの入ったスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください

2 [ファイルコントロール] (FILE CONTROL) ボタンを押します

3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してLoadの項目を表示させます



NOTE

・スタイルファイルは、ルートディレクトリーにある必要があります。フォルダ内にあるスタイルファイルは認識されません。

4 ロードするファイルを選択します

[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、先頭のスマートメディア内のファイルが表示されます。

NOTE

・スマートメディア内にロードできるファイルがない場合はメッセージが表示され、ロード操作はできません。

5 [実行] (EXECUTE) ボタンを押します。
ロードの実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

6 [実行] (EXECUTE) ボタンまたは[+]ボタンを押すとロードが実行されます



・ロード実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりスマートメディアを抜いたりしないでください。

7 ロードが完了すると、メッセージが表示されます
[画面 戻る] (EXIT) ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

スマートメディア内のデータを削除する

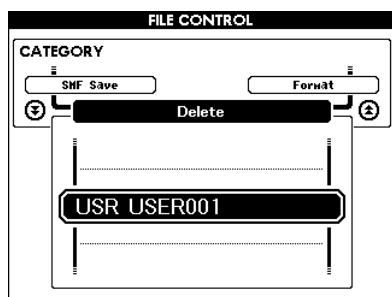
スマートメディア内のユーザーデータファイル(ユーザーソング、スタイルファイル、レジストレーションメモリー)とSMF変換したソング、その他のMIDIソングファイルをデリート(削除)します。

1 デリートするファイルが入ったスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください

2 [ファイルコントロール] (FILE CONTROL) ボタンを押します

3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してDeleteの項目を表示させます





4 デリートのファイルを選択します

[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、先頭のスマートメディア内のソング、またはユーザーデータファイルが表示されます。

5 [実行](EXECUTE) ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

6 [実行](EXECUTE) ボタンまたは[+] ボタンを押すとデリートが実行されます



・デリート実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりスマートメディアを抜いたりしないでください。

7 デリートが完了すると、メッセージが表示されます

[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

NOTE

- ・スマートメディアにライトプロテクトがかかっている場合はメッセージが表示され、デリート操作はできません。
- ・デリートできるファイルがまったくない場合はメッセージが表示され、デリート操作はできません。

スマートメディアにセーブ(保存)したソングを再生する

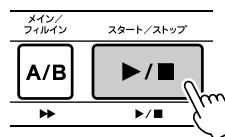
1 聞きたいソングが入っているスマートメディアがカードスロットに入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください。表示されていない場合は、メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください

2 [SONG] ボタンを押します



3 ダイアルなどを使って、聞きたいソング番号(036~)を表示させます

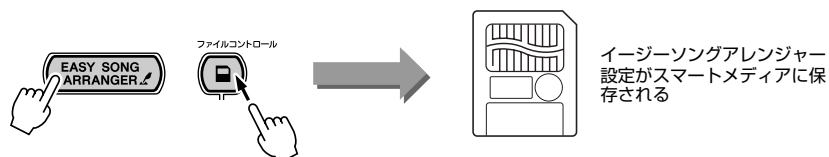
4 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します



イーजीソングアレンジャーの設定をスマートメディアに保存する

スマートメディアの中に保存したソングに限り、設定したイーजीソングアレンジャーの内容を、スマートメディアに保存できます。

[EASY SONG ARRANGER] ボタンを押しながら[ファイルコントロール](FILE CONTROL) ボタンを押すと、現在選択されているイーजीソングアレンジャー設定がスマートメディアに保存されます。



コンピューターと接続してお使いになりたい方へ

シンセサイザーやシーケンサーといった電子楽器(デジタル楽器)やコンピューターミュージックは、MIDIという規格に基づいて演奏情報や設定情報を表しています。この楽器のソングやスタイルの演奏情報やパネル設定なども、もちろんMIDI規格に基づいています。

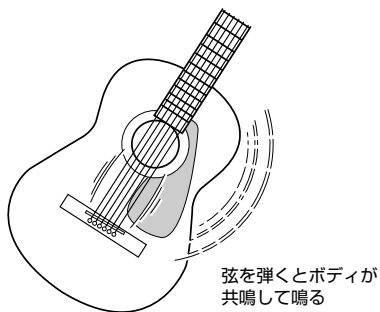
この楽器とコンピューターを接続し、MIDI情報を通信することで、音楽制作の幅を広げることができます。ここではMIDIの基礎知識とこの楽器でのMIDI機能について説明します。

MIDIとは

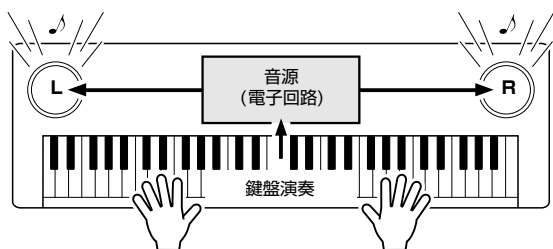
「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか?今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはグランドピアノやギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。それでは電子楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

●アコースティック楽器の発音



●電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、この楽器をグランドピアノの音色で、「ド」の鍵盤を4分音符の長さで、強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どの楽器音で」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えられて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るので

【演奏情報の例】

楽器音番号(どの楽器音で)	1(グランドピアノ)
ノート番号(どの鍵盤を)	60(ド:C3)
ノートオン(いつ押さえたか)&ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

このようにこの楽器では、鍵盤演奏や楽器音変更などのパネル操作のひとつひとつがMIDIデータとして処理されています。また、ソングや自動伴奏(スタイル)、ユーザーソングなども同様にMIDIデータで構成されています。

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどで)演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。このMIDIを使うことにより、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

●チャンネルメッセージ

この楽器はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	この楽器の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	楽器の設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	楽器の設定(音量、パン)など

●システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	この楽器の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラスタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック、スタート/ストップなど

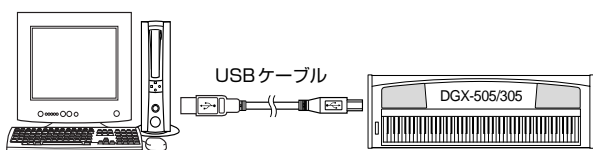
コンピューターとの接続

この楽器とコンピューターを接続することで、MIDIデータの送受信ができます。

この楽器リアパネルのUSB端子とコンピューターのUSB端子を、USBケーブルを使って接続します (USBケーブルは別途お買い求めいただく必要があります)。

さらに、この楽器に付属のCD-ROMに入っている「USB-MIDIドライバ」をコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは『アクセサリ CD-ROMインストールガイド』(84ページ)をご覧ください。

また、付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「Musicsoft Downloader」を使うと、コンピューター上のソングファイルはこの楽器のスマートメディアまたはフラッシュメモリーへ転送することができます。



■USBに関するご注意

USB端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。

以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。

コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。



- ・USB端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・本体の電源を入れる前に、USB端子とコンピューターを接続してください。
- ・本体の電源を入れたり切ったりする前や、USBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - ・すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - ・本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されません。)
- ・本体の電源を入れたり切ったりすることや、USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。
- ・楽器とコンピューターのUSB端子は、ハブを経由せずに接続してください。

NOTE

- ・以下の場合は、「Musicsoft Downloader」からこの楽器にアクセスできません。
 - ・メディアセレクトの設定がスマートメディアで、フォーマットしていないスマートメディアが入っているとき
 - ・MIDI BULK送受信中
 - ・オープニング画面表示中
 - ・スタイルが再生しているとき
 - ・ソングが再生しているとき
 - ・ファイルコントロールの操作中(FILE CONTROL画面表示中)
 - ・メディアセレクトの設定がスマートメディアで、スマートメディアが入っていないとき

MIDI設定

MIDIデータの送受信に関する設定を行ないます。

■ローカルオン/オフ (ON/OFF) (Local)

この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(オン)か鳴らさない(オフ)かの設定です。

オン (ON: ローカルオン)

..... この楽器での演奏は、通常通りこの楽器で発音します。また、USB端子より受信した情報もこの楽器で発音します。

オフ (OFF: ローカルオフ)

..... この楽器での演奏(鍵盤演奏、ハーモニー、スタイル)は、この楽器で発音しません。ただし、演奏データはUSB端子より送信されます。また、USB端子より受信した情報はこの楽器で発音します。

ローカルオン(ON)/オフ(OFF)の設定は、FUNCTION画面のLocalの項目で行ないます。(72ページ)



- ・ローカルがオフ(OFF)に設定されていると、鍵盤を弾いても楽器から音は鳴りません。

■外部クロックオン/オフ (ON/OFF) (External Clock)

この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(オフ)か、外部クロックで動作させる(オン)かの設定です。

オン (ON: 外部クロックで動作)

.....USB端子に接続した外部機器から送られるクロックで動作します。

オフ (OFF: 内部クロックで動作)

.....この楽器の内部クロックで動作します。(通常動作)

外部クロックオン(ON)/オフ(OFF)の設定は、FUNCTION画面のExternal Clockの項目で行ないます。(72ページ)



- ・外部クロックをオン(ON)にすると、外部からクロック信号が入力されない限り、ソング、スタイルはスタートしません。

■ Musicsoft Downloaderを使って、アクセサリー CD-ROMのMIDIソングを楽器のスマートメディア/フラッシュメモリーに転送してみましょう

NOTE

・楽器がソングやスタイルを再生中の場合は、ストップさせてください。またファイルコントロール画面が表示されている場合は、[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻っておください。

- 1 楽器のスマートメディアに転送する場合⇒スマートメディアを楽器のカードスロットに挿入して、メディアセレクト(67ページ)をスマートメディアに設定しておきます
- 2 Musicsoft DownloaderおよびUSB-MIDIドライバーをコンピューターにインストール(85ページ)します

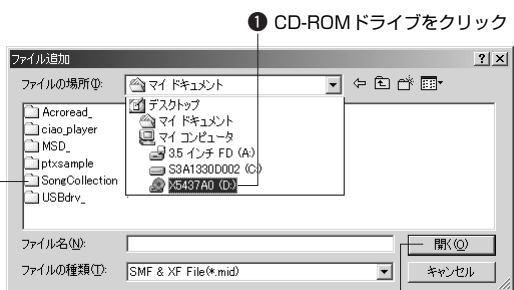
- 3 アクセサリー CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、スタート画面を閉じてください

- 4 デスクトップのMusicsoft Downloaderのショートカットアイコンをダブルクリックします。Musicsoft Downloaderが起動し、画面が表示されます

NOTE

・ Musicsoft Downloader起動中は、楽器の操作はできません。

- 5 [ファイル追加] ボタンをクリックすると、ファイル追加画面が表示されます
- 6 「ファイルの場所」の右横にある▼ボタンをクリックして、ポップアップメニューのCD-ROMドライブをクリックします。画面上に「SongCollection」フォルダが表示されるので、ダブルクリックします。電子楽器に転送したいソングファイルを選択し、[開く] をクリックします



- 2 「SongCollection」フォルダをダブルクリックします。「for_CD」フォルダをダブルクリックし、転送したいファイルをクリック
- 3 [開く]をクリック

- 7 画面上部の「一時保存しているファイルの一覧」に、選んだMIDIソングファイルのコピーが表示されます。コピーの移動先として、画面左下に現在選ばれているメディア(スマートメディアかフラッシュメモリー)が表示されるので、メディアをクリックします



- 1 メディアをクリック

楽器のスマートメディアに転送する場合、画面右下の欄に、USER FILES(ユーザーファイル)フォルダが表示されます。このフォルダには、楽器本体の「ファイルコントロール」機能でセーブ(75ページ)したユーザーデータファイル(拡張子 .USR)や、SMF変換(76ページ)でセーブしたユーザーソング(拡張子 .MID)が入っています。USER FILESは、楽器本体のファイルコントロール機能で扱うファイルを入れておくためのフォルダです。

- 8 転送したいファイルを選択し、下向きの[移動]ボタンを押すと、確認のメッセージが出ます。[OK]をクリックすると、「一時保存しているファイルの一覧」から楽器のメディアへソングが転送されます

楽器のスマートメディアに転送する場合、手順7に示した画面の状態「移動」ボタンをクリックすると、ソングファイルはスマートメディアのルートディレクトリーに転送されます。転送されたソングファイルは、楽器のソング(036以降)として、再生できます。

NOTE

・スマートメディアのルートディレクトリーや楽器本体のフラッシュメモリーなど、スマートメディアのUSER FILES(ユーザーファイル)フォルダ以外にMusicsoft Downloaderで転送されたファイルは、楽器本体のファイルコントロール画面では削除できません。これらのファイルを削除したい場合は、Musicsoft Downloaderの削除ボタンを使ってください。

- 9 画面を閉じて、Musicsoft Downloaderを終了させてください

NOTE

・転送したソングを再生するには、Musicsoft Downloaderを終了させる必要があります。

10 転送したソングを再生させるには、[SONG] ボタンを押します。ダイヤルを回して聞きたいソング名を表示させます。[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングが再生されます

上記で説明した手順と同様のやり方で、スタイルファイル(拡張子 .STY)をスマートメディアに転送できます。このときスマートメディアのルートディレクトリーに転送すれば、楽器本体のファイルコントロール画面でスタイル番号136にロードし、鳴らすことができます。



・通信中はUSBケーブルを抜かないでください。送信中のデータが保存されないだけでなく、メディアの動作が不安定になり、メモリー内容が電源を入れたり切ったりするときにすべて消える可能性があります。



・保存したデータは、故障や誤操作のために失われることがあります。大切なデータはコンピューター側に保存しておくことをおすすめします。
 ・データを受信するときは、アダプターをご使用になることをおすすめします。電池でご使用中、受信時に電池がなくなるとデータがこわれる原因になります。

●コンピューターから転送したソングをレッスンおよび譜面表示するために...

コンピューターから転送したSMFフォーマット0のソングを使ってレッスンをするには、どのチャンネルを右手/左手パートとして再生させるのか設定しておく必要があります。これをガイドトラックの設定と呼びます。

- 1 [SONG] ボタンを押して、ガイドトラックの設定を行ないたいメディア内のソング(036～)を選択しておきます
- 2 [FUNCTION] ボタンを押して、FUNCTION画面を表示させます
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、R-Part(右手パート)項目、またはL-Part(左手パート)項目を表示させます
- 4 **ダイヤル**を使って、右手パート、左手パートとして再生させたいチャンネルを表示させます

右手パートには1ch、左手パートには2chを設定することをおすすめします。

■Musicsoft Downloaderを使って、アクセサリー CD-ROMの楽譜データのサンプルを、コンピューターに接続したプリンターで印刷してみましょう.....

楽譜データを印刷するには、インターネットに接続している必要があります。

- 1 Musicsoft Downloaderをインストール(87ページ)したあと、コンピューターとプリンターを接続します。詳細はお使いのプリンター付属の取扱説明書をご参照ください
- 2 アクセサリー CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 3 マイコンピュータをダブルクリックすると、CD-ROMが表示されます。CD-ROMアイコンを右クリックして、ポップアップメニューの[開く]をクリックすると、「ptxsample」フォルダが表示されます
- 4 「ptxsample」フォルダをダブルクリックします。「ptxsample」ファイルが表示されるので、ダブルクリックします。印刷ドライバ画面が表示されるので、必要に応じて設定をし、OKボタンをクリックすると印刷が始まります

5 ソフトウェアをインストールします

- ひいチャオプレーヤとMusicsoft Downloader :
87ページをご覧ください。
- YAMAHA USB MIDI Driver :
85ページをご覧ください。

6 ソフトウェアを起動します

これ以降の操作については、各ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

ソフトウェアの動作環境

データ名	OS	CPU	メモリー	ハードディスク	ディスプレイ
Musicsoft Downloader	Windows 98SE/Me/2000/ XP Home Edition/ XP Professional	233MHz 以上の Intel® Pentium® および Celeron® ファミリー	64MB 以上 (256MB 以上推奨)	128MB 以上の 空き領域 (512MB 以上 推奨)	800×600 HighColor(16-bit)
USB Driver for Windows 98/Me	Windows 98/98SE/Me	166MHz 以上の Intel® Pentium® および Celeron® ファミリー	32MB 以上 (64MB 以上推奨)	2MB 以上の 空き領域	—
USB Driver for Windows 2000/XP	Windows 2000/XP Home Edition/XP Professional			13MB 以上の 空き領域	800×640 HighColor(16-bit)
ひいチャオプレーヤ	Windows 98/Me/2000/ XP Home Edition/ XP Professional				

ソフトウェアのインストール

●アンインストール (アプリケーションの削除)

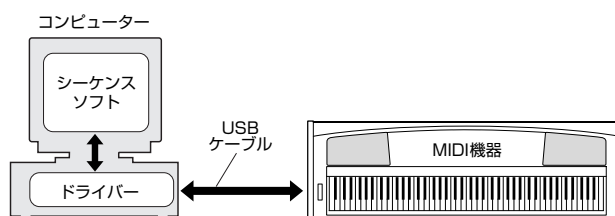
次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE

・ご使用の OS によりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

■USB MIDI ドライバーのインストール・・・

MIDI 機器をコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。
USB-MIDI ドライバーは、シーケンスソフトなどから USB ケーブルを通じて、MIDI 機器に MIDI 信号を送信したり、逆に MIDI 機器からシーケンスソフトなどに MIDI 信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows 98/Meをお使いの場合→86ページ

Windows 2000をお使いの場合→86ページ

Windows XPをお使いの場合→87ページ

お使いの CD-ROM ドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中の CD-ROM アイコンの下に表示されています。(CD-ROM ドライブのルートディレクトリーはそれぞれ D:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

Windows 98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 3 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます
Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバーを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。
ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバーの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブの「USBdrv_」フォルダーを指定して[次へ]をクリックします。
画面の指示に従ってインストールし、手順8へお進みください。

NOTE

・Windows Meへインストールする場合、手順4～7は不要です。

- 4 [次へ]をクリックします
検索方法を選択する画面が表示されます。
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 検索場所指定の左側にチェックを入れ、[参照]をクリックしたあと、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv_」ディレクトリー(D:\¥USBdrv_¥など)を直接指定します。
- 7 CD-ROMの中のドライバーを検出し、インストールの準備が終わると、ドライバーをインストールする準備ができた旨のメッセージが表示されます。
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります
- 8 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されます。
[完了]をクリックします

NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログインします
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視-ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 4 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。
[次へ]をクリックします
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。
[次へ]をクリックします

NOTE

・ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k」ディレクトリー(D:\¥USBdrv2k_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。
[完了]をクリックします

NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8 コンピューターを再起動します

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows XPへのインストール

- 1 コンピューターを起動します
 - 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。コントロールパネルがカテゴリー表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます
 - 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします
 - 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます
 - 5 CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
 - 6 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます
- NOTE**
- ・コンピューターによっては、この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります
 - 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします
- NOTE**
- ・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 9 コンピューターを再起動します

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

■ Musicsoft Downloader と
ひいチャオプレーヤのインストール**IMPORTANT**

- ・ Musicsoft DownloaderをWindows 2000またはXPにインストールするには、administrator権限のあるアカウントでログインしてください。

- 1 アクセサリ CD-ROMをコンピューターのドライブに挿入します。自動的にスタート画面が起動し、アプリケーションソフトウェアの項目が表示されます

NOTE

- ・自動的にスタート画面が起動しない場合は、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開きます。CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「開く」を選びます。「Start.exe」をダブルクリックします。そのまま手順2に進んでください。

- 2 インストールしたいソフトをクリックし、[インストール]ボタンを押します。画面の指示に従ってインストールを実行します

ひいチャオプレーヤの詳しい操作については、ヘルプをご覧ください。ひいチャオプレーヤを起動させて、[ヘルプ]をクリックします。

Musicsoft Downloaderの詳しい操作については、ヘルプをご覧ください。Musicsoft Downloaderを起動させて、[ヘルプ]をクリックします。

*下記URLで、「Musicsoft Downloader」の最新バージョンを手に入れます。

<http://www.yamaha.co.jp/download/msd/>

IMPORTANT

- ・この楽器とコンピューターの間でファイル転送を行なう場合、使用可能なアプリケーションはMusicsoft Downloaderのみです。その他のファイル転送アプリケーションは使えません。

ソフトウェアのご使用条件

弊社は本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

CD-ROMの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに（14日以内に）ご返却ください（ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません）。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル（以下「許諾プログラム」といいます）を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているCD-ROMの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。



故障かな?と思ったら

■ DGX-505/305本体

現象	原因と解決方法
[電源 切/入](STANDBY/ON) スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている（または呼び出し音が鳴っている）とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていますか？ヘッドフォン（プラグ）を抜いてください。
	MIDI のローカルがオフ (OFF) に設定されていませんか？ローカルの設定をオン (ON) にしてください。(80 ページ)
	ファイルコントロール画面に入っていませんか？ファイルコントロール画面が表示されているあいだは、鍵盤などの音は出ません。[画面 戻る] (EXIT) ボタンを押して、MAIN 画面を表示させてください。
右手の鍵盤を弾いても、音が鳴らない。	コードディクショナリー (63 ページ) を使用していませんか？右手の鍵盤はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・リズムが止まる。 ・ソングなどの録音内容が、正しく演奏（再生）されない。 ・突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。	電池が消耗しています。6 本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。

現 象	原因と解決方法
[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン (ON) に設定されていませんか？ 80 ページの「外部クロック オン/オフ (ON/OFF)」の項を参照して、外部クロックをオフ (OFF) に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか？ スタイル音量の設定を確認してください。(71 ページ) コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？ 「スプリットポイントの設定」(59 ページ)の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP 表示は出ていますか？ 表示がでない場合は、もう一度 [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを押して ACMP を表示させてください。
スタイル番号 112 と 124 ~ 135 (ピアニスト) を選んでいるとき、[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。スタイル番号 112 と 124 ~ 135 (ピアニスト) は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルオン時に自動伴奏鍵域でコードを押さえると、リズム以外のパートを含んだスタイルを鳴らすことができます。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数 (32 音) を越えています。 デュアルボイスやスプリットボイス、スタイルやソングなどを合わせて最大 32 音の範囲で鳴らすことができます。32 音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
フットスイッチ (サステイン) のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう 1 度電源を入れ直してください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用している AWM 音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
・デモ画面が英語で表示される。 ・メッセージ表示がすべて英語になった。 ・歌詞表示が文字化けする。 ・ファイル名が文字化けする。	機能設定 (FUNCTION 画面) の言語 (Language) の設定が English になっていませんか？ 日本語で表示させたい場合は設定を Japanese に設定します。(22 ページ) Language の初期設定は English です。
スマートメディアを入れているのに、ファイルコントロール画面に入れない	FUNCTION 画面のメディアセレクト (Media Select) の設定がフラッシュメモリー (Flash Memory) になっていませんか？ スマートメディアを使う場合は、設定をスマートメディア (Smart Media) に切り替えます。
[SONG] ボタン、[EASY SONG ARRANGER] ボタン、[STYLE] ボタン、[VOICE] ボタンを押しても、それぞれの項目を選べる画面にならない。	ほかの画面が表示されていませんか？ [画面 戻る] (EXIT) ボタンを押して MAIN 画面に戻ると、これらの項目が選べます。
鍵盤を押したとおりの音で鳴らない。	パフォーマンスアシスタント機能がオンになっていませんか？ [PERFORMANCE ASSISTANT] ボタンを押して OFF にしてください。
[スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを押しても ACMP が表示されない。	[STYLE] ボタンは点灯していますか？ スタイルに関する機能を使うときは、まず [STYLE] ボタンを押してください
コンピューターからスマートメディアに転送した外部ソングファイルのソング番号 (036 ~) が表示されない。	FUNCTION 画面のメディアセレクトがフラッシュメモリーになっていませんか？ メディアセレクトの設定をスマートメディアに切り替えてください (67 ページ)
コンピューターからフラッシュメモリーに転送した外部ソングファイルのソング番号 (036 ~) が表示されない。	FUNCTION 画面のメディアセレクトがスマートメディアになっていませんか？ メディアセレクトの設定をフラッシュメモリーに切り替えてください (67 ページ)
ハーモニーが鳴らない	ハーモニー (01 ~ 26) はタイプ別に鳴らし方が異なります。01 ~ 05 は、スタイルオン時、自動伴奏鍵域でコードを押さえてスタイルを鳴らし、右側の鍵盤を弾くとハーモニー音が加わります。06 ~ 26 はスタイル オン/オフには関係ありませんが、06 ~ 12 は 2 音同時に押さえる必要があります。

■付属ソフトウェア

ドライバーがインストールできない

- **USBケーブルは正しく接続されていますか？**
USBケーブルの接続を確認してください(MIDI機器 取扱説明書)。
一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- **お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか？**
初めてMIDI機器をコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

1 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。

2 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。
「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

- **不明なデバイスが登録されていませんか？**
何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MIDI機器が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

1 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。

2 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。

3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。

4 USBケーブルをMIDI機器から抜いて、接続し直します。

5 以下、86ページの手順3以降(Win98/Me)、86ページの手順4以降(Win2000)、87ページの手順6以降(WinXP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

USB経由でコンピューターよりMIDI機器を操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

- ドライバーはインストールしましたか(85ページ)？
- USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MIDI機器取扱説明書)？
- 音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？

- **ドライバーは最新のをインストールしましたか？**
ヤマハホームページ(http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/)から最新のドライバーをダウンロードできます。

演奏がもたつく

- **お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか？**
- **他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？**

正常にサスペンド、レジュームができない

- **MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？**
Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MIDI機器は正常に動作します。)

ドライバーの削除、再インストールがしたい

【Windows Me/98の場合】

- 1** MIDI機器が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3** MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。

NOTE

・ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール(表示)」メニューから「フォルダーオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダー)を表示する」に設定しておいてください。

- ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥****.INF
- ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.drv
- ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys

- 4** USBケーブルを抜きます。
- 5** コンピューターを再起動します。
- 6** 85ページのドライバーのインストールに従って、再インストールします。



メッセージ一覧

表示	メッセージ内容
Access error!	スマートメディアやフラッシュメモリーにアクセスできなかったときに表示されます。
All Memory Clearing...	フラッシュメモリー内の全データ消去中に表示されます。データの転送中は絶対に電源は切らないでください。
Are you sure?	ソングクリアやトラッククリアの実行を確認するときに表示されます。
Backup Clearing...	本体内のフラッシュメモリーにバックアップしたデータをクリア中に表示されます。
Cancel	イニシャル、バルクセンドの送信をキャンセルしたときに表示されます。
Clearing...	ユーザーソングのソングクリア、トラッククリア実行中に表示されます。
Com Mode	楽器と接続したコンピューター上で、Musicsoft Downloaderを起動させたときに表示されます。楽器がソングなどを再生しているときは表示されません。
Completed	セーブ、転送などの実行が完了したときに表示されます。
Create Directory	Musicsoft Downloaderでフォルダを作成中に表示されます。
Data Error!	ソングデータ中に正しくないデータがあると表示されます。
Delete File	Musicsoft Downloaderでソングファイルをデリート中に表示されます。
Delete OK ?	デリート実行を確認するとき表示されます。
Delete Directory	Musicsoft Downloaderでフォルダを削除中に表示されます。
Deleting...	デリート実行中に表示されます。
End	イニシャル、バルクセンドの送信が終了したときに表示されます。
Error!	書き込みがエラーになったとき表示されます。
"File information area is not large enough."	ファイル情報エリアが足りないため、セーブできません。
File is not found.	ファイルがありません。
"File too large. Loading is impossible."	ファイルが大きすぎるため、ロードできません。
Flash Clearing...	本体内のフラッシュメモリーに転送したソングデータをクリア中に表示されます。
Format OK ?	スマートメディアのフォーマット実行を確認するときに表示されます。
Formatting...	フォーマット実行中に表示されます。
Load OK ?	ロード実行を確認するときに表示されます。
Loading...	ロード実行中に表示されます。
Media is not inserted.	カードスロットにスマートメディアが入っていないのに、スマートメディアにアクセスしようとしたとき表示されます。
Media capacity is full.	メディア容量がいっぱいになったため、データをセーブできません。
Memory Full	ソング録音中に、内蔵メモリーの容量がいっぱいになったときに表示されます。
"MIDI receive buffer overflow."	MIDI受信バッファがオーバーしたとき表示されます
Move File	Musicsoft Downloaderでファイル移動を実行中に表示されます。
"Now Writing... (Don't turn off the power now, otherwise the data may be damaged.)"	メモリーにデータを書き込み中です。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
Overwrite ?	上書き実行を確認するときに表示されます。
Please Wait...	譜面表示や歌詞表示までしばらく時間がかかるとき表示されます。
Receive error!	バルクデータを受信中にエラーが発生しました。
Receiving...	バルクデータを受信中に表示されます。
Rename File	Musicsoft Downloaderでソングのファイル名を書き換え中に表示されます。
Save OK ?	セーブ実行を確認するときに表示されます。
Saved data is not found.	セーブするデータがないときに表示されます。
"Saves the selected melody and style. (Don't turn off the power now, otherwise the data may be damaged.)"	選択したメロディボイスとスタイルをセーブします。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
Saving...	セーブ実行中に表示されます。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
Send OK?	データ送信の実行を確認するときに表示されます。
Sending...	データ送信中に表示されます。
"Since the media is in use now, this function is not available."	スマートメディアがマウント中のため、マウントが終わるまでファイルコントロール機能は使えません。
Sure ?	各操作の実行を再確認するときに表示されます。

表示	メッセージ内容
"The limit of the media has been reached."	エントリー数の制限を超えたため、セーブできません。
The media is not formatted.	フォーマットされていないスマートメディアが入っています。
"The media is write-protected."	このスマートメディアはプロテクトがかかっているため、書き込みできません。お使いの場合はプロテクトシールを剥がしてください。
"The song data is too large to be converted to notation."	ソングデータが大きすぎるため、譜面表示ができません。
There are too many files.	ファイル数の制限を超えたため、セーブできないときに表示されます。
"This function is not available now."	他の操作を実行中のため、今はこの機能は使えません。
[nnn] "ファイル名"	転送中ソングファイルのファイル名です。nnnは受信ブロックです。

NOTE

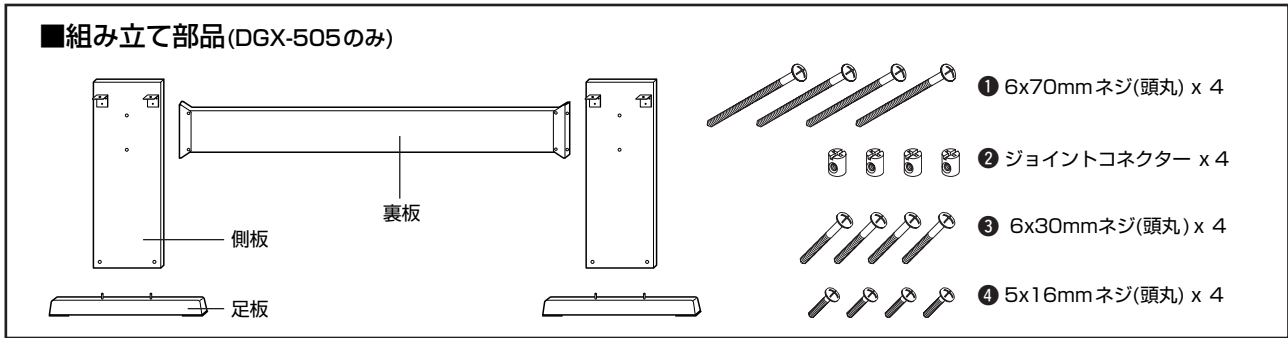
- ・ここでは、説明が必要なメッセージだけを掲載しています。



キーボードスタンドの組み立て方(DGX-505のみ)

● プラス (+) のドライバーを用意します。

すべての部品を取り出し、下記イラストの部品がそろっているかどうかを確認します。
組み立て手順に従って必要な部品を使用します。



安全上のご注意

組立作業、およびご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

- ⚠ 「ご注意ください」という注意喚起を示します。
- 🚫 ~しないでくださいという「禁止」を示します。

🔴 「必ず実行」してくださいという強制を示します。

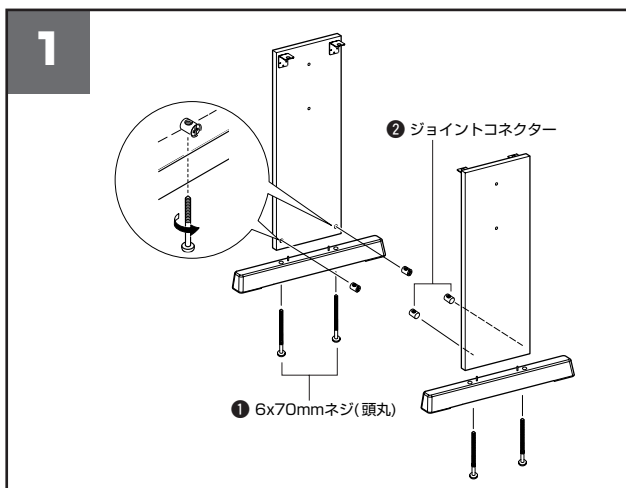


注意

以下の内容を無視した取り扱いをすると、障害を負う可能性、または、物的損害が発生する可能性が想定されます。

- 🔴 必ず実行 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立てる。
- 🔴 必ず実行 組み立ては、必ず2人以上で行なう。
- 🔴 必ず実行 部品の取り付けは、必ず付属のネジを使用する。
付属のネジ以外のネジを使用すると、他の部品を傷つけたり、スタンドとしての機能を果たさなかったりします。
- 🔴 必ず実行 スタンド/キーボードは、組み立てが完了した状態で使用する。
未完成の状態で使用すると、キーボードが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- 🚫 禁止 傾斜地や不安定な場所に設置しない。
スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- 🚫 禁止 指定のキーボード以外の目的に使用しない。
指定のキーボード以外のものは取り付けられません。また、指定のキーボード以外のものをのせたり、スタンドにのったり、スタンドにもたれ掛かったりすると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- 🚫 禁止 スタンドの上のキーボードに必要以上の力を加えない。
スタンドが転倒したりして危険です。
- 🔴 必ず実行 使用前に安全点検をする。
使用する前に、ネジが確実にしまっているか、必ず確認してください。ネジがゆるんでいると、スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしったりする原因になります。
- 🔴 必ず実行 スタンドを分解するときは、組み立てと逆の手順で行なう。



1 左右の足板を側板に固定します。

左右の側板はジョイントコネクターが内側になる位置に合わせて置いてください。

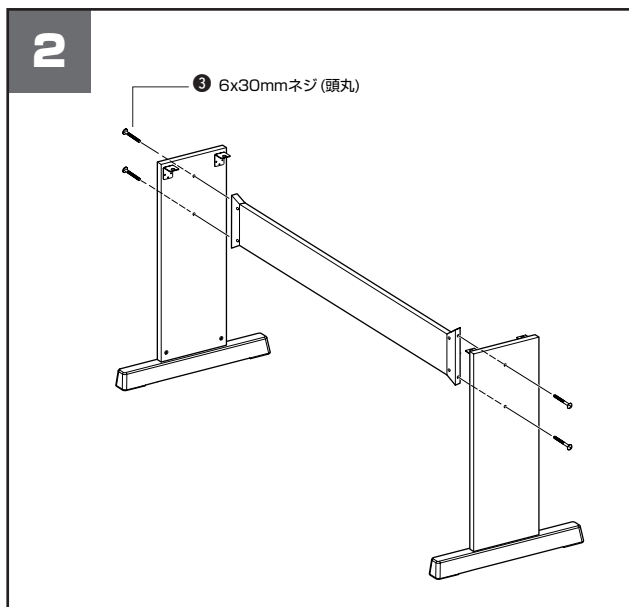
左右の側板は同形です。

②のジョイントコネクターを左右の側板に差し込みます。
ジョイントコネクターはプラスの面が外から見える方向に差し込みます。

足板を①のネジで固定します。

左右の足板は同形です。また、前後をどちらに付けてもかまいません。

ジョイントコネクターにネジがうまく入らない場合は、ドライバーを使用してジョイントコネクターを回転させます。ジョイントコネクターに付いている→の向きを、ネジの入る向きに合わせてみます。

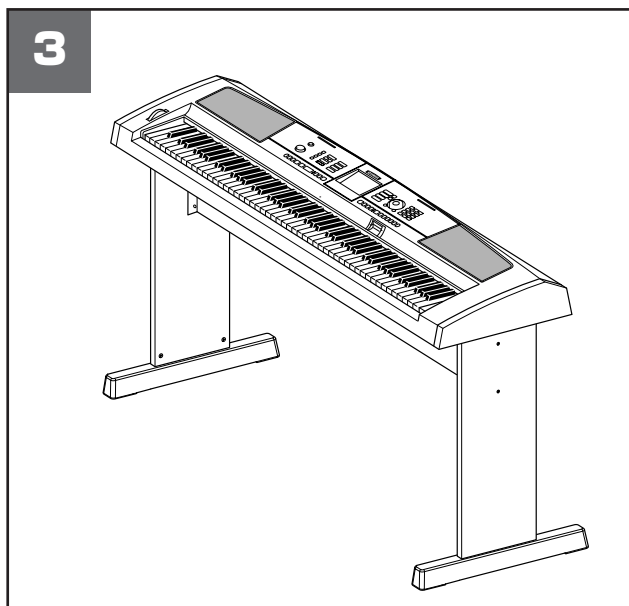


2 裏板を固定します。

裏板を ③ のネジで固定します。
裏板には上下左右の区別がありませんので、どちらの向きに取り付けてもかまいません。



・裏板を落としたり、金具部分に触れてけがをしないように注意してください。



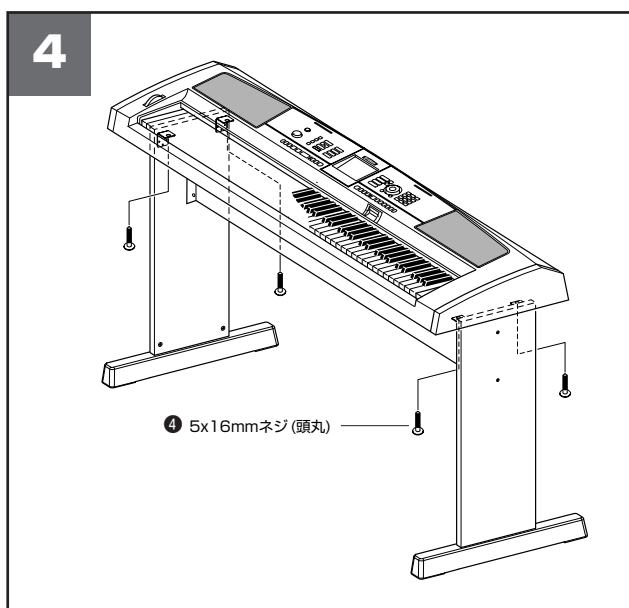
3 スタンドに楽器をのせます。

注意して楽器をスタンドにのせます。
スタンドには前後の区別はありませんので、どちらの向きでもかまいません。

⌊ 金具の穴と楽器の下側の穴が合うように、ゆっくりと楽器の位置を調節してください。



・指をはさんだり、楽器を落としたりしないよう、十分ご注意ください。



4 楽器をスタンドに固定します。

④ のネジで楽器を固定します。

■ 組み立てチェックリスト

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- ・ 部品が余っていませんか？
→ 組み立て手順を再確認してください。
- ・ 部屋のドアなどにあたりませんか？
→ あたらない位置に移動してください。
- ・ 楽器 / スタンドがゆれませんか？
→ ネジを確実に締めてください。
- ・ 使用中に楽器がきしむ、横ゆれする、グラつくなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。



仕様一覧

鍵盤

- DGX-505 ライトウェイト付きボックスタイプ 88 鍵 (A-1 ~ C7: タッチレスボンス付き)
- DGX-305 ボックスタイプ 76 鍵 (E0 ~ G6: タッチレスボンス付き)

ディスプレイ

- 320 × 240 ドット LCD (バックライト付き)

セットアップ

- [電源切/入](STANDBY/ON) スイッチ
- 全体音量 (MASTER VOLUME) コントロール: 小~大
- LCD コントラスト (LCD CONTRAST) 調整

パネルコントロール

- [タッチレスボンス](TOUCH)、[ハーモニー](HARMONY)、[デュアル](DUAL)、[スプリット](SPLIT)、[DEMO]、[LESSON MODE]、[LESSON L/R]、[LESSON REPEAT&LEARN]、[PERFORMANCE ASSISTANT]、[FUNCTION]、[PC]、[METRONOME]、[PORTABLE GRAND]、[歌詞](LYRICS)、[譜面](SCORE)、[画面戻る](EXIT)、[SONG]、[EASY SONG ARRANGER]、[STYLE]、[VOICE]、[ファイルコントロール](FILE CONTROL)、[実行](EXECUTE)、ダイアル、カテゴリー [▲]/[▼]、[0] ~ [9]、[+]、[-]、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)/[A ⇄ B]、[シンクロストップ](SYNC STOP)、[シンクロスタート](SYNC START)/[II]、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)/[◀]、[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)/[▶]、[スタート/ストップ](START/STOP)/[▶/■]、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)、レジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY) ([●]) (MEMORY/BANK)、[1]、[2]、ソングメモリー (SONG MEMORY) ([REC]、[1] ~ [5]、[A])

リアルタイムコントロール

- ピッチバンドホイール

楽器

- 121 パネル音色 + 12 ドラムキット + 359 XGlite 音色 + 2 XGlite オプション音色 (最大同時発音数 32)
- デュアルボイス
- スプリットボイス

スタイル

- 135 プリセット + 1 ユーザースタイルファイル
- スタイルコントロール: スタイルオン/オフ、シンクロストップ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダンド、メイン/フィルイン
- マルチフィンガリング
- スタイル音量

カードスロット

- 3.3V スマートメディア対応

レッスン機能

- コードディクショナリー
- レッスン 1 ~ 3、くり返し練習

レジストレーションメモリー

- 8バンク × 2

機能

- ボリューム : スタイル音量、ソング音量
- オーバーオール: トランスポーズ、チューニング、ピッチバンドレンジ、スプリットポイント、タッチ感度
- メインボイス: 音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- デュアルボイス: 音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- スプリットボイス: 音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- エフェクト : リバーブタイプ、コーラスタイプ、パネルサステイン

- ハーモニー : ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- PC モード : PC1/PC2/off
- MIDI : ローカル オン/オフ、外部クロック、イニシャルセットアップセンド、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト、バルクセンド
- メトロノーム : 拍子、メトロノーム音量
- スコア : クオンタイズ
- レッスン : レッスントラック R、レッスントラック L、採点オン/オフ
- ユーティリティ : メディアセレクト、デモキャンセル
- 言語 : 言語切り替え (日本語、英語)

エフェクト

- リバーブ : 9 種類
- コーラス : 4 種類
- ハーモニー : 26 種類

ソング

- プリセットソング 30 曲 + ユーザーソング 5 曲 + 付属 CD-ROM (70 曲)
- ソングクリア、トラッククリア
- ソング音量

パフォーマンスアシスタント

- コードタイプ/メロディタイプ

録音

- ソング
ユーザーソング : 5 曲
録音トラック : 1、2、3、4、5、スタイル

MIDI

- ローカル オン/オフ、イニシャルセットアップセンド、外部クロック、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト、バルクセンド

付属端子

- USB、SUSTAIN、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V

アンプ実用最大出力

- 6W + 6W

スピーカー

- 12cm × 2 + 3cm × 2

電源

- アダプター : PA-5D
- 電池 : 単 1 乾電池 (1.5V) × 6

電池寿命

- マンガン電池で約 7 時間

消費電力

- 電源アダプター PA-5D 使用時 : 28W

寸法 (幅 × 奥 × 高 mm)

- DGX-505 : 1,376 × 431 × 173
(キーボードスタンド取り付け時) : 1,376 × 485 × 804
- DGX-305 : 1,178 × 412 × 173

質量

- DGX-505 : 13.5 kg (乾電池含まず)
- DGX-305 : 9.2 kg (乾電池含まず)
- キーボードスタンド (DGX-505 のみ) : 7.5kg

付属品

- 電源アダプター PA-5D、譜面立て、和文シート、アクセサリ CD-ROM、取扱説明書、保証書、キーボードスタンド*、フットスイッチ FC5* (*は DGX-505 のみに付属します。)

オプション(別売)品

- キーボードスタンド : LW-16 (DGX-305 のみ)
- ヘッドフォン : HPE-150/HPE-30
- フットスイッチ : FC4/FC5

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。



楽器リスト

■ 最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

- ・MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo. を使用してください。
- ・プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo. から1を引いた数で指定します。たとえば、No.128のプログラムを指定する場合は、127の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
001	000	113	001	ライブ! グランドピアノ
002	000	114	001	ライブ! ウォーム グランドピアノ
003	000	112	001	グランドピアノ
004	000	112	002	ブライトピアノ
005	000	112	004	ホンキートンクピアノ
006	000	112	003	ミディ グランドピアノ
007	000	113	003	CP 80
008	000	112	007	ハーブシコード
エレピ				
009	000	114	005	クール! ギャラクシー エレクトリックピアノ
010	000	118	005	クール! スーツケースエレクトリックピアノ
011	000	119	005	クール! エレクトリックピアノ
012	000	112	005	ファンキーエレクトリックピアノ
013	000	112	006	DX モダン エレクトリックピアノ
014	000	113	006	ハイパー タイムズ
015	000	114	006	ビーナス エレクトリックピアノ
016	000	114	008	エレクトリック クラビコード
017	000	112	008	クラビ
オルガン				
018	000	118	019	クール! オルガン
019	000	112	017	ジャズ オルガン 1
020	000	113	017	ジャズ オルガン 2
021	000	112	018	クリック オルガン
022	000	116	017	ブライト オルガン
023	000	112	019	ロック オルガン
024	000	114	019	パープル オルガン
025	000	118	017	16'+2' オルガン
026	000	119	017	16'+4' オルガン
027	000	114	017	シアター オルガン
028	000	112	020	チャーチ オルガン
029	000	113	020	チャペル オルガン
030	000	112	021	リード オルガン
アコーディオン				
031	000	113	022	トラディショナルアコーディオン
032	000	112	022	ミュゼットアコーディオン
033	000	113	024	バンドネオン
034	000	112	023	ハーモニカ
ギター				
035	000	112	025	クラシックギター
036	000	112	026	フォークギター
037	000	113	026	12弦ギター
038	000	112	027	ジャズギター
039	000	113	027	オクターブギター
040	000	112	028	クリーンギター
041	000	117	028	60年代風 クリーンギター
042	000	112	029	ミュートギター
043	000	112	030	オーバードライブギター
044	000	112	031	ディストーションギター
ベース				
045	000	112	033	アコースティックベース
046	000	112	034	フィンガーベース
047	000	112	035	ピックベース
048	000	112	036	フレットレスベース
049	000	112	037	スラップベース
050	000	112	039	シンセベース
051	000	113	039	ハイQベース
052	000	113	040	ダンスベース

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ストリングス				
053	000	116	050	ライブ! オーケストラ
054	000	112	049	ストリングス
055	000	112	050	チェンバー ストリングス
056	000	112	051	シンセ ストリングス
057	000	113	050	スロー ストリングス
058	000	112	045	トレモロ ストリングス
059	000	112	046	ピチカート ストリングス
060	000	112	041	バイオリン
061	000	112	043	チェロ
062	000	112	044	コントラバス
063	000	112	106	バンジョー
064	000	112	047	ハーブ
065	000	112	056	オーケストラ ヒット
コーラス				
066	000	112	053	コーラス
067	000	113	053	ボーカル アンサンブル
068	000	112	054	ボックス フマーナ
069	000	112	055	エア コーラス
070	000	117	067	スイート! テナー サックス
サククス				
071	000	113	065	スイート! ソプラノ サックス
072	000	112	067	テナー サックス
073	000	112	066	アルト サックス
074	000	112	065	ソプラノ サックス
075	000	112	068	バリトン サックス
076	000	114	067	ブレッシー テナー サックス
077	000	112	069	オーボエ
078	000	112	072	クラリネット
079	000	112	070	イングリッシュホルン
080	000	112	071	バスーン
トランペット				
081	000	115	057	スイート! トランペット
082	000	112	057	トランペット
083	000	112	060	ミュートトランペット
084	000	112	058	トロンボーン
085	000	113	058	トロンボーン セクション
086	000	112	061	フレンチホルン
087	000	112	059	チューバ
ブラス				
088	000	112	062	ブラス セクション
089	000	113	062	ビッグバンドブラス
090	000	119	062	メロー ホーン
091	000	112	063	シンセブラス
092	000	113	063	80年代風ブラス
093	000	114	063	テクノブラス
フルート				
094	000	114	074	スイート! フルード
095	000	113	076	スイート! パンフルード
096	000	112	074	フルード
097	000	112	073	ピッコロ
098	000	112	076	パンフルード
099	000	112	075	リコーダー
100	000	112	080	オカリナ
シンセリード				
101	000	112	081	矩形波 リード
102	000	112	082	ノコギリ波 リード
103	000	112	086	ボイス リード
104	000	112	099	スターダスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
105	000	112	101	ブライトネス
106	000	115	082	アナログン
107	000	119	082	ファーゴ
シンセパッド				
108	000	118	089	スイートヘブン
109	000	112	089	ファンタジア
110	000	113	101	ベルパッド
111	000	112	092	ゼノンパッド
112	000	112	095	イクイノックス
113	000	113	090	ダークムーン
パーカッション				
114	000	112	012	ビブラフォン
115	000	112	013	マリンバ
116	000	112	014	シロフォン
117	000	112	115	スチールドラム
118	000	112	009	チェレスタ
119	000	112	011	ミュージックボックス
120	000	112	015	チューブラーベル
121	000	112	048	ティンパニ
ドラムキット				
122	127	000	001	スタンダードキット1
123	127	000	002	スタンダードキット2
124	127	000	009	ルームキット
125	127	000	017	ロックキット
126	127	000	025	エレクトロニックキット
127	127	000	026	アナログキット
128	127	000	028	ダンスキット
129	127	000	033	ジャズキット
130	127	000	041	ブラッシュキット
131	127	000	049	シンフォニーキット
132	126	000	001	SFXキット1
133	126	000	002	SFXキット2

[XGlite 楽器 / XGlite オプション楽器 * リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
134	000	000	001	グランドピアノ
135	000	001	001	グランドピアノ KSP
136	000	040	001	ピアノストリングス
137	000	041	001	ドリーム
138	000	000	002	ブライトピアノ
139	000	001	002	ブライトピアノ KSP
140	000	000	003	エレクトリックグランドピアノ
141	000	001	003	エレクトリックグランドピアノ KSP
142	000	032	003	デチューンド CP 80
143	000	000	004	ホンキートンクピアノ
144	000	001	004	ホンキートンクピアノ KSP
145	000	000	005	エレクトリックピアノ1
146	000	001	005	エレクトリックピアノ1 KSP
147	000	032	005	コーラスエレクトリックピアノ1
148	000	000	006	エレクトリックピアノ2
149	000	001	006	エレクトリックピアノ2 KSP
*150	000	032	006	コーラスエレクトリックピアノ2
151	000	041	006	DX+アナログエレクトリックピアノ
152	000	000	007	ハーブシコード
153	000	001	007	ハーブシコード KSP
154	000	035	007	ハーブシコード3
155	000	000	008	クラビ
156	000	001	008	クラビ KSP
クロマティック				
157	000	000	009	チェレスタ
158	000	000	010	グロッケンシュピール
159	000	000	011	ミュージックボックス
160	000	064	011	オルゴール
161	000	000	012	ビブラフォン
162	000	001	012	ビブラフォン KSP
163	000	000	013	マリンバ
164	000	001	013	マリンバ KSP
165	000	064	013	サインマリンバ
166	000	097	013	バリンバ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
167	000	098	013	ログドラム
168	000	000	014	シロフォン
169	000	000	015	チューブラーベル
170	000	096	015	チャーチベル
171	000	097	015	カリヨン
172	000	000	016	ダルシマー
173	000	035	016	ダルシマー2
174	000	096	016	ツィンバロン
175	000	097	016	サントウール
オルガン				
176	000	000	017	ドローパーオルガン
177	000	032	017	デチューンドドローパーオルガン
178	000	033	017	60'ドローパーオルガン1
179	000	034	017	60'sドローパーオルガン2
180	000	035	017	70'sドローパーオルガン1
181	000	037	017	60'sドローパーオルガン3
182	000	040	017	16'+2'2/3
183	000	064	017	オルガンベース
184	000	065	017	70'sドローパーオルガン2
185	000	066	017	チージーオルガン
186	000	067	017	ドローパーオルガン3
187	000	000	018	パーカッシブオルガン
188	000	024	018	70'パーカッシブオルガン
189	000	032	018	デチューンドパーカッシブオルガン
190	000	033	018	ライトオルガン
191	000	037	018	パーカッシブオルガン2
192	000	000	019	ロックオルガン
193	000	064	019	ロータリーオルガン
194	000	065	019	スローロータリー
195	000	066	019	ファストロータリー
196	000	000	020	チャーチオルガン
197	000	032	020	チャーチオルガン3
198	000	035	020	チャーチオルガン2
199	000	040	020	ノートルダム
200	000	064	020	オルガンフルート
201	000	065	020	トレモロオルガンフルート
202	000	000	021	リードオルガン
203	000	040	021	パフオルガン
204	000	000	022	アコーディオンF
205	000	000	023	ハーモニカ
206	000	032	023	ハーモニカ2
207	000	000	024	タンゴアコーディオン
208	000	064	024	タンゴアコーディオン2
ギター				
209	000	000	025	ナイロン弦ギター
210	000	043	025	ベロシティギターハーモニクス
211	000	096	025	ウクレレ
212	000	000	026	スチール弦ギター
213	000	035	026	12弦ギター
214	000	040	026	ナイロン&スチール弦ギター
215	000	041	026	スチール弦ギター&ボディサウンド
216	000	096	026	マンドリン
217	000	000	027	ジャズギター
218	000	032	027	ジャズアンプ
219	000	000	028	クリーンギター
220	000	032	028	コーラスギター
221	000	000	029	ミュートギター
222	000	040	029	ファンクギター1
223	000	041	029	ミュートスチール弦ギター
224	000	045	029	ジャズマン
225	000	000	030	オーバードライブギター
226	000	043	030	ギターピンチ
227	000	000	031	ディストーションギター
228	000	040	031	フィードバックギター
229	000	041	031	フィードバックギター2
230	000	000	032	ギターハーモニクス
231	000	065	032	ギターフィードバック
232	000	066	032	ギターハーモニクス2
ベース				
233	000	000	033	アコースティックベース
234	000	040	033	ジャズリズム
235	000	045	033	ベロシティクロスフェードアップライトベース
236	000	000	034	フィンガーベース
237	000	018	034	フィンガーダーク

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
238	000	040	034	ベース&ディストーション ギター
239	000	043	034	フィンガー スラップ ベース
240	000	045	034	フィンガー ベース 2
241	000	065	034	モジュレーテッド ベース
242	000	000	035	ピック ベース
243	000	028	035	ミュートピック ベース
244	000	000	036	フレットレス ベース
245	000	032	036	フレットレス ベース 2
246	000	033	036	フレットレス ベース 3
247	000	034	036	フレットレス ベース 4
248	000	000	037	スラップ ベース 1
249	000	032	037	パンチサム ベース
250	000	000	038	スラップ ベース 2
251	000	043	038	ペロシティ スイッチ スラップ
252	000	000	039	シンセ ベース 1
253	000	040	039	テクノ シンセ ベース
254	000	000	040	シンセ ベース 2
255	000	006	040	メロー シンセ ベース
256	000	012	040	シーケンスド ベース
257	000	018	040	クリック シンセ ベース
258	000	019	040	シンセ ベース 2ダーク
*259	000	040	040	モジュラー シンセ ベース
260	000	041	040	DX ベース
ストリングス				
261	000	000	041	バイオリン
262	000	008	041	スロー バイオリン
263	000	000	042	ビオラ
264	000	000	043	チェロ
265	000	000	044	コントラバス
266	000	000	045	トレモロ ストリングス
267	000	008	045	スロー トレモロ ストリングス
268	000	040	045	サスペンション ストリングス
269	000	000	046	ピチカート ストリングス
270	000	000	047	ハーブ
271	000	040	047	ヤンチン
272	000	000	048	ティンパニ
アンサンブル				
273	000	000	049	ストリングス 1
274	000	003	049	ステレオ ストリングス
275	000	008	049	スロー ストリングス
276	000	035	049	60's ストリングス
277	000	040	049	オーケストラ
278	000	041	049	オーケストラ 2
279	000	042	049	トレモロ オーケストラ
280	000	045	049	ペロシティ ストリングス
281	000	000	050	ストリングス 2
282	000	003	050	ステレオ スロー ストリングス
283	000	008	050	レガート ストリングス
284	000	040	050	ウォーム ストリングス
285	000	041	050	キングダム
286	000	000	051	シンセ ストリングス 1
287	000	000	052	シンセ ストリングス 2
288	000	000	053	クワイア アー
289	000	003	053	ステレオ クワイア
290	000	032	053	メロー クワイア
291	000	040	053	クワイア ストリングス
292	000	000	054	ボイス ウー
293	000	000	055	シンセ ボイス
294	000	040	055	シンセ ボイス 2
295	000	041	055	コラル
296	000	064	055	アナログ ボイス
297	000	000	056	オーケストラ ヒット
298	000	035	056	オーケストラ ヒット 2
299	000	064	056	インパクト
ブラス				
300	000	000	057	トランペット
301	000	032	057	ウォーム トランペット
302	000	000	058	トロンボーン
303	000	018	058	トロンボーン 2
304	000	000	059	チューバ
305	000	000	060	ミュート トランペット
306	000	000	061	フレンチホルン
307	000	006	061	フレンチホルン ソロ
308	000	032	061	フレンチホルン 2

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
309	000	037	061	ホルン オーケストラ
310	000	000	062	ブラス セクション
311	000	035	062	トランペット&トロンボーン セクション
312	000	000	063	シンセ ブラス 1
313	000	020	063	レゾナント シンセ ブラス
314	000	000	064	シンセ ブラス 2
315	000	018	064	ソフト ブラス
316	000	041	064	クワイア ブラス
リード				
317	000	000	065	ソプラノ サックス
318	000	000	066	アルト サックス
319	000	040	066	サックス セクション
320	000	000	067	テナー サックス
321	000	040	067	ブレッシー テナー サックス
322	000	000	068	バリトン サックス
323	000	000	069	オーボエ
324	000	000	070	イングリッシュホルン
325	000	000	071	バスーン
326	000	000	072	クラリネット
パイプ				
327	000	000	073	ピッコロ
328	000	000	074	フルート
329	000	000	075	リコーダー
330	000	000	076	パンフルート
331	000	000	077	ボトル
332	000	000	078	尺八
333	000	000	079	口笛
334	000	000	080	オカリナ
シンセ リード				
335	000	000	081	スクエア リード
336	000	006	081	スクエア リード 2
337	000	008	081	LM スクエア
338	000	018	081	ハロー
339	000	019	081	シュラウド
340	000	064	081	メロー
341	000	065	081	ソロ サイン
342	000	066	081	サイン リード
343	000	000	082	ソートゥース リード
344	000	006	082	ソートゥース リード 2
345	000	008	082	シック ソートゥース
346	000	018	082	ダイナミック ソートゥース
347	000	019	082	デジタル ソートゥース
348	000	020	082	ビッグ リード
349	000	096	082	シーケンスド アナログ
350	000	000	083	カリオパ リード
351	000	065	083	ピュア パッド
352	000	000	084	チフ リード
353	000	000	085	チャラン リード
354	000	064	085	ディストーション リード
355	000	000	086	ボイス リード
356	000	000	087	5度 リード
357	000	035	087	ビッグ ファイブ
358	000	000	088	ベース&リード
359	000	016	088	ビッグ&ロー
360	000	064	088	ファット&パーキー
361	000	065	088	ソフト ホワール
シンセ パッド				
362	000	000	089	ニュー エイジ パッド
363	000	064	089	ファンタジー
364	000	000	090	ウォーム パッド
365	000	000	091	ボリ シンセ パッド
366	000	000	092	クワイア パッド
367	000	066	092	アイトピア
368	000	000	093	ボウド パッド
369	000	000	094	メタリック パッド
370	000	000	095	ハロー パッド
371	000	000	096	スワイプ パッド
シンセ エフェクト				
372	000	000	097	レイン
373	000	065	097	アフリカン ウィンド
374	000	066	097	カリブ
375	000	000	098	サウンドトラック
376	000	027	098	プロローグ
377	000	000	099	クリスタル
378	000	012	099	シンセ ドラム コンブ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
379	000	014	099	ポップコーン
380	000	018	099	タイニー ベル
381	000	035	099	ラウンドグロッケンシュピール
382	000	040	099	グロッケンシュピール チャイム
383	000	041	099	クリアベル
384	000	042	099	コーラスベル
385	000	065	099	ソフトクリスタル
386	000	070	099	エアベル
387	000	071	099	ベルハーブ
388	000	072	099	ガムリンバ
389	000	000	100	アトモスフィア
390	000	018	100	ウォームアトモスフィア
391	000	019	100	ハローリリース
392	000	040	100	ナイロンエレクトリックピアノ
393	000	064	100	ナイロンハーブ
394	000	065	100	ハーブボックス
395	000	066	100	アトモスフィアパッド
396	000	000	101	ブライトネス
397	000	000	102	ゴブリン
398	000	064	102	ゴブリンシンセ
399	000	065	102	クリーパー
400	000	067	102	リチュアル
401	000	068	102	トゥーヘブン
402	000	070	102	ナイト
403	000	071	102	グリズン
404	000	096	102	ベルクワイア
405	000	000	103	エコー
406	000	000	104	サイエンスフィクション
ワールド				
407	000	000	105	シタール
408	000	032	105	デチューンドシタール
409	000	035	105	シタール2
410	000	097	105	タンブーラ
411	000	000	106	バンジョー
412	000	028	106	ミュートバンジョー
413	000	096	106	ラパーブ
414	000	097	106	ゴビチャント
415	000	098	106	ワード
416	000	000	107	三味線
417	000	000	108	琴
418	000	096	108	大正琴
419	000	097	108	カヌーン
420	000	000	109	カリンバ
421	000	000	110	バグパイプ
422	000	000	111	フィドル
423	000	000	112	シャナイ
パーカッション				
424	000	000	113	ティンクルベル
425	000	096	113	ボナン
426	000	097	113	アルマイル
427	000	098	113	ガムラン
428	000	099	113	ステレオガムラン
429	000	100	113	ラマシンバル
430	000	000	114	アゴゴ
431	000	000	115	スチールドラム
432	000	097	115	グラスパーカッション
433	000	098	115	タイベル
434	000	000	116	ウッドブロック
435	000	096	116	カスタネット
436	000	000	117	和太鼓
437	000	096	117	グランカッサ
438	000	000	118	メロディックタム
439	000	064	118	メロディックタム2
440	000	065	118	リアルタム
441	000	066	118	ロックタム
442	000	000	119	シンセドラム
443	000	064	119	アナログタム
444	000	065	119	エレクトロニックパーカッション
445	000	000	120	リバースシンバル
サウンドエフェクト				
446	000	000	121	フレットノイズ
447	000	000	122	ブレスノイズ
448	000	000	123	海辺
449	000	000	124	鳥のさえずり1

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
450	000	000	125	電話1
451	000	000	126	ヘリコプター
452	000	000	127	拍手
453	000	000	128	銃声
454	064	000	001	カッティングノイズ1
455	064	000	002	カッティングノイズ2
456	064	000	004	ベースストリングスラップ
457	064	000	017	フルートキークリック
458	064	000	033	雨
459	064	000	034	雷
460	064	000	035	風
461	064	000	036	せせらぎ
462	064	000	037	泡
463	064	000	038	フィード
464	064	000	049	犬
465	064	000	050	馬
466	064	000	051	鳥のさえずり2
467	064	000	056	マオウ
468	064	000	065	フーンコール
469	064	000	066	ドアのきしみ
470	064	000	067	ドアを閉める
471	064	000	068	スクラッチカット
472	064	000	069	スクラッチスプリット
473	064	000	070	ウィンドチャイム
474	064	000	071	電話2
475	064	000	081	イグニッション
476	064	000	082	タイヤ
477	064	000	083	レーシングカー
478	064	000	084	衝突
479	064	000	085	サイレン
480	064	000	086	列車
481	064	000	087	ジェット機
482	064	000	088	スターシップ
483	064	000	089	バースト
484	064	000	090	ローラーコースター
485	064	000	091	サブマリン
486	064	000	097	笑い声
487	064	000	098	悲鳴
488	064	000	099	パンチ
489	064	000	100	心音
490	064	000	101	足音
491	064	000	113	マシンガン
492	064	000	114	レーザーガン
493	064	000	115	爆発
494	064	000	116	花火

*楽器No.の前に*が付いているものがXGliteオプション楽器です。



ドラムキットリスト

- ※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。
- ※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。
- ※ この楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。
- ※ 「Alternate assign」欄のオルタネート番号1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。
- ※ 「Key off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります(キーオフされます)。

		楽器No.				122	123	124	125	126	127
		MSB(O-127)/LSB(O-127)/PC(1-128)				127/000/001	127/000/002	127/000/009	127/000/017	127/000/025	127/000/026
		Keyboard	MIDI	Key	Alternate	スタンダードキット 1	スタンダードキット 2	ルームキット	ロックキット	エレクトリックキット	アナログキット
		Note No.	Note	ff	assign						
C#0	D0	25	C# 0	13	C# -1	3	スルドミュート				
	D#0	26	D 0	14	D -1	3	スルドオープン				
E0		27	D# 0	15	D# -1		ハイキュー				
	F0	28	E 0	16	E -1		ウィップスラップ				
		29	F 0	17	F -1	4	スクラッチブッシュ				
	F#0	30	F# 0	18	F# -1	4	スクラッチブル				
	G0	31	G 0	19	G -1		フィンガースナップ				
		32	G# 0	20	G# -1		クリックノイズ				
A0		33	A 0	21	A -1		メトロノームクリック				
	A#0	34	A# 0	22	A# -1		メトロノームベル				
B0		35	B 0	23	B -1		シーククリックL				
	C1	36	C 1	24	C 0		シーククリックH				
		37	C# 1	25	C# 0		ブラッシュタップ				
	D1	38	D 1	26	D 0	○	ブラッシュスワール				
		39	D# 1	27	D# 0	○	ブラッシュスラップ				
	E1	40	E 1	28	E 0	○	ブラッシュタップスワール			リバースシンバル	リバースシンバル
	F1	41	F 1	29	F 0	○	スネアロール				
		42	F# 1	30	F# 0		カスターネット			ハイキュー 2	ハイキュー 2
	G1	43	G 1	31	G 0		スネアHソフト	スネアHソフト 2		スネアL	スネアロックH
		44	G# 1	32	G# 0		スティックス				
A1		45	A 1	33	A 0		バスドラムソフト			バスドラムH	バスドラムH
	A#1	46	A# 1	34	A# 0		オープンリムショット	オープンリムショット 2			
B1		47	B 1	35	B 0		バスドラムハード			バスドラムH	バスドラムH
	C2	48	C 2	36	C 1		バスドラム	バスドラム 2		バスドラムロック	バスドラムロック
		49	C# 2	37	C# 1		サイドスティック			バスドラムゲート	バスドラムゲート
D2		50	D 2	38	D 1		スネアM	スネアM 2		バスドラムアナログL	バスドラムアナログH
	D#2	51	D# 2	39	D# 1		ハンドクラップ			アナログサイドスティック	アナログサイドスティック
	E2	52	E 2	40	E 1		スネアHハード	スネアHハード 2		スネアロックL	スネアロックL
	F2	53	F 2	41	F 1		フロアタムL	スネアルームH	スネアロックH	スネアロックH	スネアロックH
		54	F# 2	42	F# 1	1	ハイハットクローズ	スネアルームL	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	G2	55	G 2	43	G 1		フロアタムH	スネアルーム1	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		56	G# 2	44	G# 1	1	ハイハットペダル	ルームタム 2	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
A2		57	A 2	45	A 1		ロータム	ルームタム 3	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	A#2	58	A# 2	46	A# 1	1	ハイハットオープン	ルームタム 4	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	B2	59	B 2	47	B 1		ミッドタムL	ルームタム 5	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	C3	60	C 3	48	C 2		ミッドタムH	ルームタム 6	スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		61	C# 3	49	C# 2		クラッシュシンバル 1		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	D3	62	D 3	50	D 2		ハイタム		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		63	D# 3	51	D# 2		ライドシンバル 1		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	E3	64	E 3	52	E 2		チャイニーズシンバル		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	F3	65	F 3	53	F 2		ライドシンバルカップ		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		66	F# 3	54	F# 2		タンバリン		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	G3	67	G 3	55	G 2		スブラッシュシンバル		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		68	G# 3	56	G# 2		カウベル		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
A3		69	A 3	57	A 2		クラッシュシンバル 2		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	A#3	70	A# 3	58	A# 2		ビブラスラップ		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	B3	71	B 3	59	B 2		ライドシンバル 2		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	C4	72	C 4	60	C 3		ボンゴH		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		73	C# 4	61	C# 3		ボンゴL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	D4	74	D 4	62	D 3		コンガHミュート		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		75	D# 4	63	D# 3		コンガHオープン		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	E4	76	E 4	64	E 3		コンガL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	F4	77	F 4	65	F 3		ティンバレスH		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		78	F# 4	66	F# 3		ティンバレスL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	G4	79	G 4	67	G 3		アゴゴH		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		80	G# 4	68	G# 3		アゴゴL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
A4		81	A 4	69	A 3		カバサ		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	A#4	82	A# 4	70	A# 3		マラカス		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
B4		83	B 4	71	B 3	○	サンパホイッスルH		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	C5	84	C 5	72	C 4	○	サンパホイッスルL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		85	C# 5	73	C# 4		ギロショット		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	D5	86	D 5	74	D 4	○	ギロロング		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		87	D# 5	75	D# 4		クラベス		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	E5	88	E 5	76	E 4		ウッドブロックH		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		89	F 5	77	F 4		ウッドブロックL		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	F5	90	F# 5	78	F# 4		クワイカムミュート		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	G5	91	G 5	79	G 4		クワイカムオープン		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		92	G# 5	80	G# 4		トライアングルミュート		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	A5	93	A 5	81	A 4	2	トライアングルオープン		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		94	A# 5	82	A# 4		シェイカー		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	B5	95	B 5	83	B 4		ジャングルベル		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	C6	96	C 6	84	C 5		ベルツリー		スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		97	C# 6	85	C# 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	D6	98	D 6	86	D 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		99	D# 6	87	D# 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	E6	100	E 6	88	E 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	F6	101	F 6	89	F 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
		102	F# 6	90	F# 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL
	G6	103	G 6	91	G 5				スネアロックL	スネアロックL	スネアロックL



スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
8ビート	
001	8ビートモダン
002	60'sギターポップ
003	8ビートアドリア
004	60's8ビート
005	8ビート
006	オフビート
007	60'sロック
008	ハードロック
009	ロックシャッフル
010	8ビートロック
16ビート	
011	16ビート
012	ポップシャッフル1
013	ポップシャッフル2
014	ギターポップ
015	16ビートアップテンポ
016	クールシャッフル
017	ジャズロック
018	ヒップホップライト
バラード	
019	ピアノバラード
020	ラブソング
021	6/8モダンエレピ
022	6/8スローロック
023	オルガンバラード
024	ポップバラード
025	16ビートバラード1
026	16ビートバラード2
ダンス	
027	ユーロトランス
028	イビサ
029	ハウスムジーク
030	スイングハウス
031	テクノボリス
032	クラブダンス
033	クラブラテン
034	ガラージ1
035	ガラージ2
036	テクノパーティー
037	UKポップ
038	ヒップホップグループ
039	ヒップシャッフル
040	ヒップホップポップ
ディスコ	
041	70'sディスコ1
042	70'sディスコ2
043	ラテンディスコ
044	ディスコフィリー
045	サタデーナイト
046	ディスコチョコレート
047	ディスコハンズ
スイング&ジャズ	
048	BigBandファスト
049	BigBandミディアム
050	BigBandバラード
051	BigBandシャッフル
052	ジャズクラブ
053	スイング1
054	スイング2
055	5ビート

スタイル No.	スタイル名
056	ジャズバラード
057	ディキシーランド
058	ラグタイム
059	アフロキューバン
060	チャールストン
リズム&ブルース	
061	ソウル
062	デトロイトポップ1
063	60'sロックンロール
064	6/8ソウル
065	クロコツイスト
066	ロックンロール
067	デトロイトポップ2
068	ブギーウギー
069	コンボブギー
070	6/8ブルース
カントリー	
071	カントリー8ビート
072	カントリーポップ
073	カントリースイング
074	カントリー2/4
075	カウボーイブギー
076	カントリーシャッフル
077	ブルークラス
ラテン	
078	ブラジリアンサンバ
079	ボサノバ
080	ポップボサ
081	ティファナ
082	ディスコラテン
083	マンボ
084	サルサ
085	ビギン
086	ギタールンバ
087	ルンバフラメンカ
088	ルンバアイランド
089	レゲエ
ボールルーム	
090	ウィンナーワルツ
091	イングリッシュワルツ
092	スローフォックス
093	フォックストロット
094	クイックステップ
095	タンゴ
096	パソドブレ
097	サンバ
098	チャチャチャ
099	ルンバ
100	ジャイブ
トラディショナル	
101	USマーチ
102	6/8マーチ
103	ジャーマンマーチ
104	ポルカポップ
105	ポルカオーバークライナー
106	タランテラ
107	ショーチューン
108	クリスマススイング
109	クリスマスワルツ
110	スコティッシュリール
111	ハワイアン

スタイル No.	スタイル名
ワルツ	
112	ギターセレナーデ
113	スイングワルツ
114	ジャズワルツ1
115	ジャズワルツ2
116	カントリーワルツ
117	ワルツオーバークライナー
118	ミュゼット
DJ	
119	DJ-ヒップホップ
120	DJ-ダンススイング
121	DJ-ハウス
122	DJ-ガラージハウス
123	DJ-ポップR&B
ピアニスト	
124	ストライド
125	ピアノスイング
126	ピアノラグ
127	アルペジオ
128	ミュージカル
129	ハバネラ
130	スローロック
131	8ビートピアノバラード
132	ピアノマーチ
133	6/8ピアノマーチ
134	ピアノワルツ
135	ピアノビギン



ソングリスト

●内蔵ソング

ソング No.	ソング名
お気に入り	
001	ドント・ノー・ホワイ (Jesse Harris (Norah Jones))
002	私のお気に入り (Richard Rodgers)
003	月に想いを (Bart Howard)
簡単メロディ	
004	ダウン・バイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
005	線路は続くよどこまでも (Traditional)
006	なつかしのバージニア (James A. Bland)
007	庭の千草 (Thomas Moore)
008	牧人ひつじを (Traditional (English))
ピアニスト	
009	エンターテイナー (S. Joplin)
010	グリーンスリーブス (Traditional)
011	ロンドンデリーの歌 (Traditional)
012	トロイメライ (R. Schumann)
013	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 3番 牧歌 (J.F. Burgmüller)
オルガニスト	
014	結婚行進曲 (F. Mendelssohn)
015	父なる御神に (N. Decius)
016	目覚めよと呼ぶ声あり (J.S. Bach)
チャレンジ曲	
017	ベートーベンの子メヌエット (L.v. Beethoven)
018	前奏曲 作品28の7 (F. Chopin)
019	野ばらに寄す (E.A. Macdowell)
020	エリーゼのために (L.v. Beethoven)
021	別れの曲 (F. Chopin)
バンドプレイ	
022	オーラ・リー (G. Poulton)
023	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
024	よろこびのうた (L.v. Beethoven)
デュエット	
025	アビニョンの橋の上で (Traditional)
026	きらきら星 (Traditional)
027	マフィン・マン (Traditional)
クリスマス	
028	もろびとこぞりて (G.F. Händel)
029	シューベルトのアベマリア (F. Schubert)
030	ジングル・ベル (Traditional)

●アクセサリ CD-ROM内のMIDIソング 70曲

ファイル名	ソング名
AMERICA	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)
ATHOME	故郷の人々 (S.C. Foster)
AURALEE	オーラ・リー (G. Poulton)
BABBINO	私のお父さん (ジャンニ・スキッキより) (G. Puccini)
BANJO	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)
BILLBAIL	ビル・ベイリ (帰っておいでよ) (H. Cannon)
BROWNJUG	茶色の小瓶 (Traditional)
CAMPTOWN	草競馬 (S.C. Foster)
CANON	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
D_AGSTIN	かわいいオーガスティン (DUET) (Traditional)
D_CHTREE	もみの木 (DUET) (Traditional)
D_CLOSE	むすんでひらいて (DUET) (J.J. Rousseau)
D_CUCKOO	かっこう (DUET) (Traditional)
D_IMMAI	ちょうちょ (DUET) (Traditional)
D_INDIAN	10人のインディアン (DUET) (Septimus Winner)
D_LONDON	ロンドン橋 (DUET) (Traditional)
D_MARY	メリーさんのひつじ (DUET) (Traditional)
D_ROWROW	こげこげボート (DUET) (Traditional)
D_SCARBO	スカボロ・フェア (DUET) (Traditional)

ファイル名	ソング名
D_SMOKY	オン・トップ・オブ・オールド・スモキー (DUET) (Traditional)
D_THREE	3匹のいたずらねずみ (DUET) (Traditional)
D_WEASEL	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (DUET) (Traditional)
D_WEWISH	おめでとうクリスマス (DUET) (Traditional)
DANUBEWA	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)
FRULIED	春の歌 (F. Mendelssohn)
FRUSTIME	円舞曲「春の声」(J. Strauss II)
FUNICULA	フニクリ・フニクラ (L. Denza)
GAVOTTE	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)
GUILLAUM	ウィリアム・テル序曲 (G. Rossini)
IRISHEYE	アイルランド人のほほ笑みはほほ笑むアイルランドの娘 (E.R. Ball)
JOYOFMAN	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)
LIEBEST3	愛の夢 第3番 (F. Liszt)
LOMOND	ロッホ・ローモンド (Traditional)
LORELEI	ローレライ (F. Silcher)
MAGICFLT	歌劇「魔笛」より (W.A. Mozart)
MIRLITON	葦笛の踊り (くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
MONDSHIN	月光の曲 (L.v. Beethoven)
MUSSIDEN	別れ (F. Silcher)
MYBONNIE	マイ・ボニー (Traditional)
ORPHEE	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)
P_ANGELS	天使のセレナーデ (Traditional)
P_ARABES	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 2番 アラベスク (J.F. Burgmüller)
P_CANDEU	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 1番 すなおな心 (J.F. Burgmüller)
P_CHEVAL	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 25番 貴婦人の乗馬 (J.F. Burgmüller)
P_CONSOL	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 13番 なぐさめ (J.F. Burgmüller)
P_INOCEN	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 5番 無邪気 (J.F. Burgmüller)
P_MENUUBA	バッハの子メヌエット (J.S. Bach)
P_MENUUBO	ボッケリーニの子メヌエット (L. Boccherini)
P_MOMENT	楽興の時 第3番 (F. Schubert)
P_PCHIEN	小犬のワルツ (F. Chopin)
P_PETITE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 4番 こどもの集會 (J.F. Burgmüller)
P_PROGRE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 6番 進歩 (J.F. Burgmüller)
P_SARAFA	赤いサラファン (Traditional)
P_TENDRE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 10番 やさしい花 (J.F. Burgmüller)
P_TMARCH	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)
P_VIOLET	すみれ (Streabog)
PEARLFIS	真珠採りの歌 (G. Bizet)
PRIMVERA	四季より「春」(A. Vivaldi)
SAINTSGO	聖者の行進 (Traditional)
SERENAHY	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)
SILENTNT	きよしこの夜 (F. Gruber)
SLAVON10	スラヴ舞曲第10番 (A. Dvořák)
SURPRISE	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)
SUSANNA	おお、スザンナ (S.C. Foster)
SYMPHO9	よろこびのうた (L.v. Beethoven)
THAIS	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)
TREADOR	闘牛士の歌 (G. Bizet)
TURKEY	わらの中の七面鳥 (Traditional)
UNGARIS5	ハンガリー舞曲第5番 (J. Brahms)
VOGLEIN	小鳥ならば (Traditional)

ファイル名の先頭に「P_」のマークが付いたファイルはコード情報を含まないため、パフォーマンスアシスタント機能のコードタイプとイージーソングアレンジ機能は使えません。



エフェクトタイプリスト

[ハーモニータイプリスト]

No.	タイプ	解説
01	Duet (デュエット)	ハーモニータイプ01～05は、メロディ音(右手演奏)に対して、1音～3音のハーモニー音が付加されます。 これらハーモニータイプ01～05は、スタイル動作時に自動伴奏鍵域でコードが指定された場合にのみ機能します。
02	Trio (トリオ)	
03	Block (ブロック)	
04	Country (カントリー)	
05	Octave (オクターブ)	
06	Trill 1/4 (トリル1/4)	ハーモニータイプ06～26は、メロディ音(右手演奏)に対して、同じ音程の音が遅れたり鳴ったり、最後に押した2つの音どうしが交互に鳴ったりします。 これらハーモニータイプ06～26は、スタイルのオン/オフに関係なく効果がかかりますが、その効果のスピードはテンポの設定に従い、スタイルオン時にはリズムに同期します。 3連符の設定も可能です。 <ul style="list-style-type: none"> トリルエフェクトタイプ(06～12)：2つの音を押しえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードでくり返し発音します。 トレモロエフェクトタイプ(13～19)：メロディに、選ばれたスピードのトレモロ効果がかかります。 エコーエフェクトタイプ(20～26)：メロディに、選ばれたスピードのエコー(こだま)効果がかかります。
07	Trill 1/6 (トリル1/6)	
08	Trill 1/8 (トリル1/8)	
09	Trill 1/12 (トリル1/12)	
10	Trill 1/16 (トリル1/16)	
11	Trill 1/24 (トリル1/24)	
12	Trill 1/32 (トリル1/32)	
13	Tremolo 1/4 (トレモロ1/4)	
14	Tremolo 1/6 (トレモロ1/6)	
15	Tremolo 1/8 (トレモロ1/8)	
16	Tremolo 1/12 (トレモロ1/12)	
17	Tremolo 1/16 (トレモロ1/16)	
18	Tremolo 1/24 (トレモロ1/24)	
19	Tremolo 1/32 (トレモロ1/32)	
20	Echo 1/4 (エコー1/4)	
21	Echo 1/6 (エコー1/6)	
22	Echo 1/8 (エコー1/8)	
23	Echo 1/12 (エコー1/12)	
24	Echo 1/16 (エコー1/16)	
25	Echo 1/24 (エコー1/24)	
26	Echo 1/32 (エコー1/32)	

[リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解説
01～03	Hall 1～3 (ホール1～3)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
04～05	Room 1～2 (ルーム1～2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
06～07	Stage 1～2 (ステージ1～2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
08～09	Plate 1～2 (プレート1～2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

No.	タイプ	解説
01～02	Chorus 1～2 (コーラス1～2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
03～04	Flanger 1～2 (フランジャー1～2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
05	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。



MIDIインプリメンテーション・チャート

YAMAHA [Portable Grand]
Model DGX-505/305 MIDIインプリメンテーション・チャート

Date : 1-DEC-2003
Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1~16チャンネル ×	1~16チャンネル ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 × *****	3 × ×	
ノートナンバー 音域		0~127 *****	0~127 0~127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH, v=1~127 ×	○ 9nH, v=1~127 ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド		○	○	
コントロールチェンジ	0, 32 1 6 38 7 10 11 64 84 71 72 73 74 91, 93 96, 97 100, 101	○ × *1 ○ ○ ○ ○ × *1 ○ × *1 × *1 ○ × *1 × *1 ○ × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーションホイール データエントリー (MSB) データエントリー (LSB) パートボリューム パン エクスプレッション サステイン ポルタメントコントロール ハーモニックコンテンツ リリースタイム アタックタイム ブライトネス エフェクトデプス RPNデータインクリメント、デクリメント RPN LSB、MSB
プログラムチェンジ	設定可能範囲	○ 0~127 *****	○ 0~127	
システム・エクスクルーシブ		○ *2	○ *2	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × × × ○ ×	○ (120, 126, 127) ○ (121) ○ (122) ○ (123~125) ○ ×	

*1 106ページの2を参照してください。*2 106ページの3を参照してください。

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし



MIDIデータフォーマット

- MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、自動伴奏、およびソングに影響します。
 - MIDIマスターチューン
 - リバース、コーラスの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、スタイルまたはハーモニー演奏中に送信されることがあります。
- エクスクルーシブ
 - <GMシステムオン>
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 - MIDI マスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。
 - <MIDIマスターボリューム>
F0H, 7EH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H
 - 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
 - mm の値を MIDI マスターボリューム値として使用します。(IIは無視)
 - <MIDIマスターチューニング>
F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mm, II, cc, F7H
 - 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
 - mm, IIの値をMIDIマスターチューニング値として使用します。
 - mm, IIのデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。

- <リバーブタイプ>
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H
 - II: リバーブタイプMSB
 - mm: リバーブタイプLSB
 詳細はエフェクトマップを参照してください。
- <コーラスタイプ>
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, IIH, mmH, F7H
 - II: コーラスタイプMSB
 - mm: コーラスタイプLSB
 詳細はエフェクトマップを参照してください。
- スタイルやソングのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH (スタイルのスタート)、FCH (スタイルのストップ)を受信します。
- ローカル オン/オフ
 - <ローカル オン> Bn, 7A, 7F
 - <ローカル オフ> Bn, 7A, 00
 - n: 無視されます。

■ エフェクトマップ

- TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、受信LSBの値以下で、エフェクトタイプを持つ最大のLSBのタイプとなります。
- ()内の番号/名前はパネルディスプレイ上でのものです。

[リバース]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(01)Hall1				(02)Hall2	(03)Hall3				
002	Room					(04)Room1		(05)Room2		
003	Stage				(06)Stage1	(07)Stage2				
004	Plate				(08)Plate1	(09)Plate2				
005...127	No Effect									

[コーラス]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000...063	No Effect									
064	Thru									
065	Chorus		(02)Chorus2							
066	Celeste					(01)Chorus1				
067	Flanger			(03)Flanger1		(04)Flanger2				
068...127	No Effect									



さくいん

アルファベット順

▲、▼	14, 51, 52, 70
A ↔ B	14, 65
II	14, 66
◀	15, 66
▶	15, 66
▶■	30, 51
✂	52

A	
ABレポート	14, 53, 65
ACMP ON/OFF	14, 29
ACMP表示	29

C	
CD-ROM	84
CHORD (performance assistant technology)	16
Chorus Type	71, 104

D	
D. Chorus Level	58, 71
D. Octave	58, 71
D. Pan	58, 71
D. Reverb Level	58, 71
D. Volume	58, 71
DC IN 12V 端子	10, 15
Delete	77
DEMO	14, 21
Demo Cancel	72
Dictionary	63
DUAL	14, 24

E	
EASY SONG ARRANGER	14, 43
EASY SONG ARRANGER MAIN画面	43
EXECUTE	14, 74
EXIT	15, 52
External Clock	72, 80

F	
FILE CONTROL	14, 73
FUNCTION画面(設定)	52, 70

G	
Grade	41

H	
HARMONY	14, 31
Harmony Type	31, 32, 71, 104
Harmony Volume	58

I	
Initial Send	72
INTRO/ENDING/rit.	15, 30

K	
Keyboard	7, 93
Keyboard Out	72

L	
Language	22, 72
LCD CONTRAST	15, 53
LESSON L/R	14, 39

LESSON MODE	14, 40
LESSON REPEAT & LEARN	
Local	14, 42
Local	72, 80
LOW BATTERY!!	10, 53
L-Part	72, 83

M	
M. Chorus Level	58, 71
M. Octave	58, 71
M. Pan	58, 71
M. Reverb Level	58, 71
M. Volume	58, 71
MAIN/AUTO FILL	15, 31
MAIN画面	52
MASTER VOLUME	13, 50
MELODY (performance assistant technology)	18
MEMODY L、MELODY R	44
MEMORY/BANK	15, 68
METRONOME	14, 56
MIDI	79, 80
MIDIインプリメンテーションチャート	105
MIDIデータフォーマット	106

O	
ON/OFF表示	17, 18

P	
PCモード	14, 81
PERFORMANCE ASSISTANT	14, 16, 20
PHONES/OUTPUT 端子	12, 15
PITCH BEND ホイール	15
PORTABLE GRAND	14, 27

Q	
Quantize	37, 72

R	
REC	15, 46
REGISTRATION MEMORY	15, 68, 69
Reverb Type	54, 71, 104
R-Part	72, 83

S	
S. Chorus Level	58, 71
S. Octave	58, 71
S. Pan	58, 71
S. Reverb Level	58, 71
S. Volume	58, 71
SCORE	15, 37
SMF	76
SMF Save	76
SONG	14, 35, 36
SONG MEMORY	15, 45, 46, 65
Song Out	72
Song Volume	71
SPLIT	25
Split Point	59
STANDBY/ON	13, 14
START/STOP	15, 51
STYLE	14, 29

Style Out	72
Style Volume	60, 71
SUSTAIN端子	15
SYNC START	14, 33
SYNC STOP	14, 33

T	
TEMPO/TAP	15, 21
Time Signature	56, 72
TOUCH	14, 27
Touch Sensitivity	57, 71
Transpose	66, 71
Tuning	66, 71

U	
USB-MIDIドライバー	80, 82, 84, 85
USB端子	15, 80
User File Save	75

V	
VOICE	14, 23

X	
XF	6, 38
XGlite音色	6, 97

アイウエオ順

ア

アクセサリ CD-ROM 7, 84

イ

イージーソングアレンジャー
..... 14, 43, 78
一時停止 14, 66
1 段譜表示 37
イントロ/エンディング/rit.
..... 15, 30, 33, 34

エ

エフェクトタイプリスト 104
エフェクトマップ 106

オ

オプション 95

カ

カードスロット 15, 73
外部クロックオン/オフ 72, 80
歌詞 15, 37, 38
楽器音 23, 28, 67
楽器リスト 15, 96
カテゴリーボタン 14, 51, 52
画面 52
画面戻る 15, 52
乾電池 10

キ

キーボードスタンド 7, 93

ク

グランドピアノ 14, 27
クリア 48, 49
くり返し (ABリピート) 65
くり返し練習 42

コ

効果音 28
コード 30, 33, 38, 45, 60,
61, 62, 63, 64
コードタイプ (パフォーマンス
アシスタント) 16, 20
コードディクショナリー 63
コーラス 55
コーラスタイプリスト 104
故障かな?と思ったら 88
コンピューター .. 12, 36, 79, 80, 81

サ

サステイン 12, 58, 71

シ

システムメッセージ 79
実行 14, 74
自動伴奏 (スタイル) ... 29, 30, 33, 59
自動伴奏鍵域 30
仕様 95
小節 42, 53, 65
初期化 49, 74
シンクロスタート 14, 30
シンクロストップ 14, 33

ス

数字ボタン 51
スタート/ストップボタン 15, 51
スタイル (自動伴奏) ... 14, 29, 33, 59
スタイルオン/オフ 14, 29
スタイル音量 60
スタイルファイル
(スタイル番号 136) 60
スタイルリスト 102
スタンダードMIDIファイル(SMF) ... 76
スプリット (ボイス) 14, 25
スプリットポイント 25, 59
スマートメディア 11, 73

セ

全体音量 13, 50

ソ

ソフトウェアのご使用条件 88
ソング 14, 35, 36, 45
ソング音量 65
ソングクリア 48
ソングメモリー .. 15, 45, 46, 48, 65
ソングリスト 103

タ

ダイアル 14, 51
タッチ感度 27, 57
タッチレスポンス 14, 27, 57

チ

チャンネルメッセージ 79
チューニング 66, 71

テ

デモソング 21, 72
デュアルボイス 14, 24, 71
デリート 77
電源アダプター 7, 10
電源 切/入スイッチ 13, 14
転送 81, 82, 83
テンポ 21, 41, 56
テンポ/タップ 15, 21, 56

ト

トラック 45, 46, 48, 65
トラッククリア 48
ドラムキット 28
ドラムキットリスト 100
トランスポーズ 66

ナ

長く押す 52

ニ

2 段譜表示 37

ハ

ハーモニー 14, 31, 58
ハーモニー音量 58
ハーモニータイプ 104
バックアップ 49
パフォーマンスアシスタント 16, 20
早送り 15, 66
バルクセンド 72
バンク 68

ヒ

ピッチベンド 15, 27
ピッチベンドレンジ 71
評価 41
拍子 21, 56
表示言語 22, 72

フ

ファイルコントロール 14, 73
ファイル名 75, 76
ファンクション (FUNCTION)
..... 14, 52, 70, 71, 72
フォーマット (初期化) 11, 49
付属品 7
フットスイッチ 7, 12, 58
譜面 15, 19, 37, 40
譜面立て 7, 13
フラッシュメモリー 37, 49, 67
プリセットソング 36

ヘ

ヘッドフォン 12

ホ

ボイス 14, 23

マ

巻戻し 15, 66
マルチフィンガリング 61, 95

メ

メイン/フィルイン 15, 31
メインボイス 23, 71
メッセージ 91
メディアセレクト 67, 74
メトロノーム 14, 56
メモリー 45, 68, 85
メロディ音色 44, 67
メロディタイプ (パフォーマンス
アシスタント) 18, 19, 20
メロディ譜 19, 37

ユ

ユーザースタイル 60, 95
ユーザーソング 36, 45, 46
ユーザーデータファイル 75, 77

リ

リバーブ 54
リバーブタイプリスト 104

レ

レジストレーションメモリー 15, 68
レッスン 14, 39, 42

ロ

ローカルオン/オフ 72, 80
ロード 77
録音 15, 36, 45

ワ

和文シート 7, 13
ワンタッチセッティング 57

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。


● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30 (祝祭日および弊社休業日を除く)
- ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-012-808** ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
- FAX (053)463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝祭日および弊社休業日を除く) * お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	FAX (011) 512-6109
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	FAX (022) 236-0007
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラクタートミナル内14号棟A-5F	FAX (03) 5762-2125
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	FAX (053) 462-9244
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX (052) 652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F	FAX (06) 6330-5535
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	FAX (087) 822-7160
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	FAX (092) 472-2137

■ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

- クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL 053-460-5272
- 受付日 月曜日～土曜日 (日・祝日およびセンターの休業日を除く) ● 受付時間 10:30～19:00
- <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部

EM営業部 企画推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5476

PA・DMI事業部

営業部 CL・PK営業課 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

■ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・ 電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ ヤマハマニュアルライブラリー <http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・ 「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・ よくあるご質問 (Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

*名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

